

官報

號外

明治二十五年六月十四日

火曜日 內閣官報局

第三回 衆議院議事速記錄第二十六號

明治二十五年六月十三日(月曜日)午後一時十七分開議

議事日程 第二十七號 明治二十五年六月十三日

午後一時開議

第一 郵便聯合國郵便切手類保護法案(政府提出貴族院送付)

第一讀會ノ續キ(特別委員)

第二 海上衝突豫防法案(政府提出貴族院送付)

第一讀會ノ續キ(特別委員)

第三 登記法改正法律案

第三讀會

第四 蠶業獎勵法案(鹽田興造君外七名提出)

第一讀會

第五 官有林野ニ關スル建議案(黒川修三君提出)

衆議院規則追加ノ件(稻垣示君外一名提出緊急事件)

第七 輸出綿絲關稅免除法律案(加藤政之助君外六名提出)

第一讀會

第八 輸入棉花關稅免除法律案(加藤政之助君外六名提出)

第一讀會

○議長(星亨君) 諸君、是ヨリ報道致シマス

(水野書記官長朗讀)

兒玉仲兒君提出ニ係ル佛領ニユーカレドニア出稼人ニ關スル質問ニ對シ榎本外務大臣ヨリ、犬養毅君提出ニ係ル海關稅免除ニ關スル質問ニ對シ松方大藏大臣ヨリ、加藤淳造君提出ニ係ル炭礦鐵道ニ關スル件、河野廣中君外一名提出ニ係ル北海道殖民開拓ニ對スル施政ノ方針外五件、田中正造君提出ニ係ル北海道幌內郡春別鐵道及炭礦外五件ニ關スル質問ニ對シ松方正義大臣ヨリ答辯アリタリ

衆議院議員兒玉仲兒ヨリ佛領ニユーカレドニア出稼人ニ關スル質問ニ對シ外務大臣ヨリ答辯書提出ニ付及御回付候也

明治二十五年六月十一日

內閣總理大臣伯爵松方正義閣

衆議院議長星亨殿

別紙衆議院議員兒玉仲兒質問ニ對スル答辯書及御回付候也

明治二十五年六月十一日

內閣總理大臣伯爵松方正義殿

外務大臣子爵榎本武揚閣

衆議院議事速記錄第二十六號

明治二十五年六月十三日

議長ノ報告

佛領ニユーカレドニア出稼人ニ關シ政府へ質問ノ件ニ付別紙答辯書差進候也

明治二十五年六月十一日

外務大臣子爵榎本武揚閣

衆議院議長星亨殿

衆議院議員兒玉仲兒提出佛領ニユーカレドニア出稼人ニ關スル質問ニ對スル答辯書

「ニユーカレドニア」ヨリノ最近報告ニ據ルモ同地へ出稼ノ本邦人中虐待セラレタリト云フカ如キ事實ナシ

右及答辯候也

明治二十五年六月十一日

外務大臣子爵榎本武揚閣

衆議院議員犬養毅ヨリ海關稅免除ニ關スル質問ニ對シ大藏大臣ヨリ答辯書提出ニ付及御回付候也

明治二十五年六月十三日

內閣總理大臣伯爵松方正義閣

衆議院議長星亨殿

衆議院議員犬養毅質問海關稅免除ニ關スル答辯書別紙差進候也

明治二十五年六月十三日

大藏大臣伯爵松方正義閣

衆議院議員犬養毅質問海關稅免除ニ關スル答辯書

外國ニ開設セル博覽會及共進會ノ出品ノ如キハ普通ノ商品ニ異ナリテ海關稅ヲ賦課スヘキモノニ非ス因テ勅令ヲ發布シテ之ヲ明示セルニ過キサルナリ

右及答辯候也

明治二十五年六月十三日

大藏大臣伯爵松方正義閣

衆議院議員加藤淳造ヨリ炭礦鐵道ニ關スル質問ニ對シ內務大臣ヨリ答辯書提出ニ付及御回付候也

明治二十五年六月十三日

內閣總理大臣伯爵松方正義閣

衆議院議長星亨殿

衆議院議員加藤淳造ヨリ炭礦鐵道ニ關スル件質問ニ對スル答辯書別紙ノ通差進候也

明治二十五年六月十三日

內務大臣伯爵松方正義閣

衆議院議長星亨殿

衆議院議長星亨殿

內務大臣伯爵松方正義閣

衆議院議員加藤淳造君提出炭礦鐵道ニ關スル件質問ニ對スル答辯書

第一項 幌內鐵道事業創設後數年ヲ經過スルモ收支相償ハス年々金七萬餘圓ヲ補充シテ事業ヲ保スルニ過キス又都春別鐵道ハ工事竣成ニ至ラス

從テ炭礦モ開採未著手ナリキ此時ニ當リ村田堤等該炭礦ノ借區ト鐵道

運輸請負並ニ工事補足ノ儀ヲ出願セリ政府ニ於テ之ヲ許可シタルハ左ノ如キ理由アルニ由ル

第一 毎年金七万餘圓ノ補充費ヲ要セサル事

第二 鐵道所屬物件貸下料金五千圓ヲ收メ之ヲ他ノ事業ニ轉用スルノ利益アル事

第三 官費ヲ要セスシテ郁春別鐵道ヲ落成シ及ヒ該炭礦ヲ開採シ得ル事
第二項 鐵道及炭山屬物件ヲ北海道炭礦鐵道會社ニ拂下タル所以ハ同會社ニ於テ室蘭空知太間及夕張空知兩炭山ニ達スル鐵道ヲ新設スルヲ以テ新舊鐵道ノ管理ヲ一ニスルトキハ其制ヲ一定ナラシメ運輸上諸般ニ便ナルト官費ヲ要セスシテ既成鐵道ヲ改良シ得ルトニ由ル

第三項 村田堤等ノ發起ニ係ル北海道鐵道會社設立及鐵道拂下願ヲ許可セサルハ資本金僅ニ六十萬圓ニシテ其規模狹隘ナルニ由ル

又其拂下價格ヲ三十五萬餘圓ト定タルハ幌內炭礦ニ付テハ其二十二年度ノ豫算ノ益金一万四千三百六十八圓八十錢ヲ年利一割ニ相當スル元金ニ換算シ幌內鐵道ニ就テハ二十一年度ニ係ル實收益金三萬四千四百五十一圓十九錢九厘ノ内ヨリ當時改良ヲ要スル費金二十七萬餘圓ニ對スル七朱ノ利子即一万九千九百四十八圓十八錢ヲ差引殘額一万五千三百四十七圓一錢九厘ヲ以テ純益トシ之ヲ以テ年利一割ニ相當スル元金ヲ算出シ又郁春別鐵道ニ就テハ二十一年度實收益金九千四百四十八圓ヲ以テ年利一割ニ相當スル元金ヲ算出シタルモノナリ

第四項 村田堤等ニ對シ道路開設費ヲ上納セヨト命シタルコトナシ尤北海道炭礦鐵道會社ニ對シテハ朝理鐵道間ノ道路ハ當分一般人民ノ通行ヲ許可シ危險ナキ様注意スヘキ旨命令シアリ又前者ニ鐵道營業ヲ許可セザリシハ規模狹隘ナルカ爲メニシテ兼業ニ嫌アルニアラス

第五項 第六項 北海道炭礦鐵道會社ニ對シ利子補給ヲ許可シタルハ同會社ニ布設ヲ免許シタル鐵道ノ資本ニ限ル質問ノ如キ支拂金ハ該資本ノ外ニシテ利子補給ニ關係ナシトス

第七項 果シテ質問ノ如キ事實アリトスルモ利子補給ニ關係スルモノニ非ス又村田堤ニ賞與アリシハ公益ノ爲メニ獻金ヲ願出タルニ由ル

第八項 北海道炭礦鐵道會社カ線路位置ヲ變更シ哩程ヲ延長シ工事方法ヲ變更シ及工費豫算ヲ増減シタル件ニ付テハ未タ認可ヲ與ヘス專ラ調査中ニ屬スルヲ以テ未タ答辯スルノ期ニ至ラス

第九項 會社資本金不足額ハ検査結了ノ上ニアラサレハ確認シ難シ右及答辯候也

明治二十五年六月十三日

內務大臣伯耆松方正義閣

衆議院議員河野廣中外一名ヨリ北海道殖民開拓ニ對スル施政ノ方針外五件質問ニ對シ內務大臣ヨリ答辯書提出ニ付及御回付候也

明治二十五年六月十三日

內閣總理大臣伯耆松方正義閣

衆議院議員河野廣中外一名ヨリ北海道殖民開拓ニ對スル施政ノ方針外五件質問ニ對スル答辯書別紙ノ通差進候也

明治二十五年六月十三日

內務大臣伯耆松方正義閣

衆議院議長星亨殿

衆議院議員河野廣中外一名提出北海道殖民開拓ニ對スル施政ノ方針外五件質問ニ對スル答辯書

第一項 北海道殖民開拓ニ對スル施政ノ方針

一 凡ソ廣大ナル未開ノ土地ヲ拓キテ民衆ヲ移殖シ新ニ一國土ヲ經營スルハ真ニ至難ノ事業ニシテ到底一個人ノ勞資能ク之ヲ爲シ得ヘキニアラス須ラク政府自ラ是カ指導者トナリ畫策者トナリ唯國家將來ノ福祉ヲ目的トシ一意之ヲ貫徹スルノ策ヲ取ラサルヘカラス是即チ政府カ曩キニ北海道ニ開拓使ヲ置キ大ニ拓地殖民ノ事業ヲ起シタル所以ナリ

右之結果トシテ漸次土地開ケ人口増殖シ來住民各自漸ク其堵ニ安ニスルト同時ニ政府自ラ事業者タルノ必要ハ漸ク減少シ其大體ニ於テ已ニ整ヒタル事業ニ對シテ政府ハ寧ロ之ヲ監督維持スルノ必要ヲ生スルニ至リ且ソ普通行政事務漸ク頻繁ヲ來タシ之ニ加フルニ函館札幌及根室地方ハ各地風土慣習ノ異ルモノアリ從テ各地分治ノ必要ヲ感スルニ至レリ此ニ於テカ三縣分治ノ制度ヲ布キ之ニ任スルニ專ラ普通行政事務ヲ以テシ從來政府經營ノ事業ハ之ヲ農商務省ニ移シ北海道事業管理局ヲ設ケテ之ヲ繼續セシメタリ而シテ開拓使廢止ノ後ト雖トモ拓地殖民ノ事業ハ之ヲ保護スル事ヲ怠ラス敢テ之ヲ放任シタルニアラス然ルニ二月ヲ遂ヒ年ヲ重ネ民生大ニ頻繁ニ赴クニ從ヒ北海道全道ニ關スル行政問題ヲ生シ例ヘハ鐵道運河ノ如キ三縣分立シテ以テ其計畫監督等ヲ行フニ於テハ遂ニ其責ヲ全フサルコト能ハサルニ至レリ於茲カ全道ヲ統括シテ保護監督スルノ必要ヲ充タサンカ爲メ北海道廳ヲ置クニ及ヘリ

政府ハ今後益々拓地殖民ノ實效ヲ舉クルコトヲ期シ事務ノ未タ整理セサルモノハ之ヲ整理シ民口ノ増加ト物產ノ繁殖トヲ計リ其經濟上ノ狀況大ニ發達スルニ及テハ政府ハ漸次民業ヲ直接ニ補助スルヲ止メ單ニ私力ノ及ハサル公共事業ヲ處理スルノ方針ヲ取ラントス

第二項 北海道官有物拂下ノ件

一 北海道開拓創始ノ時ニ當リテハ工業未タ興ラス日常物貨ノ供給足ラズ運輸未タ便ナラスシテ土産販賣消流スルノ途ナシ故ニ開拓使ハ之ヲ救ハントシ各種ノ農場ヲ設ケテ殖產興業ノ指針トナセリ然レトモ民力自營ニ堪フルノ時ニ至レハ之ヲ民業ニ移スノ得策ナルハ論ヲ竣タス時機ヲ待テ之ヲ有爲者ノ手ニ委シテ經營セシムレハ是ニ由テ產業ヲ起スモノ多キヲ致スコト必然ノ理勢ナリト認メタリ而シテ之ヲ民業ニ移サントスレハ先ツ事業ヲ維持シ得ヘキ實力アル者若クハ事業練達ノ者ニシテ本道ニ望ム所ヲ將來事業ヲ經營持續スルノ目的確乎タル者ヲ選定シ以テ官營當初ノ目的ヲ達セサル可ラス故ニ政府ハ十分其人ヲ選ミ種々ノ條件ヲ規定シタル命令書ヲ與ヘテ之ヲ拂下タリ其拂下價格ノ如キ土地ハ比隣ノ地價又ハ素地拂下代價建物器具器械雜品材料品ハ時價原價評價等ヲ標準トシ而シテ事業ノ難易盛衰土地運輸ノ便否建物器具器械ノ狀況等ヲ斟酌シテ相當ノ價格ヲ鑑定シタルモノナリ

質問中拂下代價ヲ列記スルモノ、內會テ延納拂下ヲ許可シ若干金ノ納付

ノ後各事業ヲ獎勵スルト財政ヲ整理スルノ必要ヲ認メ該返納殘金ヲシテ利引線ノ上ノ法ニ依リ一時ニ納付セシメタル金額ヲ掲クルモノアリ此等當初ノ拂下代價ハ是ヨリ多額ナルコト知ルヘキナリ而シテ拂下代價ノ内一見低廉ナル如キモノアリト雖トモ當初官府ニ於テ開墾若クハ建築ノ業ヲ起スニ當リテハ諸材料ヲ他ノ地方若クハ海外ヨリ購入シタルト之ニ附帶スル運賃ノ如キ極メテ多額ヲ要セリ然ルニ之ヲ拂下クルニ際シ事業未ダ十分ナラズ又逐年大ニ修理スベキ建物器具器械等アリ加フルニ事業ニ對シテハ種々ノ條件ヲ命令シ其範圍ヲ脱セシメサルモノナレハ拂下代價ヲ低下スルハ洵ニ止ムヲ得サルモノナリ

官府ノ經營ニ屬シタル當時ノ結果ヲ概言スレハ未開ノ地ニ於テ新規ノ事業ヲ起シ其材料品ノ如キ若クハ工業勞役者ノ如キモ之ヲ他地方ニ需メサル可カラズ故ニ得ル所多クハ失フ所多クハハスト雖トモ是ニ由テ住民ノ需求ヲ充タシ土產ノ消流ヲ助ケ以テ北海道ノ農牧蠶桑ノ事業ヲ誘起シタル效果ノ大ナルハ蓋シ資金ノ損益ヲ以テ比スヘキ所ニ非ス而シテ民業ニ移シタル以後ノ實況ヲ調査スルニ爾來種々ノ原因アリテ廢業若クハ休業スルモノ一二ナキニ非サレトモ相續者ハ新規事業ノ困難多キニ拘ハラズ銳意之ヲ經營維持シ將來有望ノ事業トナリタルモノ多シトス

又明治十四年中北海道官有物拂下ヲ中止シタルハ全ク拂下ヲナサスト決シタルニアラス前キニ述ヘタルカ如ク民業發達セントスル時機ヲ待チ又將來之ヲ持續スヘキ有爲者ヲ選定シ終始一貫シテ當初ノ目的ヲ達セントシタルニ過キス是即チ明治十九年以降ニ至リ漸次之ヲ民業ニ移シタル所以ナリ

第三項 北海道勸業委託金處分ノ件

一 勸業委託金ノ成立ハ元官貸金ニシテ其種類ハ舊藩貸勸業貸替貸雜種貸ノ四種トス而シテ其北海道廳所屬貸付金ノ内明治十九年十一月三十日現在ノ未納額ヲ以テ之ヲ勸業委託金トシテ北海道廳ニ下付シタルモノナリ爾來右勸業委託金ハ之ヲ陸海殖產ノ資本ニ充用スルモノトシ運轉流用處辨方北海道廳長官ニ委任シタリ而シテ之ヲ下付棄捐シタルハ各事業ヲ獎勵スルト財政整理ノ必要ヲ認メ北海道廳長官ヲシテ之カ處分ヲ爲サシメタリ

質問中金五十七萬餘圓ヲ棄捐シ云々ト云フト雖トモ其内金二十四萬餘圓ハ貸下金延納年賦金ノ利引減額ニシテ金三十三萬餘圓ハ徵收至難ノ者ニ對シ棄捐シタル金額ナリ又金四十萬餘圓ヲ一私人若クハ會社ニ付與ス云云ト云フト雖トモ右ノ内金十一萬餘圓ハ準備未缺減等ニ依リ棄捐シ金十一萬餘圓ハ町村備荒基本金トシテ下付シ金十八萬餘圓ヲ陸海殖產ノ費途ニ充用シタルモノニシテ多クハ豫期ノ目的ニ向テ漸次其歩ヲ進ムルモノナリ

第四項 札幌製糖會社及製麻會社ノ件

一 北海道製麻會社ニ於テ原料ヲ海外ニ仰グノ件ハ同會社ノ報告ニヨレバ昨二十四年中買入タル原料ハ五十九萬三千五百八十八斤五分ニシテ内七萬五千三百三十五斤五分ハ海外ヨリ輸入シ其他ハ悉ク北海道ノ產出ニ係ルモノナリ元來北海道ノ地味氣候ハ能ク纖維植物ニ適シ原料ノ供給十分ナル見込ナルモ亞麻ハ近年海外ヨリ移植シタル新原料ニシテ農家耕作ノ經驗

日尙淺ク會社ガ種々ニ獎勵保護ヲ加ヘテ耕種ヲ勸誘シツ、アルモ未タ豫期スル所ニ達セス若シ亞麻糸ノ需用俄ニ増加スルトキハ本道產ノミヲ以テ足レリトセス加之事業ヲ擴張スルニ伴ヒ多數ノ原料ヲ要スルハ論ヲ俟タス此ヲ以テ前記ノ原料ヲ海外ヨリ輸入シタルハ事情止ムヲ得サルニ出ツ然レトモ逐年土產ノ原料大ニ増加スルニ至ツテハ決シテ海外ノ輸入ヲ仰カサルニ至ラン

一 札幌製糖會社ニ於テハ製糖ノ原料ヲ海外ヨリ輸入セシコト曾テナシ悉ク北海道產出ノ原料ヲ以テ砂糖ヲ製造セリ

一 札幌製糖會社ニ對シ北海道廳長官ノ監督權ハ該會社ニ下附シタル命令書ニ依テ之ヲ施行セザルベカラズ然リ而シテ其命令書ハ北海道廳長官ニ付與スルニ會社ノ營業ニ立入り營業上ノ命令ヲ下シ止ムナクシテ自ラ代テ營業スルノ權ヲ以テセス又此權ヲ有セシムヘキニ非ス故ニ北海道廳長官ハ利子補給年限中同會社ガ北海道人民ヨリ購入スル甜菜價格ノ當否如何又甜菜ノ購入ヲ拒ムコトナキヤ否ヤ製糖期節ニ至リ砂糖ヲ製造セサルコトナキヤ否ヤ等ノ點ヲ監督スルニ於テハ其責任上敢テ缺ク所ナシ而シテ會社ノ紛擾ノ如キハ其内部ノ事ニ止リ株券偽造ノ如キハ司法官ノ審理ニ屬スベキモノナリ

第五項 北海道土地貸附ノ件

一 土地貸下ヲ便ニスルノ急務ナルハ勿論ニシテ政府ニ於テモ決シテ之ヲ等閑ニ附シタルニアラス然ルニ土地ノ貸下ヲナスニハ相當ノ順序アリテ先ツ現場ヲ踏驗シ地積ヲ丈量シ區域ヲ劃シ或ハ先願者ノ有無ヲ調査スル等其爲スヘキモノ一ニシテ足ラス加之移住開墾ノ氣運漸ク熟シ出願者逐年増加スルニ拘ラズ一方ニハ經費定額ニ制限アリ之ヲ以テ數万件ノ多キ其調査ヲ了スル實ニ容易ノ業ニアラズ政府ガ其及ブキ限リ注意ヲ加ヘ事務ノ敏捷ヲ企圖スルニモ係ハラズ指令未濟ノモノ多キハ止ムヲ得ザル所トス

大地積ノ貸下ヲ出願シテ容易ニ其許可ヲ得タル所以ハ要スルニ左ノ理由ニ據ルモノトス

一 大地積貸下願ハ多クハ新選定地ニ於テ出願スルガ故ニ比隣ト交渉スルコトナク從テ其調査甚タ容易ナリ

二 明治二十年五月以降十萬坪以下土地貸下ノ件ハ之ヲ郡區所ヘ委任シ十萬坪ヲ超ユル分ハ本廳ニ於テ處分セシメタルカ故ニ自ラ其件數モ少ク從テ事迅速ニ運タルナリ

三 政府ハ成ルヘク北海道ニ多分ノ資本ヲ注入セシメ速ニ大地積ノ墾成ヲ遂クルコトヲ計リタルガ故ニ苟モ身元確實ニシテ成功ノ望アルモノハ躊躇セズ其貸下ヲナシタリ

四 新選定地ニ大地積ノ貸下ヲ許シ大農場ヲ起サシムルトキハ將來開墾ノ中心トナリ他開墾者ヲ誘導シ又以テ好模範ヲ示シムルノ利アリ

以上其大略ナリ然レトモ今日ニシテ大地積貸下ヲ許可シタル實際ノ成績ニシテ其結果ヲ得シモノナキニアラスト雖モ未タ當初ノ目的ヲ達セサルモノ亦少ナシト爲サハルヲ以テ十九年閣令第十六號ニ據リ追々處スル所アラントス故ニ該拂下地ノ現況ハ今後幾箇年ニシテ成墾シ得ヘキハ未タ確言シ能ハサルナリ

拂下地ノ内原地成墾地ヲ併セテ四十万坪ヲ東京府華族山田顯義ヨリ北海道札幌佐藤金治へ譲渡シ其他素地ノ儘譲渡ヲナシタルハ空知郡美唄ニ於テ二十万四千五百六十八坪ヲ渡邊惟精ヨリ加藤文之助へ成墾地原地ヲ併セ静内郡目名村ニ於テ二十三万坪ヲ八田萬次郎ヨリ同村本庄康平へ同空地郡郁春別ニ於テ五十六万八千九百六十一坪ヲ村田堤ヨリ堀基へ譲渡シタルモノアリ

第六項 炭鑛鐵道線路變更ノ件

一北海道炭鑛鐵道會社ニ於テ線路ヲ變更シタルコトハ私設鐵道條例及細則ニ照シテ目下調査中ニ屬スルヲ以テ未タ答辯スルノ期ニ至ラス但本鐵道ハ私設鐵道條例ニ據リ會社ニ免許シタルモノナレバ政府ニ於テ其内部ニ進入シ直接ニ工事ノ指揮監督ヲ爲スベキモノニアラズ
又線路ヲ變更シ哩程ヲ延長セシ工事費ニ對シ利子補給ノ如何ハ是亦調査中ニ屬スト雖モ條例ニ違背シ正當ノ理由ナキニ於テハ政府ハ認可ヲ與ヘザルハ勿論利子補給ヲ爲ササルナリ
右及答辯候也

明治二十五年六月十三日

内務大臣伯耆松方正義閣

衆議院議員田中正造ヨリ北海道幌内郁春別鐵道及炭鑛外五項ニ係ル件質問ニ對シ内務大臣外二大臣ヨリ答辯書提出ニ付及御同付候也

明治二十五年六月十三日

内閣總理大臣伯耆松方正義閣

衆議院議長星亨殿
衆議院議員田中正造ヨリ北海道幌内郁春別鐵道及炭鑛外一件質問ニ對スル答辯書別紙ノ通差進候也

明治二十五年六月十三日

内務大臣伯耆松方正義閣

衆議院議長星亨殿
衆議院議員田中正造提出北海道幌内郁春別鐵道及炭鑛外一件質問ニ對スル答辯書

第一項 幌内鐵道事業ハ創設後數年ヲ經過スルモ常ニ收支相償ハズ年々金七万余圓ヲ補充シテ事業ヲ保持スルニ過キス又郁春別鐵道工事ハ竣成ニ至ラズ從テ炭鑛モ開採未著手ナリ此ノ時ニ當リ村田堤等該炭鑛ノ借區ト鐵道運輸請負並工事補足ノ儀ヲ出願セリ政府ニ於テ之ヲ許可シタルハ左ノ如キ理由アルニ由ル

第一 毎年金七万余圓ノ補充費ヲ要セザル事

第二 鐵道所屬物件貸下料金五千圓ヲ收メ之ヲ他ノ事業ニ轉用スルノ利益アル事

第三 官費ヲ要セズシテ郁春別鐵道工事ヲ落成シ及ヒ該炭鑛ヲ開採シ得ル事

明治二十二年十一月十八日鐵道炭山所屬物件ヲ北海道炭鑛鐵道會社ニ拂下ケタル所以ハ同會社ニ於テ室蘭空知太間及ヒ夕張空知兩炭山ニ達スル鐵道ヲ新設スルヲ以テ新舊鐵道ノ管理ヲ一ニスルトキハ其制ヲ一定ナラシメ運輸上諸般ニ便ナルト官費ヲ要セズシテ既成鐵道ヲ改良シ得ルト

ニ由ル
又拂下價格ヲ金三十五万余圓ト定メタル幌内炭鑛ニ付テハ其二十二年度豫算ノ益金一万四千三百六十八圓八十錢ヲ年利一割ニ相當スル元金ニ換算シ幌内鐵道ニ付テハ二十一年度ニ係ル實收益金三万四千四百五十一圓十九錢九厘ノ内ヨリ當時改良ヲ要スル費金二十七萬餘圓ニ對スル七朱ノ利子即チ一万九千九百四十八圓十八錢ヲ差引殘額一万五千三百四十七圓一錢九厘ヲ以テ純益トシ之ヲ以テ年利一割ニ相當スル元金ヲ算出シ又郁春別鐵道ニ付テハ二十一年度實收益金九千四百四十八圓ヲ以テ年利一割ニ相當スル元金ヲ算出シタルモノナリ
又村田堤外數名ノ發起ニ係ル北海道會社設立及鐵道拂下出願ヲ許可セザリシ所以ハ資本金僅カニ六十萬圓ニシテ其規模狹隘ナルニ由ル
第二項 北海道炭鑛鐵道會社ガ線路位置ヲ變更シ哩程ヲ延長シ及ヒ工事方法ヲ變更シタル件ニ付テハ目下專ラ調査中ニ屬ス追テ調査結了ノ上適當ノ處分ヲ爲サントス
右及答辯候也

明治二十五年六月十三日

内務大臣伯耆松方正義閣

衆議院議員田中正造提出質問書中第三項神戶造船所拂下ノ件ニ付質問ニ對スル別紙答辯書差進候也

明治二十五年六月十日

農商務大臣河野敏鐵閣

衆議院議長星亨殿
衆議院議員田中正造提出質問書中第三項神戶造船所拂下ノ件ニ對スル答辯書

商船製造ノ目的ヲ以テ創設シタル兵庫造船所ハ政府ニ於テ之ヲ保續セサルモ民間已ニ適當ノ經營者ヲ生シタルノ故ヲ以テ之ヲ拂下ケ而シテ其價格ハ適當ノ評價人ヲ選ンテ評定シタリ既ニ川崎正藏所有ニ歸シタル以上ハ其後之ヲ他ニ轉賣セシ價格ニ就テハ敢テ答辯スルノ限リニアラス
右及答辯候也

明治二十五年六月十日

農商務大臣河野敏鐵閣

衆議院議員田中正造質問ノ件ニ付別紙答辯書差進候也

明治二十五年六月十三日

大藏大臣伯耆松方正義閣

衆議院議長星亨殿
衆議院議員田中正造質問中ノ答辯書

第四 釜石鑛山ハ當有開業ノ見込ニ反シ鑛物ノ少量ナルト煤炭ノ供給不便ナルトノ爲メ將來大成ノ望ナク強テ之ヲ繼續スルトキハ徒ニ巨額ノ費用ヲ要シ收支相償フノ見込ナキヲ以テ明治十五年十二月遂ニ營業廢止ノ議ヲ決シ該鑛山ニ使用シタル物品不用ニ歸セリ此ヲ以テ建築物其他ノ物品ハ之ヲ保存セシカ其費用ヲ要スベク之ヲ委棄センカ遂ニ腐朽復タ用ユベカラザルニ至ルベシ依テ之ヲ解放シテ他ノ官工場ニ使用シタルモノアリ又使用ノ見込ナキモノハ之ヲ拂下クルモノトシ相當ノ拂受人アルヲ待テ

明治二十年マテニ悉皆其拂下ヲ爲シタリ

釜石鑛山ノ爲メニ政府ノ支出シタル金額ハ總計金二百七十八万七千六百二十五圓九十一錢五厘其政府ニ收入シタル金額ハ總計金三万五千五百三十六圓六十八錢二厘ニシテ内重要ナル物品ノ拂下代ハ二十一萬九百九十圓九十九錢五厘ナリ

第五 阿仁鑛山ハ明治十四年度マテハ多少ノ益金アリシモ十五年以後出鑛粗惡加フルニ銅價ノ下落アリ爲メニ大ニ收益ヲ減シ十七年度マデ三年度間ニ殆ント十五萬圓ノ損失ヲ生ゼリ茲ニ於テ到底維持ノ見込ナキヲ以テ之ヲ拂下タリ

院內鑛山ハ明治十四年度以後出鑛粗惡ノ爲メ大ニ其收益ヲ減シ十四年度十六年度ノ益金ハ僅カニ一萬餘圓ニシテ十五年十七年度ノ損失ハ七萬餘圓ニ達シ到底官業トシテ繼續スルノ不利ナルヲ認メ之ヲ拂下タリ

阿仁鑛山ノ爲メニ政府ノ支出シタル金額ハ總計金百八十九萬三千四百四十六圓九十一錢六厘其政府ニ收入シタル金額ハ總計金六十九萬五千八百四圓二十八錢四厘ニシテ内鑛山拂下代ノ收入額十二萬二千四百四十六錢二厘地所拂下代ノ收入額一萬七千二百三十三圓十八錢四厘ナリ

院內鑛山ノ爲メニ政府ノ支出シタル金額ハ總計金八十萬二千二百九十五圓二十錢八厘其政府ニ收入シタル金額ハ總計金三十五萬六千二百六十九圓六十三錢四厘ニシテ内鑛山拂下代ノ收入額八萬三千六百六十二圓六十五錢二厘地所拂下代ノ收入額四千三百五十五圓三錢二厘ナリ

第六 政府ハ鑛山ノ官業ニ利少ナクシテ民業ニ利多キヲ察シ明治十七年佐渡生野三池阿仁ノ四鑛山ヲ除キ他ハ悉皆民業ニ移スベキノ議ヲ決シタルニ由リ小阪鑛山ヲ拂下タリ其拂受人ハ久原庄三郎ニシテ拂下代價ハ金二十七萬三千六百五十九圓六十九錢六厘ナリ小阪鑛山ノ益金ハ明治十三年ノ創業ヨリ明治十七年ノ拂下マデ五箇年度間ニ八萬八千七百七十圓八十七錢八厘ナリ

右及答辯候也

明治二十五年六月十三日

大藏大臣伯爵松方正義閣

醫師免許規則改正法律案審查特別委員ニ鹽田與造君古莊嘉門君香月忍經君長谷川泰君鈴木萬次郎君加藤淳造君鈴木麟三君田中正造君工藤卓爾君ヲ指命セリ

○議長(星亨君) 是ヨリ會議ヲ開キマス

○工藤行幹君(百六十六番) 一寸一言致シマス、唯今ノ政府ノ答辯書ハ餘計長イモノデ、一遍朗讀ヲ聽イタバカリデハナシテゴザリマスヤラ、能ク記憶致シマセヌカラ、ドウカ議長デ一ツ印刷ニ付シテ御配付ニナル様ニ願ヒタイ

○議長(星亨君) 速記録ニ皆載セマス、速記録デ御覽ナスンタラ宜カラウ

○紫藤寛治君(百六十番) 請願委員ノ報告ヲ……

(紫藤寛治君演壇ニ登ル)

○紫藤寛治君(百六十番) 諸君請願委員第四回ノ御報告ヲ致シマス、請願委員ニ於キマシテハ、去ル十一日總會ヲ開クヘキ所デアリマシタガ、様子アツテ一日引キ上ケマシテ、十日ニ總會ヲ開キマシテゴザリマス、其決議ノ次第ヲ

衆議院議事速記録第二十六號

明治二十五年六月十三日

請願委員長ノ報告

御報道致シマス、一、震災ニ就キ小學校費補助ノ件ガ一通、同小學校建築修繕及器具費ノ國庫支辨ヲ仰グノ件ガ一通デアリマス、同商工業資金貸與ノ件、同授產資金貸借ノ件、同石炭製造營業資金貸下ノ件、同炭製造營業資金貸下ノ件、同酒造稅特別免除ノ件、同租稅免除ノ件、遠洋漁業創始ノ件、遠洋漁業採究ノ件、藥品營業及藥品取扱規則改正ノ件、是ガ三通デアリマス、特別地價修正ノ件十七通、地價修正及地租輕減ノ件七通、蠶業保護ノ件二十二通、鐵道布設ノ件三通、私設鐵道買上ノ件一通、國庫剩餘金處分地租輕減及自家用料酒鑑札料廢止ノ件一通、菓子稅則廢止ノ件一通、神社格式改正ノ件一通、僧侶兵役免除ノ件一通、諸僧侶被選權ニ關スル件一通、選舉干涉ニ關スル件一通、選舉干涉ニ付資格審查ノ件三通、戊辰ノ役出軍軍功御恩賞下賜ノ件ニ付スルヲ要セサルコトニ決議ヲ致シマシテゴザリマス、金祿公債證書御下付ノ件ガ一通デアリマス、此件ハ最モ事情……事情尤ニ聞エマスケレトモ、如何セン之ヲ精細ニ取調ヘル暇モアリマセヌカラ、是ハ先ヅ政府ノ參考トシテ政府ニ廻ハスコトニ決議ヲ致シマシテゴザリマス、ソレニ郡分合ニ關スル件ガ三通、島根縣下石見國廣島縣ノ管轄ニ屬セシムル件ガ一通デアリマス、是モ同ジク政府參考ノ爲メニ差廻スコトニ決議ヲ致シマシタ、山林制度改正ノ件デアリマス、此件ハ一縣ノ請願ト申スモノ、隨分全國ニ適用サル、件ト見認メマシタカラ、是ハ院議ニ付スルコトニ決定ヲ致シマシテゴザリマス、先ヅ決議ヲ致シマシタ件々ハ右ノ次第デアリマス、其外三百一號ヨリ三百六十四號迄ノ文書表ヲ拵ヘマシテ、是ハ例ノ通議長ノ手許ニ差出シマシテ、追テ御配付ニナルコト、存ジマス、是丈御報道ニ及ビマス

○加藤六藏君(二百二十四番) 本員ハ唯今ノ請願委員長ニ質問シタイ、此四百何通ノ請願ノ中皇漢醫道繼續ノ請願一通丈ヲ本會ニ出サレタノハ、ドウ云フ譯デスカ

○紫藤寛治君(百六十番) 皇漢醫道ノ何デスカ

○加藤六藏君(二百二十四番) 皇漢醫道繼續ノ請願丈ヲ本會ノ——當院ノ議事日程ニ付シ、本會ニ掛ケラレタノハドウ云フ譯デアリマス、又四百何通ト云フ請願ノ中ニハ、此漢醫ノ外ニモ十分必要ナルモノガ澤山アラウト心得マス、然ルニ四百何通ノ中デ餘リ必要デナイモノヲ當院ノ議ニ掛ケラレテ、他ノ最モ必要ノモノヲ掛ケラレナイノハ、ドウ云フ譯デアリマス

○紫藤寛治君(百六十番) 御答ヲ致シマス、二百二十四番ハ請願書ノ多數ノ中ニハマダ別ニ必要ノモノガアルハ御認メデアリマセウケレドモ、請願委員ノ多數ハ斯ノ如ク見認メマセヌカラ、先般來報道ニ及ビマシタ丈ノ分ハ、院議ニ付スベキモノト認メマシタ、其他ノコトハ御答ヲ申ス様ナコトハアリマセヌ

○加藤六藏君(二百二十四番) 此皇漢醫道繼續ノ請願ヲ院議ニ付サレタ必要ノ理由ヲ伺ヒタイ

○紫藤寛治君(百六十番) 請願委員ニ於テハ、書面ニ依ッテ其採否ヲ分ケルマデニシテ、其性質上ノコトハ御答ヲ致ス限デアリマセヌ

○議長(星亨君) 二百二十三番——是ヨリ本日ノ議事日程ノ第一ニ移リマス

第一 郵便聯合國郵便切手類保護法案

第一讀會ノ續(特別委員)

(堤猷久君演壇ニ登ル)

○堤猷久君(二百二十三番) 諸君、郵便聯合國郵便切手類保護法案ノ審査ノ經過及結果ヲ報道致シマス、本法案ハ極テ單純ナル法案デアリマスカラ、簡單ニ審査ノ結果ヲ報道致シマスガ、一體此保護法案ニ就キマシテ、審査會デ審査ノ要點ニ著目致シマシタ所ノモノハ、外國ノ郵便切手類ニハ相當ノ保護ヲ與ヘル以上ハ、我邦ノ郵便切手ニ對シテ聯合諸外國ニ就イテ、相當ノ保護ヲ與ヘテ居ルヤ否ヤ、及此刑罰罰金ヲ相當トスルヤ否ヤト云フ、此兩點ニ外ナラヌコト、存ジマシテ、ソレ等ノコトヲ種々調査ヲ致シタ譯デアリマスガ、要スルニ總テ原案ヲ是認致シタ譯デアリマス、又字句ノ修正ハ二三箇所修正ハアリマスケレドモ、是ハ貴族院ノ修正ガ相當デアルト認メマシタガ、其例ハ即チ既ニ前日決議ニナリマシタ所ノ、小包郵便法案等ノ字句ノ修正ト同様ノ次第デアリマスカラ、別ニ辯ジマセヌ、而シテ此外國ニ於テドウ云フ都合ニ我邦ノ郵便切手ニ保護ヲ與ヘテ居ルカト云フコトヲ、段々調べテ見マスト、手續ヲ申陳マスレバ頗ル事長ウアリマスカラ、其要ヲ摘ンデ陳シ置キマスデアリマスガ、昨年埃地利ノ維也納ニ於テ郵便會議ヲ開カレマシタ、處デ其萬國郵便聯合條約ノ第十八條ト云フモノニ、同盟國ハ相互ニ申合セテ外國ノ郵便切手ニ相當ノ保護ヲ與ヘルヤウニ仕樣デハナイカ、ソレヲスルニ付イテハ其自國々々就イテ、即チ此議會等ニ此案ノ處分法案ヲ提出シテ、速ニ其事ノ成立ヲヤウニ仕樣デハナイカト云フコトヲ規約シテアリマス、既ニ其結果トシテ佛蘭西外二十六箇國ト申シマスモノハ、ソレノ相當ノ罰則ヲ既ニ制定シテアルト云フコトデアリマス、其他殘ツテ居リマス所ノ締盟國ニ於テアリマス、其刑罰トカ或ハ罰金トカ申シマスモノニ付イテハ、其國ノ刑法ノ組織ニ依リマシテ多少ノ寬嚴ガアリマス、其事實ノ例ヲ此處デソレノ申述ベタイト思ヒマス、餘リ混雜シテ居リマスカラ申述ベル必要モナカラウト思ヒマス、即チ此第一條若クハ第二條等ニ明記シテゴザイマス所ノモノヲ、我國ノ郵便條例即チ我國ノ郵便切手ニ對スル所ノ刑罰罰金ニ對照シテ見マスニ、凡ソ二等ヲ減ジ若クハ凡ソ半額ノ罰金等ハ半額ノ内外ニナッテ居ルト云フ割合デゴザリマス、是モ段々外國ノ實例ヲ參酌シ、種々斟酌ヲ加ヘテ起草シタト云フコトデアリマス、デ種々取調ベテ見マスニ、至極相當シテ居ルト、心得マス、固ヨリ我國ノ郵便切手ヲ精査致シマスルコトデアリマセヌカラ、即チ外國ノ郵便切手ニ對スルコトデアリマスカラ、本國ノ主權ニ關係ハゴザリマセヌケレドモ、畢竟郵便聯合國ノ追々會議ヲ開キ、諸般ノ打合せヲ爲シテ、今日迄運ビツ、アル今日ノコトデアリマスルカラ、到底國際上ノ交誼トシテ、彼ノ郵便切手ニ對シテモ若シ偽造變造其他不都合ノコトヲスル者ガアレバ、相當ノ處罰ヲ加ヘルト云フコトハ、又已ムヲ得ヌコト、心得マス

以上陳述致シマス様ナ都合デ、誠ニ單純ナ法案デアリマスシ、ドウカ速ニ決議ニナランコトヲ希望致シマス、デ段々此施行期限等ノコトニ就キマシテ、既ニ來月ノ一日ヨリ施行スルト云フコトデ、是等ノ事モ段々郵便會議ノ

時分ニ申合ノ都合モアルト云フコトデ、既ニ施行期モ切迫シテ居ルコトデアリマスカラ、別ニ御異議ガゴザリマセヌケレバ、速ニ決議アラントヲ希望致シマス

○大坪利晋君(百十六番) 一寸、政府委員ニ質問致シマスガ、唯今ノ特別委員ノ報告ニ依ッテ略、了承致シマシタガ、此我國ノ郵便切手類保護法案ガ實際ニ行ハレマスル様ニ相成マシタ曉ニ至リマシテ、若シ之ヲ外國人ガ我日本ノ此法律案ニ觸レル様ナ事ガゴザリマシタラバ、矢張此法律案ヲ以テ外國人モ處分スル様ナ、萬國聯合博覽會ニ談シマシテ成立チマシタガ、我日本人民式ニ施行スルモノデゴザリマスガ、其邊ヲ一應……

○政府委員(遞信次官河津祐之君) 簡單ナル御答デア宜カラウト思ヒマスカラ、此處デ御答致シマスガ、勿論此法律ハ外國ノ郵便切手ヲ贋造變造致シタ者ヲ、處罰スルモノデアリマスケレトモ、日本ノ法律デアリマスカラ、日本ノ法權ノ下ニ在ル者ノ外ハ罰スルコトハ出來ナイノデアリマス、故ニ治外法權ノ下ニ居ル所ノ外國人ガ、日本ニ於テ犯シタルモノハ致方ハゴザイマセヌカラ、矢張日本ノ郵便切手ヲ贋造變造シタルモノト同ジデアリマスカラ、日本ノ法權ノ下ニ立ツ所ノモノ、外ヲ支配スルコトハ出來マセヌ

○山田泰造君(百十三番) 唯今ノ法律案ニ就キマシテ、委員長ガ既ニ述ベラレタル通、簡單ニシテ且ツ別段疑義ニ涉ル所モ見エマセヌ故、願クハ直ニ是ハ可決致シタク、御贊成アラントヲ希望致シマス

(贊成々々ノ聲起ル)

○議長(星亨君) 百十三番ハ議會ヲ省略スルト云フ發議デゴザイマスカ

○山田泰造君(百十三番) 左様デゴザイマス、三讀會ヲ省略シテ直ニ確定議ニシタイ

○議長(星亨君) 決ヲ採リマス議會ヲ省略スル動議ガ出テ、贊成者ガアリマスカラ、此動議ニ贊成ノ方ハ起立ナスッテ下サイ

起立者 多數

○議長(星亨君) 三分ノ二以上アリマスカラ、即チ議會ヲ省略致シマス

○魚住逸治君(十五番) 議會省略ト定マツタ以上ハ、直ニ本案ヲ以テ確定議ト看做サレンコトヲ望ミマス

(贊成々々ノ聲起ル)

○議長(星亨君) ソンナラ決ヲ採ルベキデアリマスケレドモ、滿場異議ガナケレバ確定致シマス

(異議ナシ異議ナシト呼ブ者多シ)

第二 海上衝突豫防法案(政府提出貴族院送付)

○議長(星亨君) 是ヨリ第二ノ日程ニ移リマス、——七十五番

(青山朗君演壇ニ登ル)

○青山朗君(七十五番) 海上衝突豫防法案ノ委員會ノ報告ヲ致シマス、此法案ハ諸君方モ御承知ノ通、日本デ制シテ直ニ日本デ行フト云フコトハ、今日

ノ場合ニ於テハ出来マセヌノデゴザイマス、エ——此法案ハ條約國諸各國ニ相協議ヲシテ、然ル後デナク、テハ之ヲ實施スルコトハ出来ナイノデアリマス、就キマシテハ此法案ノ履歷ヲ先ツ御話致シマセウ、此法案カ始テ生レ出マシタノハ、明治五年ノ年デゴザイマス、明治五年ノ年當時我日本ニ於キマシテハ、西洋形ノ船ト云フモノハ漸次組織ヲ改正シツ、居タノデゴザイマス、當時ハ各國ノ船ガ此日本ノ開港場ニ出入カ頻繁ナルトキデゴザイマス、タメニ、往々此汽船ノ衝突ヲシテ人命ヲ誤リ、或ハ財産ヲ海底ニ沈没シタコトガアルノデゴザイマス、就キマシテ本國政府ニ於キマシテハ、深ク之ヲ憂ヘテ、英吉利政府ガ當時行ツテ居ル所ノ、海上豫防規則ヲ適用シテ發布シタノデアリマス、法律ヲ——而シマシテ明治七年ノ年ニ此法案ガ未ダ完全ニ不ニアラナカッタガ故ニ、再ヒ修正ヲ加ヘ、而シテ政府ガ發布致シタノデアリマス、又十三年ニ於キマシテ英國政府ハ列國政府ニ協議ヲ求メマシテ、此海上衝突豫防法案即チ豫防規則ガ十分ニナラナカッタノデアリマス、其十分ニナイノヲ各國ニ協議ヲ求メテ、而シテ大ニ改正ヲ加ヘント致シタノデアリマス、其際既ニ本國ヘモ照會ガゴザイマシテ、而シテ本國モ之ヲ諾シテ、即チ三十五號ノ布告ヲ以テ、本國ニ於テ、此改正ヲ發布セラレタノデアリマス、是ガ即チ當時行ハレツ、アル所ノ現行法案ガ即チ是デアリマス、又十八年ニ英國政府ハ此法案ノミデハマダ足ラナイノデ、故ニ船頭夜間晝間信號ヲ追加シタノデゴザイマス、此際ニ當リマシテモ英國政府ハ列國ニ諮リマシテ、協賛ヲ求メテ而シテ決行シタノデゴザイマス、處ガ今日再ヒ改正ヲ要スルニ至リマシタノハ、一昨昨年即チ明治二十二年——二十二年ニ於キマシテ米國政府ガ發起トナリマシテ、萬國ノ海軍會議ト云フモノヲ華盛頓府ニ開イタノデアリマス、華盛頓府ニ開キマシタ所此會議ニ列席シマシタ國數ハ二十八デゴザイマス、又委員ノ數ハ六十有餘名ノ人ガ出席シタノデゴザイマス、我國カラモ即チ參ラレタノデゴザイマス、此會議ニ於キマシテ、即チ本案ノ修正案即チ此修正案ノコトガ、茲ニ始テ起ツタノデゴザイマス、遂ニ此修正案付スル、即チ其元ハ亞米利加華盛頓府ニ於テ極マタル所ノモノガ取モ直サス我政府ニ廻リ來ッタノデゴザイマス、今日コノ出マシタノハ即チツレデゴザイマス、又海上衝突豫防規則法案ト申スノハ、是ハ翻譯デゴザイマシテ、悉ク翻譯ヲ是ヘ寫シタノデゴザイマス、故ニ此簡條ノ中、即チ條目ノ中ノ簡條ノ中ノ修正スルコト云フコトニ於キマシテハ、彼ノ列國政府ニ照會ヲシテ然ル後デナク、レバ之ヲ改正スルコト云フコトハ出来ナイ案デゴザイマス、就キマシテハ貴族院ニ於キマシテモ、文字ニ少々——我國ニ適シナイ文字ノ修正ハ加ヘテアリマスガ、大體ノ所ニ於キマシテハ少シモ直シテハナイノデアリマス、又直スコトモ出来ナイノデゴザイマス、右様ノ規則デゴザイマス故ニ、今私ガ喋々此條目ニ就イテ御説明ヲ要スルニモ及バナイト考ヘマスカラ、此條目即チ逐條ノコトニ就イテハ、説明ハ省略致シマス、故ニ諸君宜シク御閱讀アツテ、而シテ此法案ノ成立ツコトヲ偏ニ希望致シマス、右ノ次第ヲ御報告致シマス

○廣住久道君(二百八十九番) 特別委員長デモドナタデモ宜シウゴザイマスガ、一寸質問致シマスガ、此總則第二項ニ——勿論文字ノコトデアリマスガ、「用ヒ」ノ「ヒ」ノ字ハ皆「井」ノ字ヲ書キマスノニ、是ノミ「ツ」ノ「ヒ」ノ字ニナツテ居リマス、是ハ全ク印刷ノ違ヒデアリマスレバ、ツレデ宜シイノデア

リマスガ、一定ニシタイト思フノデゴザイマスガ、其事ヲ一寸……
○青山朝君(七十五番) 汽力ヲ用ヒト云フ所デスカ
○廣住久道君(二百八十九番) 用ウルト用ヒサルトノ別ナクト云フ所デス
○青山朝君(七十五番) 用ウルト用ヒサルトノ別ナクト云フ所デスカ、ツレハ前ノ「ハ」ニナツテ居ルノデ……
○廣住久道君(二百八十九番) 外ノ所デハ「ヒ」ノ字ハ皆「井」ノ字ニナツテ居ルノデ……
○青山朝君(七十五番) 「ウ」ノ字ニナツテ居リマス
○廣住久道君(二百八十九番) 二項ノ二行目ノ「用ウルト用ヒサル」ト云フ下ノ「ヒ」ノ字デス
○青山朝君(七十五番) 「ヒ」ノ字ニナツテ居リマス
○政府委員(遞信次官河津祐之君) 此貴族院デ直シマシタノハ、皆後ヲ見マスルニ、井桁ノ「井」ノ字ニ直シテアリマスカラ、是ハ活字ノ誤リデアツタト思ヒマス
○角利助君(百七十一番) 少シ政府委員ニ御尋シマスガ、唯今委員長ノ報告ニ依レバ此海上衝突豫防法ナルモノハ、專ラ外國ノ船ノタメニ造ツタモノト云フコトガ根原ノ様ニ聽受ケマシタ、併シ斯ク日本ノ法律トシタ上ハ、外國ノ船ト云フノミデナイ、總テ日本ノ海上ノ船舶ノ規則ニナルコト、思ヒマスガ、果シテサウデゴザイマスレバ、此海上衝突豫防法ト書イテハアリマスガ、矢張海デナク湖ナドニ使フ所ノ汽船ト云フ様ナモノモ、之ニ準スルモノト見マスカ、第一ニ此本案ハ外國ノタメニ作ツタノデアルカ、或ハ一般ニ用ヒル所ノ法則デアアルカト云フコトヲ伺ヒマシテ、然ル後ニ尙ホ承リタイ
○政府委員(遞信次官河津祐之君) 委員長ノ報告ハ決シテ私カ聽キマシタル所デハ、本案ハ外國ノ船舶ヲ保護スルタメト云フコトデハナイ御報告ト存ジマス、勿論此海——海上ノコトニ云フモノハ、殆ド萬國一樣デゴザイマシテ、海上ノ此信號報ト云フモノハ、萬國何レノ國モ同ジコトデナイト、此方ノ船トアチラノ互ニ會ヒマシタリ、互ニ話ヲシタリ、互ニ助け合フナリ、皆一樣デナクテハナラナイ、ツレ故ニ海上衝突豫防法ト云フモノハ、此方バカリデ例ヘテ申セバ、斯ウ云フ船ニハ白イ燈リヲ二ツツケルコト云フ規則ヲ極メマシテモ、彼國デハ二ツツケナイト云フ時ニハ、何ニモナラヌカラ、是ハ萬國相談ヲシテ斯ウ云フ場合ハ二ツツケヤウ、斯ウ云フ場合ハ六尺離レテツケヤウト云フ相談ヲシナケレバ往カナイ、故ニ前ノ委員長モ言ハレマシタル通、十三年ノ改正ノ時現行法ノ改正ノ時ニモ、海ヲ持ツテ居ル所ノ國ガ英吉利ガ改正案ヲ出シテ、協議ノ上デ改正シタノガ現行法デアリマス、二十二年ニ於キマシテモ亞米利加ガ發起シテ海ヲ持ツテ居ル國ニガ、亞米利加ニ集ツテ相談ヲシテ、斯ノ如キ法律案ヲ拵ヘマシタ譯デアリマス、サウシテ之ニ依リマシテ追ヒ此法律ヲ——此約束ヲ法律ト致シマシテ施行ヲ致ス國ガアルノデゴザイマス、即チ亞米利加ノ如キハ既ニ之ヲ發布致シマシテ、我國ニモドウゾ早ク發布シテ吳レイト云フ請求ガ頻ニアル次第デアル、故ニ此法律ハ勿論外國ノ船舶ヲ保護スルノデハナイ、世界ノ船——我國ノミナラズ世界ノ船舶ヲ保護スル所ノ法律デアルト御了解アルコトヲ希望致シマス、先程特別委員長ノ言ハレマシタコトニ、決シテ是ハ外國ノ船舶ヲ保護スル法律デアルトハ言ハレナイ管デアル

○角利助君(百七十一番) 大體ハ分リマセタガ、ツレニ就イテ二三箇條御尋
レマス、取リモ直サズ此法律ナルモノハ、船長トカ或ハ海員トカ云ヘバ大變
立派ノモノデアリマスケレドモ、言ハハ日本ノ船頭ガ奉セネバナラヌ規則デ
ザイマス、シテ見レバ此文字ノ中ニ甚ダ意味ノ解シ惡イ所モアリマス、現
行法ト引較ベマシテ餘程條項ノ變タ所モアリマスカラ、此法律ノ意味ノ甚
ダ不十分ナル所ヲ御尋スルノハ最モ必要ト思ヒマス、ツレハ此第七條ト云フ
モノガ現行法ヨリハ新ニ加ヘラレマシタモノデアリマスガ、然ルニ此現行法
ノ第六條 第六條ナルモノハ「小形船航行中云々」ト云フ、小形ノ船ハ舷
燈ヲ用ヒナイ場合ガアル、然ルニ七條ニナレバ「總積量四十噸未満ノ汽船及
機糧若ハ帆ヲ以テ運轉スル二十噸未満ノ船航行中ハ必ズシモ云々」舷燈ハ用
ヒルニ及バヌト云フ、此第六條ノ小形船ト申スノガ第七條ニ掲ゲタルモノヲ
指スナラバ、殆ト重複ノ様ニ見エマス、是ガ小形船ナルモノハ第七條ノ外ノ
船ヲ指スノデアアルカ、或ハ第七條ノ如キモノナレバ四十噸未満、帆前船ナラバ
二十噸未満ヲ指スノデアアルカ、此小形船ト云フ事柄ノ意味ノ説明ヲ願ヒマス、
尙ホ次ノ第八條ニ「水先船其ノ水先區ニ於テ營業ヲ爲ストキハ」トアル、是
ハ現行法トハ違ッテ水先區トアリマスガ、水先區ト掲ゲル時ハ、或ハ海上ノ
水先船ナルモノガ營業ヲ爲スニ當ッテ海上ノ區分スル様ニ見エマスガ、水先
區ト云フモノガ海上ニアルガ、唯水先船ガ營業スル所ヲ水先區ト付ケタト輕
ク見ルノデアリマスガ、ツレカラ序ニ第九條第二項ノ中ニ乙ト云フ項ガアリ
マス、乙ノ手前カラ四行目デゴザイマスガ「本項乙記載スル諸船地中海ニア
リテハ」云々トアリマスガ、此地中海ト云フ文字ハ先刻總テ先約ニ依ッタト
云フガ、是ハ矢張西洋ノ地理ノ地中海ヲ指スカ、或ハ唯日本徳俗ニ言フ内海
ヲ指スカ、内海ナラバ第三十條ニ「本法ハ地方長官ニ於テ規定シタル港、川其
他内海ノ運航ニ關スル」云々ト云フ文字ガアリマス、總テ斯ノ如キ船頭迄モ
遵奉サセル規則ナレバ、若シ意味ガ同ジナラバ、文字ヲ同ジニスベキデアリマ
スガ、殊更ニ文字ガ變ヘテアルノハ、意味ガ違フト思ヒマスガ、是ハ地理上ニ
言フ地中海ヲ指シマスガ、但シハ内海ヲ指シマスガ、ツレカラ是ハ政府委
員ニ伺フノハ如何デアリマスガ、貴族院ノ修正デ「流網」ヲ刺網ト變テ居リマ
スガ、是ハ全ク物ハ同ジデ名稱ガ違フノデアアルカ、或ハ物迄モ違ヒマスガ、
御分ニナラバ序ニ説明ヲ請ヒマス

○政府委員(遞信次官河津祐之君) 本案タル是ハ航海ノ事ヲ能ク知ツタモノ
デナケレバ實ハ分ラナイ、ツレデ此貴族院ノ委員會ニ於キマシテモ、本院ノ
委員會ニ於キマシテモ既ニ、藝人ヲ連レテ來テ説明サシテアル、併シツレモ
原語ト違ハヌケレバ宜シト云フ見當デヤツテアル、甚ダ御答辯ガ間違ヒマ
スカモ知レマセヌガ、先ヅ其小形船ト云フコト、七條ノ區別ト云フモノハ、六
條ノ小形船ハ廣ク言フ譯デ、七條デハ此小形船デモ極ク小サイ船迄モ嚴重
ニシテ置イテハ因ルダラウト云フコト、小形船デモ小サイ四十噸未満ノ汽船
トカ、或ハ帆ヲ以テ運轉スル二十噸未満ト云フモノハ、ツレ程嚴重ナル汽船
ヲツケヌデモ宜イト云フコトニシタモノデアアル、即チ小形船中ノ更ニ小サ
イモノニ附イテ猶ホ寛大ナル法律ヲ設ケタ次第デアアル、ツレカラ此法律ハ船
頭ニ及ブ所ノ法律デアアル故ニ、六箇シイ字ヲ使ッテハ不都合デアアルト云フ御
尋デアル、即チ現行法ニアル所ノ文字ヲ成ル丈使ッテ居ルツウデゴザイマス、

ツレカラ水先船水先區ニ於テ云々ト云フコトハ、是ハ水先人ガ矢張其港カラ
此港ト云フ丈ヲ——自分ノ營業ヲシテ居ル丈ヲ區域トシタ丈ノ話デ、別段ニ
海ノ水先ト云フモノヲ區畫シテ居ルノデハナイ、自分ガ水先營業ヲシテ居ル
橫濱ナラ横濱、長崎ナラ長崎ト云フ丈ノコトデアラウト思ヒマス、ツレカラ
地中海ノ御尋デアリマス、是ハ此地中海ハ歐羅巴ノ地中海デ地理書ニアル地
中海デアツテ、内海ノコトデハナイ、此法律ハ日本ノ法律ト云フモノハ萬國
ノ法律デアアル、此法律ヲ知ッテ居レバ何處ヘ行ッテ衝突ヲ來シテモ、ツレ丈
ノコトハ出來ルト云フ法律ノ主意デアリマスカラ、日本ノ船ガ地中海ニ行カ
ヌト云フ譯デモナイカラ、地中海ニ行ッタ時ハ矢張此規則ヲ互ニ外國ノ船日
本ノ船モ守ラナケレバナラナイ、即チ此地中海ハ地理書ニアルノデ、内海デ
ハナイノデアリマス、ツレカラ流網ト刺網ト云フコトノ御尋デゴザイマス
ガ、是ハ質問者モ言ハレタ通り、甚ダ迷惑ノコトデアハル、併ナガラ流網ト云
フ字ニ違ヒマシタ所ガ、矢張船ガ流シテアル所ノ網、船ガ流シテアル網ト云
ヘバ其種類ハ難多アルサウデアリマス、刺網ハ其處ヘ魚ガ來ッテ頸ヲ突込ム
ト云フコト、刺網ト云ッテハ大變廣過ギテ困ルサウデアリマス、故ニ貴族院
ト約束、約束ト云フデハナイガ貴族院ノ議場ニ於テ或議員ガ是ハ當局者ニ於
テ注解ヲシテ船頭等ニ示シタラ宜カラウト云フコトデアリマスカラ、サウ云
フコトニシマセウト云フコト、刺網ト云フハドノ位、線網ト云フハドノ位ト
云フ解釋ヲ與ヘテ、船頭達ノ困ラヌ様ニシヤウト云フコトノ御話ハ議場デ
致シマシタ次第デアリマス、果シテ流網ガ宜シイカ、刺網ガ宜シイカ、ナゼ刺
網ガ適當ト云フコトハ甚ダ完全ナル御答ヲスルコトニハ苦ム次第デアリマス
○山田泰造君(百十三番) 少シ御尋申シタイ、此最初ノ原案ニ依リマス、
何條何號トアル、然ルニ修正シタノヲ見マス、號ガ皆項ニ改ッテ居ル、ツ
レデ目下法律トシテ行レテ居ルモノヲ見マス、一二三四號ガフツテアル、
皆ナ何號トアル様デアリマス、故ニ原案モ其通りニナツタラウガ、此項ト云
フハ一二三四ヲ書カズニ、其文章ノ切レタ所ガ之ガ項ニナツテ居ル様デ、今
現ニ行ハレテアル様ニ見エマス、ツレデ委員會ニ於テモ政府委員ニ御尋モア
リマシタラウガ、是等ハ變更ニナルト外ノ法律ニ對シテ差異ガ生ジテ居リハ
シナイカ、ツレハ別ニ此法律ニ對シテハ拘ヲヌト云フ意味ガアリマシタノデ
アリマセウカ、ツレハ一寸御尋申シタイ、ツレカラシテ今政府委員ノ御答ニ
水先區ト云フモノハ、水先ノ案内ヲ營業トスル丈ノコトデ、別ニ區域ガナイ
ト云フヤウナ御説明デアリマシタガ、本員ハサウデナク、區域ハ慥ニ水先案
内規則トカ何トカ云フモノガアツタヤウニ思ッテ、ツレデ區域ガチヤント定
マツテ居ルヤウニ考ヘテ居リマシタガ、此水先案内ノ何ト云フモノハ廢サレ
タノデアリマセウカ、又此法律ニ限ッテハ營業者ノ自カラ定ムル所丈ト云フ
解釋デアアルノデアリマセウカ、一寸此點ヲ御尋致シマス

○政府委員(河津祐之君) 先ヅ第一ニ號ノ字ガ項ニナツタト云フ御尋デゴザ
イマスガ、是ハ唯今百十三番デゴザイマシタカ、言ハル、通日本ノ今日ノ普
通ノ法律案ハ原案ノ通デアアルノデアアル、原案ノ通デアリマス、ナレドモ貴族
院デハ之ヲ項ノ字ノ方ニ換ヘタ方ガ宜イト云フ考デ、貴族院ノ特別委員ガ換
ヘタノデアアル、項ト云ツタ所ガ號ト云ツタ所ガ議論ハナイト云フ所デ格別爭ハ
ナカタ譯デアアル、ツレデ水先區ト云フコトハ私ノ考デハ先程申シタ通デア
ル、ケレドモ間違ッテ居ルカモ知レマセヌ、間違ッテ居ルナラバ、アナタノ

方が宜い御了解願ひマス

○栗谷品三君(百九十三番) 政府委員ニ御尋致シタウゴザイマス、是迄ノ規則ハ即チ此案ガ成立ツト廢ストアリマスルガ、信號ニ使フ所ノ器械ノ如キモノハ何處デ製造致シマス、外國カラ取寄セルノデスカ、日本デ製造スルノデスカ

○政府委員(河津祐之君) 是ハ何處ニ注文致シマスカ、日本デ出來ルモノハ日本デ注文致シマセウシ、又陸海軍ノ製造場デモ出來マセウシ、又民間デモ出來ル所ガアリマスレバ、ソレヲ船頭ガ買ヒマセウ、又外國カラ買ヒマセウ、是ハ船頭ガ自分デ買ヒマスカ次第アリマスカラ、政府ハ何處デ買ヘト云フコトヲ極メテ譯ニモ行キマセヌ

○栗谷品三君(百九十三番) 今一應御尋致シマス、是迄ハ決シテサウデナイ、是迄ハ政府ガイ、加減ナ所ヘ注文サシテ居ル、依ッテ是迄ノ成績ヲ以テヤルノデアルカ、唯今ノ御説ノ如ク或ハ海軍デモ陸軍デモ何處デモト云フ譯デアリマスカ、是迄ノ所デハ極テ政府カラ或ハ指名ヲシタウコトモゴザイマセウ、依ッテ私ハ其邊ノ所ヲ伺フノデアリマス、此法律ニ依ッテ願出レバサスカ、或ハ政府ハ是迄指名通ノ者ニサスカ、之ヲ免許シテ賣ルコトガ出來ルト云フモノカ、之ヲ製造スルノモ一定ニ製造スルノカ、此邊ノ所ハドウ云フ政府ノ御積リデアルカ、伺ヒマス

○政府委員(河津祐之君) 大變六ヶシイ御質問デ甚ダ答辯ニ究シマスガ、成程仰シヤル通、中ニハ危險ナモノモアルヤウデスカ、是ハ政府ノ指名カ、政府ノ許シヲ得ナケレバサセナイ次第デアルデゴザイマセウ

○栗谷品三君(百九十三番) 尙ホ御調ヲ願ヒマス、追テデモ宜シウゴザイマス

○大坪利晋君(百十六番) 尙ホ質問致シマスガ、最前カラ質問ニ對シマシテ少シク不満足ヲ與ヘテ居マス、ケレドモ其儘差控ヘテ居マシタガ、唯今百九十三番ノ質問ニ就キマシテ、尙更曖昧ノ御答ヲ政府委員ガ爲サレマスニ就イテハ、私ハ更ニ質問ヲ致シマス、成程百九十三番ノ言ハル、通ニ、此法律ヲ明治二十六年一月一日ヨリ施行スルコト云フコトニナツテ見レバ、必ズ人民ト云フモノハ此法案ヲ遵奉シテ行カナケレバナラナイ、サウ致シテ見マスレバ、ソレニ附屬スル物モ政府デ別段ノ何ガナケレバ之ヲ製造シテ、一月一日カラ之ヲ賣却スルコト云フ譯ニハ至ラヌト考ヘル、此法律ハ二十六年一月一日ヨリ施行スルコト言ハレタ、最前ノ御言葉ハ甚ダ親切デナイ御言葉ト考ヘル、決シテサウ云フモノデアルマイト考ヘマスガ、果シテサウデゴザイマスカ、尙ホ最前ノ御答ニ此規則ニ就イテハ政府ニ於テモ自カラ御自分デモ不案内ナコトガアツテ、既ニ委員會ノ時分ニモ藝人ヲ雇フテイロノ委員會ノ質問ニ答ヘタコトガアルトカ、或ハ話ヲサセタコトガアルトカ云フノ御答ヲ爲サレマシタガ、之ヲ明治二十六年一月一日ヨリ施行スルコトニ至ッテ見マスレバ、此滿場ノ議員イロノ疑ガアツテ、今御質問ヲ致ス積リデアリマセウガ、之ヲ實施スルニ至ッテナラバ、各府縣ニ於テモ十分ニ之ヲ疑ッテイロノ本省ニ質問ヲスルコト云フモノカ、或ハ伺ヒマスルコト云フモノカ、イロノコトガアフウト考ヘマス、私ナドハ九州ニ居テ此中ノ文面ヲ見レバ刺刺トカ云フモノハドウモ分ラヌ……

○議長(星亨君) 御議論ナラバ……

○大坪利晋君(百十六番) ソレデ政府ハ其時分ニナリマシテ、今日ノヤウナ御答ニナリマスル、矢張藝人トカ云フモノニ御聽キナスッテ御答ヲナサル積リデ、今日マデ詳細ナル御調ト云フモノハ行届カズニ居ル譯デアリマスカ、其邊ヲ伺ヒマス

○政府委員(河津祐之君) 成程此法律ハ明治二十六年一月一日ヨリ施行スルト云フコトデアリマスガ、此法律ヲ現行ノ法律ト較ベテ見マスルト云フト、サウ大シタ違ハナイ、今マデ燈ヲ一ツツケタ所ニ二ツ附ケルトカ、夜間ノ信號ニ其數ヲ殖ヤシタトカ、或ハ極ク少サイ船マデモ燈ヲ同ジニ置カナケレバナラヌノヲ、ソレヲ寛大ニシタトカ云フ様ナ事デアツテ、現行法ノ改正タルニ過ギナイ、今急ニ此法律ガ出來タカラシテ、急ニ船頭カ燈ヲ買ハナケレバナラヌトカ、花火ヲ買ハナケレバナラヌトカ、サウ云フ様ナ次第ハナイ、ソレ等ノ物ハ遠カラ船頭ハ持ッテ居ル、別段ニ之ガ急ニ改正ニナツタト云フ様ナ法律デアナイノデアリマスカラ、唯今百十六番ノ仰セラル、如キ御心配ハ、既ニモウ船頭ハソレノ其用意ガシテアルデス、唯今ノ豫防法デアツテハ、マダ不完全デアル、故ニ其中デ寬ニスベキハ寬ニシ、嚴ニスベキハ嚴ニシタト云フニ過ギナイノデスカ、急ニ燈ヲ買ハセナケレバナラヌ、急ニ花火ヲ立テナケレバナラヌト云フ嫌ヒデアナイノデアリマスカラ、ソコヲ御斟酌ニナリマシタラ、左程御心配ニナラヌデモ、斯ク申ス私ヨリモ即チ其燈ヲ買ヒマスル、花火ヲ買ヒマスル船頭ノ方ガ餘程委イコトデゴザリマスカラ、決シテ當局者ガ暗イカラト云フテ御心配ニハ及ブマイト考ヘマス

○大坪利晋君(百十六番) 唯今質問致シマシテ、政府委員ガ答ヘラレマスルニハ、百十六番ハ格別サウ心配シナクモ宜シイト云フ御一言ガゴザリマスルガ、最前政府委員ノ御答ニ依ッテ大變心配致シタノデゴザイマス、其故ト云フモノハ我々マダ十分分ラヌコトガアルカラ、此委員會ニ藝人ヲ雇フテ來テ……云フタ、私ハ新橋ニ藝人ガ居ルカ、或ハ柳橋ニ藝人ガ居ルカ知リマセヌケレドモ、其藝人ヲ傭フテ來テ辯解ヲ致シタト云フカラ……(此時無用々々ト呼ボ者アリ)政府ガ是ニハ……

○折田兼至君(百五十八番) 私ハ此法律ノ豫防法案ノ大體ニ就イテ一寸質問致シマスルガ、先ニ百七十五番カラノ質問ノ中ニ、此地中海ト云フ文字ニ就イテ質問ノアツタ時、此地中海ト云フノハ即チ伊太利ノ地中海ノ事デアルト云フ事ヲバ申サレタアル、シテ見ルト此海上衝突豫防法案ト云フモノハ、其國ニ施ク所ノ法律デナクシテ、其國ノ人民ガ何レノ國ニテモ其行ツタ所ノ先ニマデ施行スル所ノ規則デゴザリマスルガ、例ヘテ例ヲ引キマスレバ、日本ニハ海上衝突豫防法ト云フモノガアル、ケレドモ外國ノ人ガ日本ニ來タ時ニハ、日本ノ海上衝突豫防法ニ從ハズ失張自國ノ法律ヲ守リ日本海ヲ航海スルモノデアリマスルカ、サモナケレバ日本ノ船ガ伊太利ノ地中海ニ行ツタ時ニハ、彼ノ地中海近海ノ海上衝突豫防法ニ從ハナケレバナラヌト云フコトハ、當然デアアルサト思フ、凡ソ法律ト云フモノハ其界ニ至レバ其國ノ法律ニ從フノガ當然デアルト考ヘマスガ、併シ此海上衝突豫防法ニ至ッテハ自國ノ法律ヲ以テ他國ノ海ヲ航海シ、他國ノ人ニ對スル所ノ此互ノ權利ト云フモノ、我々安全ト云フモノヲ保ツト云フタメニ拵ヘラレタアルモノデアルカ、其大體ニ就イテ一言質問致シマス……

○政府委員(河津祐之君) 此海上ノ法律ハ何レノ國デモ同ジ事デアリマセヌ

ト云フ、船ハ勝手次第第二水ノアル所ハ動クモノデアリマスカラ、何レノ國ヘ參リテモ同シコトニナル方ガ萬國便利デアアル、危ナクガナイト云フコトデ、萬國同シ様ニ規則ヲシテ居ル譯ノモノデアリマスノデ、則チ其衝突トカ何トカ云フ事柄ガ起リマシメタ時ニハ、ソコノ土地ノ裁判ヲ仰ギ、ソコノ土地ノ法律ニ依リテ裁判セラル、ニ違イナイノデアアル

(此時議長星亨君議長席ヲ退キ副議長曾禰荒助君議長席ニ著ク)

○折田兼至君(百五十八番) 勿論是ハ航海者ノ心得ノタメニ豫防法ト云フモノハ設ケテアルモノデアアルカラ、例ヘバ日本法律ニ外國ニ往ツタ時ノ事柄マデ規定シテアルデモ差支ハナカラウケレドモ、今政府委員ノ御答辯ニ依レバ、若シ衝突シタ時ハ其衝突ヲシメテ國ニ於テノ裁判ヲ受ケケレハナラヌト云フコトデアアル、シテ見ルト一寸考ヘルト伊太利ニハ伊太利ノ海上衝突豫防法ト云フモノガアラウシ、希臘ニハ希臘ノ海上衝突豫防法ガアル、地中海ニ於キマシテハ地中海近海ノ法律ガアルカラ、其國ニ往ケハ其國ノ法律デ海上衝突豫防ノコトハ規定シテアルニ違イナイト思フ、又其國ノ規定ニ從フノガ至當デアラウト思フ、然ルニ日本ノ法律ハ成程外國同様ニ之ヲ行フガ宜シイ、船ハ何處ニデモ往キマスカラ、同一ノ規定ニスルガ宜シイト云フコトハ分ツテ居リマスガ、他ノ國ニ其法律ガアルナラバ日本ニ其規定ヲシテ置クノハ餘程可笑イ様ニ思フ、ケレドモコレハ構ハヌ、何處ノ國デモ地中海ニ對スル規定ハ此通ニナツテ居ルカラ、日本ノ海上衝突豫防法ノ此法律ニ地中海ト云フ文字ヲ加ヘヤウト云フニ過ギナイノデアリマスガ

○山田泰造君(百十三番) 本員ニ於キマシテハ既ニ委員長ノ説明モアリマシタシ、且ツ諸君モ御承知デアリマセウ、海上ノコトハ世界共通ニアルト云フコトハ一般ノ規定、論ヲ俟タザル所デアルト考ヘル、縱令其違犯者ガアツテ其國ニ異ニシテモ、其國ニ從ツテ裁判スルノハ是レ亦論ヲ俟タヌ、法律ガ其國ニ……一般ニ支配スルソナハ馬鹿氣タコトハナイコトハ御承知デアラウ、此中ニ若シ一般ニ適用出來ナイト云フノハ、或ハ……ト云フ恐クハ是等ノコトニ止マルコトダラウト考ヘマス、而シテ既ニ國際法上ニ於テ定マツテ居ル以上ハ、深ク之ヲ論ズル必要モナカラウト考ヘル、又現ニ今行ハレテ居ル法律ニ唯一層緻密ニシテ尙ホ其方法ヲ宜シクシタト云フコトニ過ギナイモノト考ヘマス、然ル以上ハ成丈早ク之ヲ議決シテ、成丈早ク行ハセルコトガ至當デアラダラウト考ヘル、故ニ本員ニ於キマシテハ先ニ郵便保護法ノ如ク是レ亦三讀會ヲ省略シマシテ、直ニ確定議ニシタイト云フ考デアリマス(贊成々々ト呼ブ者アリ) 若シサウアリマセヌト云フト、是ガ亦ドウモ唯或ハ知ラナイ人知ル人應測ヲシマス時ニハ、ソレハ三日モ掛ルコトデアラウト思ヒマス、併ナガラ歸スル所ハ唯今申上ゲタコトニナルデアラウト考ヘマスカラ、成丈早ク決定ヲ致シテ此法律ノ速ニ行ハル、様ナコトヲ希望致シマス、爲ニ願フバ滿場一致ヲ以チマシテ、速ニ確定セラレンコトヲ希望致シマス

(贊成々々ト呼ブ者多シ)

○議長(曾禰荒助君) 別段ニ御異議モゴザリマセヌニ依ツテ、變則デハゴザリマスガ、直ニ確定議マデノ決ヲ採ラウト存ジマス

○議長(曾禰荒助君) 本案ニ同意ノ方ハ起立
起立者 多數

○議長(曾禰荒助君) 多數、然ラバ確定、——第三ニ移リマス
○角利助君(百七十一番) 少シ議長ニ御尋シタイコトゴアリマスガ、宜シウゴザイマスガ

○議長(曾禰荒助君) 一寸待テ下サイ、第三ノ議事デスガ……

○角利助君(百七十一番) 其以前ニ一寸一言御尋シタイコトゴアリマス——唯今ノ海上衝突豫防法案ノ中ノ假名ガ活版ノ違ヒデアルト云フコトヲ、先程政府委員ガ言ハレタヤウデスガ、活版ノ違ヒト云フコトナラバ、矢張議長デ御訂正ニナルコト、思ハレマス

○議長(曾禰荒助君) 宜シウゴザリマス、取調ベマシテ直シマス、第三ノ議事ニ移ラウト致シマシタラバ、今日ダケ之ヲ猶豫シテ吳レト請求ガゴザイマス、即チ猶豫致シマシテ差支アルマイト思ヒマス

(異議ナシ異議ナシト呼ブ者アリ)

○議長(曾禰荒助君) 猶豫致シマス、第四ニ移リマス——二百四十二番

第四 蠶業獎勵法案(鹽田與造君外七名提出) 第一讀會

(鹽田與造君演壇ニ登ル)

○高梨正助君(七十八番) 議長……

○議長(曾禰荒助君) 唯今演壇ニ登ッテ居ル人ガアリマスカラ、暫ク御控ヘ下サレ

○高梨正助君(七十八番) ソレニ先達テ申シタイ、本案ニ附イテ贊成致シタ者デアリマスガ

○議長(曾禰荒助君) 待テ下サイ、——本案ハ朗讀ヲ省キマス(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參考ノ爲メ掲載ス)

蠶業獎勵法

第一章 總則

第一條 蠶業ノ改良發達ヲ獎勵スル爲メ左ノ方法ヲ設ク

一 蠶業講究所ノ設置

二 生絲ノ検査

三 生絲直輸出ノ獎勵

第二章 蠶業講究所ノ設置

第二條 蠶業講究所ハ中央部及地方部ノ二トス

第三條 中央部蠶業講究所ハ東京ニ置キ農商務大臣ノ管轄ニ屬シ其監督ヲ受ク

第四條 地方部蠶業講究所ハ本章ノ規定ニ從ヒ左ノ標準ニ據リ北海道及各府縣ニ之ヲ設ケ中央部蠶業講究所ノ管轄ニ屬シ地方長官ノ監督ヲ受ク

養蠶者一万户未滿 一箇所

一万戸以上二万戸未滿 二箇所

二万戸以上四万戸未滿 三箇所

四万戸以上六万戸未滿 四箇所

六万戸以上 五箇所

地方部蠶業講究所ノ位置ハ農商務大臣之ヲ指定ス

第五條 中央部蠶業講究所ニ所長一人ヲ置ク其他ノ事務員及教員ノ員數並所長以下ノ俸給ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

- 第六條 中央部蠶業講究所ニ於テ處理スヘキ事務ノ概目左ノ如シ
- 一 各地方部蠶業講究所ヲ統轄シ養蠶事業改良進步ノ方法ヲ講究シ其普及ヲ計畫施設スル事
 - 二 高等養蠶生徒ヲ教育スル事
 - 三 養蠶ノ試験桑樹ノ試培蠶具ノ改造及蠶業ニ關スル新發明品ノ調査等ヲ爲ス事
 - 四 原卵ヲ撰擇製造シ之ヲ各地方部蠶業講究所ニ分付スル事
 - 五 各地方部蠶業講究所ニ於テ製造シタル原種ノ價格ヲ定ムル事
 - 六 養蠶ニ關スル諸報告ヲ爲ス事
 - 第七條 中央部蠶業講究所ハ農商務大臣ノ諮問アルトキハ意見ヲ陳述スヘシ
 - 第八條 中央部蠶業講究所ノ事務員及教員ノ事務章程ハ農商務大臣之ヲ定ム
 - 第九條 中央部蠶業講究所ニ評議會ヲ設ク
評議會員ハ各地方部蠶業講究所ノ所長ヲ以テ之ニ充ツ
評議會々長ノ職務ハ中央部蠶業講究所々長之ヲ行フ
 - 第十條 評議會ニ於テ議決スヘキ事件ノ概目左ノ如シ
 - 一 評議會ノ議事規則
 - 二 養蠶生徒教育ニ關スル諸規程
 - 三 蠶卵種類ノ撰擇
 - 四 原種及蠶種ノ検査法
 - 其他中央部蠶業講究所々長ニ於テ重要ト認ムル事件
- 本條養蠶生徒教育ニ關スル諸規程ハ農商務大臣ノ認可ヲ得テ施行スルモ
ノトス
- 第十一條 評議會ハ毎年一月之ヲ開ク其他中央部蠶業講究所ニ於テ必要ト
認ムルトキハ臨時會ヲ開クモノトス
- 第十二條 中央部蠶業講究所ノ經費ハ總テ國庫ヨリ之ヲ支辨ス
- 第十三條 地方部蠶業講究所ヲ設置スルニハ先ツ養蠶者ニ於テ百戸以上組
合ヲ組織シ地方廳ヲ經由シ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ
- 第十四條 地方部蠶業講究所ニ所長一人ヲ置ク
- 第十五條 前條ニ定ムルモ、外地方部蠶業講究所ノ事務員及教員ノ員數
並所長以下ノ俸給ハ各組合ニ於テ之ヲ定メ中央部蠶業講究所ノ承認ヲ受
クヘシ
- 第十六條 地方部蠶業講究所ニ於テ處理スヘキ事務ノ概目左ノ如シ
- 一 養蠶生徒ヲ教育スル事
 - 二 中央部蠶業講究所ヨリ分付ヲ受ケタル原卵ヲ以テ原種ヲ製造シ之ヲ
蠶種製造人ニ賣與スル事但其代價ハ中央部蠶業講究所ノ定ムル所ニ
依ル
 - 三 養蠶者ノ請求ニ依リ原種及蠶種ヲ検査スル事但検査手数料ハ中央部
蠶業講究所ノ承認ヲ受ケ之ヲ徴收スルコトヲ得
 - 四 養蠶ニ關スル諸報告ヲ爲ス事
 - 其他中央部蠶業講究所ノ命令スル事務ヲ處理ス

- 第十七條 各地方部蠶業講究所ニ於テハ必ス養蠶生徒二十人以上ヲ教育ス
ヘシ
- 第十八條 地方部蠶業講究所ノ經費ハ各一箇所ニ付毎年國庫ヨリ金壹千五
百圓ヲ下付ス
- 第十九條 各地方部蠶業講究所ニ於テ製造シタル原種及收購ノ賣却代金ハ
之ヲ其地方部蠶業講究所ニ貯蓄シ將來維持ノ準備ニ充ツヘキモノトス
- 第三章 生絲ノ検査
- 第二十條 生絲検査所ハ横濱及神戸ニ於テ各一箇所ヲ置ク
- 第二十一條 生絲検査所ハ農商務大臣ノ管轄ニ屬シ生絲ノ検査ヲ行フ所ト
ス
- 第二十二條 生絲検査所ノ事務員及技術員ノ員數並俸給ハ勅令ヲ以テ之ヲ
定ム
- 第二十三條 生絲検査所ノ事務章程及検査規則ハ農商務大臣之ヲ定ム
- 第二十四條 生絲ヲ賣買スル者ハ何人ヲ問ハス生絲検査所ニ手数料ヲ納付
シテ其検査ヲ受クルコトヲ得但内國人ニ限り手数料ヲ徴收セス
- 第二十五條 器械製座繰製折返製ノ生絲ニシテ登錄商標ヲ貼用スルモノ一
箇年二十捆(九貫目ヲ以テ一捆トス)以上ヲ製造シ生絲検査所ノ検査ニ合
格スルトキハ左ノ區別ニ依リ其製造人ニ獎勵金ヲ付與ス但合格程度ハ農
商務大臣之ヲ定ム
- 一等 金五圓
 - 二等 金四圓
 - 三等 金三圓
- 第二十六條 獎勵金ヲ受ケントスル者ハ豫メ器械ハ釜數座繰折返ハ揚臺數
及一箇年生絲製造高ノ豫算ヲ記載シ地方廳ノ調査ヲ受ケ商標ヲ添ヘ生絲
検査所ニ報告スヘシ但其報告ヲナサハル者及報告額ニ超過スル分ハ獎勵
金ヲ受クルコトヲ得ス
- 第二十七條 虛偽騙詐ノ所爲ヲ以テ獎勵金ヲ受ケントシ又ハ之ヲ受ケタル
者並其共謀若クハ教唆シタル者ハ爾後獎勵金ヲ受クルノ權利ヲ失フモノ
トス
- 第四章 生絲直輸出ノ獎勵
- 第二十八條 生絲直輸出ヲ獎勵スル爲メ國庫ハ百五十拾萬圓ヲ限リ實際ノ需
要ニ應ジ無利子ニテ横濱正金銀行ニ交付ス
- 第二十九條 横濱正金銀行ハ前條ノ金員ヲ米國紐育及佛國里昂兩支店ニ回
送シ之ヲ運用スヘシ兩支店ハ日本人ニシテ本邦生絲ヲ直輸販賣スル者ニ
限リ其請求ニ應ジ年百分五ノ利子ヲ以テ之ヲ貸付スルモノトス但外國
人ト損益ヲ共通スル者ハ此限ニアラス
- 第三十條 貸付金ヲ請ハントスル生絲直輸販賣者ハ豫メ身元保證金ヲ横
濱正金銀行ニ差出スヘシ
- 第三十一條 貸付金ハ其借受人ノ差出シタル身元保證額ノ十倍ヲ超過スル
コトヲ得ス
- 第三十二條 貸付金ヨリ生絲利子ハ其五分ノ二ヲ横濱正金銀行ニ下付シ
殘額ヲ賣先破産損害ノ補償準備トシテ積立テシム
- 第三十三條 荷主ノ委託ニ依リ生絲直輸ヲ業トスル者貸付金ヲ借用シタル

トキハ荷主ニ對シテ年百分ノ五以上ノ利子ヲ要求スルコトヲ得ス
第三十四條 本章ニ規定スルモノ、外貸付及其監督ニ關スル規則ハ農商務大臣大藏大臣ト協議シテ之ヲ定ム
第三十五條 虛偽騙詐ノ所爲ヲ以テ貸付金ヲ借用セントシ又ハ之ヲ借用シタル者並其共謀若クハ教唆シタル者ハ爾後貸付金ヲ借用スルノ權利ヲ失フモノトス

附則

第三十六條 此法律ハ明治二十五年 月 日ヨリ向フ六箇年間之ヲ施行ス

第三十七條 此法律施行ニ關スル細則ハ農商務大臣之ヲ定ム

鹽田與造君(二百四十二番) 諸君、本員ハ此案ヲ提出致シタル一人デゴザリマス、實ハ斯様ナル新問題ヲ此短期ノ議會ニ提出スルハ如何カト苦慮致シマス、コトデゴザリマス、(高須峰造君、撤回スベシト呼ブ)如何セシ此養蠶法ナルモノハ、我邦ノ特ニ注意スベキ所ノ物産デゴザリマス、飽迄モ發達シシナケレバナラナイ、サセナケレバナラナイト云フ折柄ニ眼ヲ遠ク配リマスレバ、英佛等此事ニハ非常ニ保護ヲ與ヘ、殆ト我邦ノ國產ヲバ情ケナクモ歐米市場ニ聲價ヲ限サシムルト云フ程ノ場合マデニ迫ッテ來タト云フ有様デアル、僅ニ支那一部ニ我邦ガ幾ラカ優タ位ナ有様デアルニモ拘ラズ若シモ支那ニシテ一步進シテ茲ニ著眼スルト云フ時ニ成リマスレバ、此時ニ臍ヲ嚙ムモ間ニ合ハヌ故ニ斯様ナルモノハ、國家ノタメニ一日モ早ク是非獎勵ノ方法ヲ設ケテ、ドコモデモ發達セシメナケレバナラヌト云フヲ考ヘ、勃々トシテ止ム能ハズ、茲ニ提出致シマスル次第デアリマスルガ、何卒諸君ニ於テモ是等ノモノハ行掛リノモノデアラ、或ハ黨派問題ト云フヤウナル惡感情ハ勿論公明ナル諸君ニ於テナイコトハ、萬々信シテ居リマスケレドモ、尙ホ此處ニ一言加ヘテ提出者ノ衷情ヲ諸君ニ……本案ニ掛ル前ニ當ッテ發表スル次第デアリマス、先ヅ本案ノ理由ヲ述ベマスルニ當リマシテ、第一第二第三ト云フ區別ヲ立ッテ申シマスガ、第一ニハ蠶種ノ改良ノ事、即チ種子紙ノ改良ノ事、第二ニハ製絲検査ノ事、即チ生絲ヲ検査スル事、第三ニハ此生絲ヲ直接輸出スル——海外ニ直ニ出スト云フ事ニ就キマシテ、順ヲ追フテ申サウト思ヒマス、本論ニ入ル前ニ一言申シテ置キマスガ、何様ニモ大問題ノコトデゴザリマス、取調ベマシタル書類、或ハ述ベント欲スルコト許多デゴザリマス、提出者ノ素志ヲ悉ク此演壇上ニ述ベ盡スト云フニ至ッテハ、餘程ノ時間ヲ費ヤシマス、賢明ナル諸君ハ夙ニ此法案ノコトヲ御承知デゴザリマセウ、故ニ成ル丈ハ簡略シテ述ヘマス、故ニ或ハ貫徹シナイ所ヲ以テ、提出者ガ調ノ粗漏デアルト云フコトヲ御責メニナラヌコトヲ願ヒマス、又併セテ此中ニ部分ヲ立ッテ置キマス、故ニ本員ガ述ベ能ハザル所ノモノハ、他ノ提出者ガ述べル機會モアルデアラウト思ヒマス、先ヅ此種子紙ノコトヨリ申シマセウナラバ、種子紙ノコトハ申ス迄ノコトモナイ、全國數ノ多イコト其產地ノ多イコトデゴザリマス、然レドモ此種子紙ノ不良ナルガタメニ、全國ニ於テ養蠶ニ失敗シテ甚シキ困難ヲ爲シ、國家ノ損毛ヲ來スコトハ枚舉ニ遑アラザルコトデゴザリマス、此例ヲ舉ゲテ見マスレバ、各縣靡靡トシテ連モ此席上デ述べ盡シ能ハザル程デゴザリマス、併ナガラ種子紙ハ全國產出スル所ノモノハ悉ク此ノ如キモノデアアルカト言ヒマスレバ、決シテ左様

デハゴザリマセヌ、我々ノ信シテ居ル所ノ長野縣福島縣群馬縣栃木縣滋賀縣其他重モナル諸縣ニ於テ、隨分良イモノガアリマス、序デニ本員ガ敢テ商標ヲ與ヘル次第デアリマス、ケレドモ、長野縣ナドニ於キマシテ藤本善右衛門佐藤八郎右衛門、福島縣ニ丹治梅吉池田常吉、群馬縣ノ高山社島村組、栃木ノ都賀社生井組、或ハ滋賀其他ノ諸縣ニ於キマシテモ、十分有名ナル所ノ種子ヲ引出スモノデゴザリマス、是等ノ人ガ製造スル種子紙ニシテ全國一般ニ配付シテ以テ飼育ヲ爲サシマス、譯ニ致シマシタルバ、到底及ブ能ハザルコトデアアル、然レドモ開ケナイ所ノ養蠶地ヘ參ッテ種子ノ彼ノ卸賣、或ハ小賣或ハ背負賣ト云フテ爲ス所ノ者ハドウ云フコトヲ致シマス、サカト申マスレバ、長野縣ノ立派ナル人ノ商標ヲ頭ニ冠ッテ以テ是ハ長野縣ノ上等ノ種子デアアル、是ハ福島縣ノ上等ノ種子デアアルニ冠ッテ以テ是ハ福島縣ノ上等ノ種子デアアル、是ハ新潟縣ノ上等ノ種子デアアルニ冠ッテ以テ是ハ新潟縣ノ上等ノ種子デアアル、數限リナイコトデアアル、是ガタメニ政府及地方ノ有志又蠶業ニ熱心ナ組合等ノ人ガツレ、其方法ヲ規定シマシタルコトハ、是マデ幾回モデゴザリマス、殊ニ明治二十年杯ニ至リマシテ蠶紙規則ト云フモノヲ設ケタコトガデゴザリマス、或ハ組合ト云フモノヲ設ケタコトガデゴザリマス、如何セン是等ノ所ヲ以テ全國到處此養蠶飼育家、此者ニ悉ク精良ナル種子ヲ與ヘテ以テ立派ナル作ラセルト云フコトハ、何分爲シ能ハザルコトノ有様デアッタノデアアル、ツレ故ニ御承知デゴザリマセウ、一昨年此議會ノ開クル當時ニ當リマシテ、農商務ガ蠶紙検査規則ト云フモノヲ出スト云フコトヲ聞クガ否ヤ、或ハ精良ナル所ノ種子ヲ作ル人モ粗造ナル所ノ種子ヲ作ル人モ來ッテ以テ、其検査ノ真否ヲ判斷スルタメニハ非常ナル運動ヲ致シタ、之ニ反シテ飼養家ハ年々歳々ニ俗ニ濫發即チ濫造ナル所ノ種子ヲ賣リ附ケラレテ、困難シテ居タル所ノモノハ、非常ニ検査ヲ希望シタ、然レドモ其當時ニ當リマシテ其検査規則ハ未ダ規則ヲ出ス時機ニ至ラザルタメカラカシテ、是ハ御流レシテ云フヤウニナリマシタ、ケレドモ一般ノ人ハ之ヲ默シテ止ムノデゴザリマセヌ、又我ニ致シマシテモ、斯様ナルコトヲバ宜敷撰擇シテ以テ良好ナル種子ヲ一般ニ配付セシメルノ工夫ヲシナケレバナラヌ、ケレドモ如何セン一二有志ノ力ノ及ブコトデアラゴザリマセヌ、故ニ何卒此粗造濫造ノ種ヲ改良スルコトヲ附キマシテハ、深ク帝國議會ノ協贊ヲ經テ以テ、大ニ是等ノ改良ヲ圖ラレトスルノ第一ノ熱望デゴザリマス、而シテ序ニ申シテ置キマスルガ、蠶卵紙ノ産額ノコトハ格別ノ必要ハアリマス、マイトハ思ヒマスルナレドモ、何様ニモ此蠶紙ガ不良デアッタ日ニハ、上簇ノ即チ其結果ヲ得ラレマセヌモノデゴザリマス、何様ニモシテ之ヲ改正ヲシナケレバナラヌ、其時ニ當リマシテ此遠ク外國ヨリノ報告モアリマシタルコトヲ、一寸參考ニ申サウト思ヒマス、既ニ御承知ノ方ハツレマデノ必要モゴザリマス、故ニ私ハ極ク必要ノ所バカリヲ引キ拔キマシテ、便宜ノタメ朗讀ヲ致サウト思ヒマス

在米國晚高波領事代理鬼頭二郎報告

此事ニ就キマシテ申サウト思ヒマス(無用々々ト呼ブ者アリ)併ナガラ必要ノ所バカリ申シマス、ドウカ御聽ヲ願ヒタイ

試ニ歐洲ヲ看ヨ此蠶兒ノ種類ハ僅ニ八品ニ過ギザルニ日本ノ蠶兒ハ此品種無慮六十ニ下ラズト云フ知ラズヤ犬馬及禽ノ類ヲ養成スルニ於テモ其道ニ達シタル牧者ハ最良ノ結果ヲ得ルヲ以テ唯一ノ目的トナスガ故ニ至良至善ノ種子ヲ取リテ其家畜ヲ改良スルニ力メザルベカラズ今ヤ蠶兒ヲ養成スル

ニ於テモ亦同一轍ニ出デザルベカラザルハ理ノ最モ視易キ所ナリトス
之ヲ爲スノ道他ナシ宜シク政府ニ於テ幾分ノ補佐ヲ此事ニ與ヘ間接直接ニ
之ガ獎勵ノ方法ヲ設ルニアルノミ試ニ米國政府ノ例ヲ舉ゲンニ政府ハ百般
ノ改竄種子ヲ備置キテ何時ニテモ人民ノ望ニ應シ無代價ニテ之ヲ付與スル
ニアラスヤ

其他ノコトハズト略シマス

聞ク横濱ニ於テハ生絲ノ在荷尙ホ一万四千捆モ堆積シ居ル由ナルモ
一言申シテ置キマスガ、今ハナイサウデゴザイマス、粗製濫造ノ生絲ガ此時
ニアツタトキデア

其過半ハ劣等品ニ係レリト試ニ今此一万四千捆ノ生絲ニ投シタル元利果シ
テ數百萬ノ巨額ニ達スルコトヲ顧慮セヨ斯ノ如キ品位ノ生絲ニ至ッテハ支
那廣東絲及其他ノ劣等品ト同様ノ直段ニアラサレハ其販路ヲ得ルコト容易
ニナラサル可シ

(井上角五郎君雜誌デスカト呼ビ笑聲起ル)

(贊成ガ減リマスセト呼ブ者アリ)

果シテ然リトセバ又漢大ナラズヤ是皆製絲家ニ於テ製絲ノ際其用意周到ナ
ラザルノ罪ニ坐セズンバアラズ

嗚呼は何事ゾヤ、實ニ可笑シウゴザイマセウ、人ノ悲ムコトヲ悲マス、又國
ノ一大事ト云フトキニ至リマシテ、能ク之ニ感ズル者程感シマス、ケレドモ
感シナイ程又可笑シイモノハナイ

コレカラ斯様ナル報告ヲ得マシテ、果シテ此報告ガ適シテ居ルヤ否ヤト云フ
コトニ就キマシテ、日本全國ノ產額表ヲ又一々讀ミマシタラ御笑ガアルデゴ
ザイマセウ、御笑ガアルデゴザイマセウケレドモ、重ナル所ヲ舉ゲテ見ナケレ

バナラヌ、先ツ万以上數萬以上出來マス種子紙ノ府縣ヲ舉ゲテ見マスレバ、
埼玉ガ十一萬有餘、細カイノハ省キマセウ、栃木ガ六萬近イ、群馬ガ十五萬
五千餘、長野ガ八十四萬四千餘、山梨ガ五萬五千餘、滋賀ガ二十二萬餘、福

島ガ二十八萬九千餘、山形ガ七萬餘、其他二萬三萬ノ諸縣ハ澤山ゴザイマ
ス、而シテ此種ハ何レ各地ニ配付セバナラヌモノデア、單リ此大額ヲ生
ズル所ノ縣ノミデ以テ、是又飼育スルコトハ出來ヌデア、故ニ之ヲ配付

スル、必ズ是等ノ種ハ宜シイデゴザイマセウ、然レドモ此統計ニ現レザル
所ノモノヲ、此中ニ混化シテアツテ以テ、不良ナル所ノ種子ガ出來ナイ所ノ諸
縣ニ段々散リマシテ、サウシテ遂ニコレヨリ生ズル所ノ蠶ト云フモノハ甚シ

キ失敗ヲ來シテ以テ、非常ナル損害ヲ見ルノデア、此故ニ此道ヲ防ガシ
タメニ、米國ニ於テモ其領事ナル者ハ能ク注意ヲ致シテ以テ、是等ヲ防
ガンカタメニ、斯ク迄ニ本國ニ報告致シタ次第デア、コレカラ養蠶ノ事ハ

頗ル面白クナイモノデゴザイマス、中ノ骨ノ折レルモノデゴザイマス、故ニ
仕事ヲスラ骨ガ折レル、聽クニモ随分骨ガ折レルデアラウ、骨折序デニ
蠶業ノ現況ヲ申サナケレバナリマセウ、之ヲ申スニハ隨分長イ故ニ、極ク損

益ノ著シキ所ヲ申シテ仕舞ハウト思ヒマス、固ヨリ本邦ノ養蠶景況ハ一様
デハゴザイマセウ、所ニ依ッテ多少ノ違ハゴザイマス、コレ故ニ從ッテ荷造
ノ際ニ至ルト云フト、絲目ニモ大變違ガ出來マス、でヒルニモ大變ナ相違
カ出來マス、先ツ近ク關東府縣ノ事ヲ申シマスレバ、關東府縣ハ特ニ早く開

ケタ所ノモノデア、最モ多量ヲ產出スル所ノモノデア、然レドモ其割合
ニ進歩致シタカドウカト言ヘバ、各地ノ地方ヲ區分シテ申シマスレバ、關東
地方ハ如何ニモ進歩ガ遲イト云フノデア、何故遲イカト云フト、常ニ手前
勝手ト云フ舊習ヲ墨守スル有様ガアル、其例ヲ舉グレバ九州山陰山陽ノ如キ
ハ、初ハ遲イケレドモ、其割合ニ非常ニ進歩シテ居ル、コレハ何カト云フト、
學理ヲ應用シテ以テ益、日進月歩ノ今日ニ當リメテ往カラデア、其事ヲ

明瞭ニ舉ゲテ申シマセウ、先ツ試ニ全國ヲ平均シタラバ種子紙一枚ノ量ハ
凡ソ四匁五分、之ニ就イテ四斗九升六合デア、九州邊ニ至リマシテハ、
此業ノ始ハ十年内外モツト早イノモアリマセウガ、盛ンデアルノハ此邊デ

アル、其時ニ當リマシテ蠶紙ノ繭ノ收、即チ繭ヲ收メル所ノモノハ平均七
斗乃至八斗デア、コレト云フコトデア、是等ノ所ハドウデゴザイマセウ、如何
ニモ遅ク始テ以テ不熟練デ、收穫モ少ナカラウト云フニ、反ッテ之ヲ益スト

云フコトニ至ッタノハ何デア、コレカト云フナラバ、蠶業ノ道ヲ益、獎勵シテ發
達シヤウト云フノ決心アツテ努メレバコソ、斯ウ往クノデゴザイマス、其他
細ナコトハ省キマセウ、コレカラ最モ大ナルコトデゴザイマス、此繭

ノ不良ナルコトヲ合セテ申シテ置キマセウ、不良繭ノコトヲ便宜ノタメ一々
箇條ヲ以テ申シマスレバ、蠶紙製造ヲ營業トスル者ノ製造ノ數ノ多キヲ力
メテ、原料ノ繭ハ其否ヲ混合スルノミナラズ、玉繭モ除カズ、不良ノ繭ヨリ製

造スル様ナコトヨリシテ、其蠶紙ハ如何ニモ蠶兒怯弱デア、蠶卵ガ悉ク
怯弱性デア、遺傳デア、孵化性ノ蠶兒モ遂ニ怯弱タルモノデア、コレカ
シテ、遂ニ病ヲ免レズ、微粒子從ッテ生ズルヲ以テ遂ニハ其種子ト云フモ

ノハ折角拵ヘマシテモ、不良ノ結果ニナツテ仕舞フノデア、然レドモ尙ホ蠶
紙製造家ノ惡弊ト云フモノハ、如何ニモ自家ヲ思ハヌ者ハナイ、慾ヲ知ラヌ
者ハナイカラ、此ノヤル内ニ弊害ヲ益、增長スルコト云フコトハ自然ノ理デア

アル、故ニ斯様ナコトヲ知リッ、モ遂ニ拵ヘテ以テ各地ニ運搬ヲ致シ大丈夫デ
ニナレバ、翌年ハ大丈夫ナノヲ以テ來ルコト云フノミナラズ、甚シキニ至ッテ立
派ナ所ノ種子ノ掃キ落シノ後ニツマナナイツモゴリ繭ノ様ナモノヲ拵ケテ、

サウシテ商標ヲ欺イテ出スト云フコト迄ニ至ッテハ、此弊害ノ最モ甚シキモ
ノト言ハズシテ何ト申シマセウ、若シ斯様ナモノヲ此儘自由ノ發達ニ任セロ、
其自然ニ任セロト拾テ置キマシタナラバ、是ヨリ生ズル所ノ弊害ハ連モ救フ

ベカラザル事ニ至リマシテ、遂ニハ日本ノ大經濟ニ大困難ヲ惹キ起スト云フ
コトヲ生ズルダラウト私ハ思ヒマス、大變御厭キノ諸君モゴザイマス故ニ、
種子ノ事ハ先ツコ、ラニ致シテ置キマセウ、尙ホ申シマスレバ、際限モナイ

コトデアリマスケレドモ、賢明ナル諸君ハ定テ是等ニ就イテ是ヨリ遙ニ考ヘ
及ボスト云フコト、及勢力ヲ進メルコト云フコトハ、十分智能ノアル所ノ諸君
ト認メマスル故ニ、是迄ニシテ措キマス(質問々々ト呼ブ者アリ)未ダヒツ
レカラ大變ゴザイマス、マダ種子デスコレカラ生絲検査ノ事ニ掛リマセウ、
生絲検査ノ事ト云フハ、頗ル面倒ナモノデゴザイマシテ、第一之ヲ申スニ當
リマシテハ、此生絲ノ世界ニ產出スル所ノモノヲ一ツ御聽キ苦シクモ申サン

リマスカラ、緩ツクリ御覽ヲ願ヒマシテ、極ク最近ノモノ丈ヲ申シテ置キマセウ、歐洲諸國ノ生絲ノ總產出高ハ明治二十三年最も最近ナルモノ之ヲ國別ニ申シマセンデ、普通伊太利西班牙塊太利ふるがりや、是丈ノモノデ四百四十四万七千きろアルノデゴザイマス、ツレカラシテ東洋ノ小國ヲ除キマシ

テ、極ク近所ノ支那其内香港日本印度ノ内。あるかつたノ如キモノ等ヲ併セテ、是ハ六百二十万五千さろゴザリマス、是ハ詰リ東西ノ産額ノ分ケ目ヲアル申シマシタノデ、是カラシテ國別ニ申サナケレバナラヌ必要ガアルノデアアル、サテ支那ハ幾許カト申シマスルナレバ、三百九十六万三千さろ伊太利ハ三百四十四万三千さろ、日本ハ二百〇一万八千さろ、佛蘭西ハ六十五万さろ、其

他ノ小國ハ先ヅ便宜ノタメニ省キマス、何ノタメニ此産額ヲ申シマスカト云フト、此産額ヨリ其等級ヲ分ツ必要ヲ生シタノデアリマス、其等級ハ繭ノ品位ト生絲ノ精粗、販賣ノ巧拙ト金力ノ多少ト、此四ツニ分レル、此繭ノ品位モ官宜シク製絲ノ即チ精ナルモノデアツテ是モ官宜シク、販賣モ巧ミテ官宜シク、金力モ澤山アツテ官宜シイナレハ、是デ貿易市場ニ打勝ツコトニ譯モナイ

話デアル、然ルニ此區別ヲ致シマスレハ、上中下、最下等ノ四段ニ分ケマスルト云フト、此四種ノ力ヲ孰モ——四目ノ力ヲ兼ネテ居ル所ノモノハ何處デア
ルカト云ヘバ、即チ佛蘭西デアアル、其次ハ何處デアアルカト云ヘバ伊太利、
伊太利ニハ一ツ缺ケタモノガアル、ソレハ何デアアルカト云ヘバ、金力が少シ
缺ケテ居ル、ソコデ中等ニ至リマシテハ、ドンナ譯カト云フト、日本杯ハ中

等目ノ責メテ四目ノ力ヲ持ツテ居ルカト云フト、蘭ノ品位ハ中等デアル、支那ハ稍ク中等ニ上ヅテ來タ、賣販ノ巧拙ハマダ日本ハ茲ニ來ナイ、金力モ日日本ハ茲ニ來ナイ、伊太利ハ稍ク此處マデ來タ、後トハドウデアルカト云フ
ト、蘭ノ品位ハ稍ク日本ハ下等ニ上ヅタノデアリマス、ウレカラシテ支那ハ販賣ノ巧拙ハ以テ下等ニナヅテ居ル、ウレナラバ日本ハ殘ルニツノ此何處ニ

アルカト云フナラバ、悲ムベキ最下等ノ拙劣等ナル所ニ絲ノ粗惡ナルモノ
――販賣ノ極ク拙ナル所ノ日本ト、此金力ノ少イ此日本即チ下等ニアルト云
フコトニ至リマシテハ、實ニ我々ハ此蠶業ノコトヲ發達スルニ熱心ナルガタ
メニ一日モ棄置カレヌト云フコトノ觀念ヲ持ッテ居ルノデゴザリマス、又モ
ヤ同ジヤウナコトヲ引出シテ、定メテ諸君ハ御飽キカ知リマセヌケレドモ、

米國市場ニ於テ日本絲ニ最モ注意シテ吳レル所ノ米國蠶業協會書記長、びりちやーそん此人ノ報告ニヨリ、領事ノ手ヲ經テ來ッタモノガゴザリマス、之ヲ長ク言ヒマシタラ御飽キ來タリマセウニ依ッテ、極グ參照セネバナラヌ所ノモノデアリマスカラ、誠ニ短ク是ハ朗讀シテ置キマセウ

茲ニ數年當米國蠶業ノ憂等日本絲ヲ必要トスルニ急切ナルト日本製絲家

モ亦此ニ看ル所アリテ其生絲ノ改良進歩銳意盡力シタルトニ依リ其結果トシテ日本製絲ノ改良ヲ來タシタルハ大ニ絹業社會ハ賞賛シテ措カザル所トナリ從テ今ヤ(笑聲起ル)製絲貿易ノ増伸ヲ以テ其改良ノ功ニ酬フルコトハナリタリ(拍手笑聲起ル)

然ルニ退イテ考フルニ日本製絲家ハ未ダ以テ完全ノ域ニ達シタル者ト謂フニ

可ラス猶改良ヲ要スベキノ餘地一ニシテ足ラズレバ今ニシテ愈々益々改良ノ事ニ力メテ倦マザルニ於テハ其報酬期シテ峻ツベク（何ダカチットモ分ラスト呼ブ者アリ）

イヤ速記録ニ載リマスカラ分リマス
從ッテ日米間製造貿易ノ數額ハ吾人現今ノ豫想外ニ出ッルアルハ必然ノ事
トス……(チャットモ分リマセヨ)

豈ニ遺憾ナラズヤ豈遺憾ナラズヤ(南無ト呼ブ者アリ)
是ハモウ已ニ諸君ガ御承知デゴザリマセウガ、御承知デナイ我トハ——我ト
ノ如キモ中ニハナイトモ限ラヌ故ニ、我トハ之ヲ知ッテ善イト思ヘバコソ、
之ヲ傳ヘナケレバナラヌト云フ考デ、倦怠ヲ來タシナガラモ申シタ次第デア
ル

擧此ノ如キ場合ニナッテ居リマシテモ諄リ此信用ト云フモノヲ米國市場ニ於テ恢復シ、日本ノ絲ヲ取ラナケレバナラヌト云フ、此信用ヲ取ルニハ如何ナケル方法ヲ執ルカ、勿論ソレハ荷造モ善クシナケレバナリマスマイ、其他様々ノ仕事モアルデゴザリマセウ、賣方ノ掛引モアリマセウケレドモ、ソレ丈デハ逆モ往カヌ、必ズ其絲ノ精良ナルモノヲ拵ヘナケレバナラヌ、然ルニ中ニハ

ナアニ絲ハ大概ノモノデ宜シイ、安クサヘアレバ宜シイ、抔ト云フ様ナコトヲ申スモノガ、隨分誤ツテナキニシモアラザレドモ、此絹絲ノ如キハ左様ナモノトハ違ヒマス、固ヨリ是ハ美術品デアツテ、奢侈物デアル、木綿ドシツクヲ著ルモノ、用井ルモノデナイ、紳士淑女ノ最モ之ヲ嗜好スル所ノモノデアル、實ニ開ケタル國、豐ナル所ノ國柄ニ於テ、ツレヲ用ヒサセルト云フコトニ就

キマシタナラバ、層一層精ヲ加ヘテ拵ヘナケレバナラヌモノデアル、之ヲ唯何事モ器械織デアレ、唯絲サヘ揃ヘレハ宜シイ、成程揃ヘルモ宜イ、併シ世ノ嗜好ニ適シタ精良ノモノヲ揃ヘナケレバナラヌ、然ルニ以上述べタル報告尙テ嘯デアツタト云ツタナラバ、本員ハ天下ノ爲メニ謝シマス、又此者ニ尙ツテ責メルコトガ出來ル、假ニモ是ガ事實デアツタト云フナラバ、此改良ト云フ

フコトニハ諸君ト共ニ力ヲ添ヘナケレバナラヌ事柄デアラウト思フ、然ルニ其報告ヲ見ルモ、一ノ市場ヲ見ルモ、市場ノ有様ヲ見ルモ、中ニ以テ嗜好ニ適シタ様ニ出來ヌ、彼ノ嗜好ス所ニ應ジタ様ニ出來ヌ、之ヲ爲スハ測テ申ス様デアリマスケレドモ、此種子ヨリシテ改メ、即チ繭カラ改メ、ツレヨリ絲モ改メ以テ、絲ノ検査ヲ爲シテ始メテ是ヨリ海外ニ推出スト云フ策ヲ執ラナ

ケレバナラヌ、是レ生絲ヲ検査スルノ最モ必要ナルコトガ茲ニ到來致シテコザリマス、ツレカラシテ或ハ斯様ナルコトヲ申シマシテモ、中々實際ニ行ハレナイトカ、或ハ西洋諸國ノ斯ル富國ノ國ト競争ハ出來マイト云フ考ノ御方ハ萬アリマスマイケレドモ、若シアルカ知リマセヌケレドモ、其邊ノ事ハ少シモ恩ル、ニ足ラヌ、ナゼナレバ成程佛蘭西ハ非常ニ盛ナル絲ヲ拵ヘル、伊

太利ハ非常ニ盛ナル絲ヲ拵ヘルノハ恐ルベキデゴザイマス、然ルニ我國ハ之ニ當ル策略ハ天カヲ與ヘラレタルモノガアル、ソレハ何デアアルカト云フト、物價ガ安イ、粗勿ノ物ヲ喫ベテ、此細カナル勞力ヲ以テヤル手業ノコトニハ巧デアアル、然ルニ彼ハ物價ガ高ク賃銀ガ高イ、其處デ拵ヘルノト、我々ノ物價ノ安イ處デ拵ヘルノト爭フノハ、向フノ弱點ニコチラノ最モ得意ナル所

ノ仕業ヲ以テ當ルデアルカラ、決シテ驚クニハ足ラスト云フコトハ、私ガ申サナイデモ諸君ハ疾クニ知ツテ居ルコトダラウト思ヒマス、併ナガラ此事ニ注意スベキモノハ、支那ハ此事ニ就イテ保護政策ヲ執ツテ獎勵ヲ爲スコトヲ

聞カナイケレドモ、支那ハ産額ガ澤山アル、其時ニ當ッテ支那ガ若シ之ニ氣ヲ附ケテヤルト云フコトニナッタナラバ、ソレコソ恐ルベキ敵デアラウト思ヒマス、ソレカラ序デニ又ハ御厭キノモノヲ出スヤウデアリマスガ、此絲ノコトハ既ニ御承知デアリマセウケレドモ、兎角日本デハ悲イカナ相當ノ賣方ヲシテ居ラスノデアアル、試ニドナタカ調テ御覽ナサイ、御手許ニ在ル書物ヲ繙イテ御覽ナサイ、何時デモ日本デ賣ルトキハ呼相場ノタメニ品物ガ横濱ニ行ッテ賣カシテ居ル間ニハ、相場ガ狂ヒ實際取引ヲスルトキハ、何時モ甚シイ失敗ヲ取ッテ居ルノミナラズ、絲ノ精良ナラザルガタメニ兎角此品位ノ下ッテ居ルト云フコトハ、先刻モ申シタ通、此市場ニ於テ取引相場ヲ悉ク表ニ上ゲテ検査ヲ致シタナラバ、日本ハドノ邊ニ迄ナッテ居ッテ、ドレ位ノ損害ヲ與ヘラル、カ、ドレ位外商ノタメニ嘲ケラレ、ドレ位ニ宰取ノタメニ賤シメラレタト云フコトハ、一目シテ分ルト思ヒマスガ、隨分是等ヲ見レバ、從來恐ルベキコトヲ是迄致シテ居ッタト云フコトヲ考ヘルデアラウ

是ヨリ直輸出ノ方ニ移ラウト思ヒマス、直輸出ハソレ程長クハアリマセヌ(短ク願ヒマス)呼ブ者アリ)ナゼナレバ三千里餘ヲ行ク所デゴザイマス、前ハドナニ早クモ三十日間ハ掛ル、其日割カラシテモ短イ——倭此直輸出ノコトヲ申スニ就イテ、聊カ生絲取引ノ現況ヲ申サナレバナラス、先ヅ生絲ノ賣買ヲ始メルニハ、見本ニ依ッテ代價ヲ假定スルト云フコトハ、是迄商館ニ持込デシナケレバナラスト云フノハ當然ノコトデアアル、又持込ガ終リマシタナラバ、商館ガソレヲ検査シテ、假約束ヲシテ、ソレカラ取引ノ價額ヲ定メルト云フコトデアアル、検査ノ方法モ總テ外商ノ權内ニ在ッテ、我々ハ之ニ口ヲ出スコトハ出來ナイ、唯見テ居ル丈デアアル、其市場ハドウシテモ兎角向フノ左右スル所トナッテ居ル、試ニ是迄アッタコトヲ御覽ナサイ、何程品物ヲ持込デ、卒ザ取引ト云フトキニ……忽チベケヲ喰フ、甚シキハ外人ガサウスルノミナラズ、内商ガ色ミソレニ加ハッテ、僅カ十捆二十捆ヲ持出スモノヲ縊リ買ニシタト云フ例シハ幾ラモアリマス、是等ノモノヲドウシテ發達サセヤウカ、地方ノ蠶業家ガ之ヲ横濱ニエンヤラヤッ持込デ來ルト、サウ云フ目ニ達フ如何ニ地方稅、如何ニ地方ノ有志者ガ盛ニ養蠶ヲ致シテ見ダ所ガ、横濱迄ハ正々堂々トヤッテ來ルガ、横濱デオザヤンニナッテ仕舞フ、之ヲ爲スニハ策ガアルカト云フタナレバ、即チ此帝國議會ガ之ニ眼ヲ配ッテ是等ノ獎勵シテ海外ニ直輸出ヲサセ、十分ナル取引ヲサセレバ、外商或ハ内商ノ之ニ……スル弊害ヲ通レ、地方ニ於テ縊リ買ニサレタル弊害ヲ一洗スルノミナラズ、進ンデ海外市場ノ模様ガ分ル、凡ソ商ヒヲスルニ御先キ眞闇デ商ヒヲシテ儲カッタモノハアリマセヌ、ドウ云フモノガ注文アルカ知レヌ、唯是位ノ絲ヲ引張ッテ居ッタナラバドウカナラウト云フコトデハナラヌ、外國市場ニ於テハ何ノ某ガドウ云フコトヲ居ル、是ヨリ進ンデドレ位ノモノガ、歐米市場ニ必要デアルト云フコトヲ見極ハメテ來ルノミナラズ、或ハ相當ノ物ヲ持出セバ直ニ注文ヲ受ケル、直ニ注文ヲ受ケテ確カナル物ト見極ハメタ物ヲ以テ、——是ガ相當ノ働ヲ爲ス、相當ノ物ヲ造レバ最早時トシテ一万四千ノ絲ヲ賣カシ、非常ニ金ノ運用ヲ必追シテ、地方ニ於テ破産倒産ノ憂ヲ起サシムルト云フコトハ、是ヨリ一洗スルデアラウト思ヒマス、併ナガラ之ニ就キマシテハ事重大ナルコトデアリマスカラ、願レバ浮説百端、

是ハサウデゴザイマス、狐疑スルモ無理ナラス、浮説ノ出ルノモ無理ハナイ、ソレ位ノコトハ起ル位デナケレバナラス答デアアル、何モ私ガ事ニシク申サヌデモ御分リデアラウガ、佛蘭西ノ國會ノ有様ハ如何デアアル、連日連夜此蠶業ノ事ニ就イテ非常ニ宰相ト彼ノ有志者議員ト互ニ言ヒ合ッタルコトハ、諸君モ御承知デゴザイマセウ、私ハ唯新聞デ見タノデゴザイマスガ、斯様ナルコトハ何デアアルカト言ッタナラバ、言ハハ文明ノ戰、弱イ所ノモノヲ商略カラ締殺シテ仕舞フト云フ、生存競争ノ間デアアルカラ、之ヲ爲ス、是ハ宜ナルコトデアアル

諸君、尙ホ是ヨリ外國商館ヨリ横濱ノ製絲買取其利害得失ヲ取調ベタモノヲ又此處デ讀ミマシタナラバ、隨分御長イト云フ小言ガアリマセウガ、此案ニ就イテハ提出者中申セヲ致シマシテ、植田清一郎君ガ細ニ申ス答ニナッテ居リマスカラ、私ハ此專門家即チ專業家ノ植田清一郎君ニ譲リマス、ソレカラ又米國市場ノ取引ノコトニ就イテハ、贊成者ノ一人神輿知常君ガ之ヲ辯明スル答ニナッテ居ル、ソレ故ニ是ハ此處迄ニシテ私ハ斯ウ云フ分業ニ致シタカラ止メマス、(此時發言ヲ求ムル者數名アリ)マダアリマス、ソレハ絲ノ所ヘ行ッタカラサウ云フタノデアリマス、併シモウ止メマスガ、先ヅ兎モ角私ハ玆ニ至ッテ殆ド局ヲ結バント致シマスガ、先ヅ目的ハ即チ豫テ海外ニヤルト云フノデアリマス、故ニ海外ノ情ヲ知ラズシテ、唯安ニ横濱アタリニ跼ッテヤルノデハ行ケナイ、即チ彼ヲ知リ己ヲ知ラザレバトモ百戰全ウシ難イコトハ、何モ兵書ノ講釋ヲシナイデモ分ッテ居ル、ソレトモニ坐ナガラニシテ向フカラ攻ラレルノヲ俟ッテ城下ノ盟ヲスルガ宜シイカ、誰シモ是ハ望ム者ハアリマスマイ、兎角何事モ進ンデヤレバコソ出來ルノデアリマス、能ク諸君ト我々モ申シマス、薩長藩閥——如何ニモ薩長藩閥ノ勢ハ宜シイ、宜シイガ之ヲ爲スハ何デアアル、一度鳥羽伏見ニ賊ヲ打破ッテ遠ク函館ノ隅マデ平ゲタ結果ガ左様ニナッタノデアアル、故ニ我々モ——何モ左様ナコトヲスルノデハナイガ、彼ヲ打飛バントスルニハ、ドウカ玉ノ如キ藪ヲ造リ、横濱或ハ神戸ニ検査所ノ外人ノ奸商ヲ追拂ヒ、此關門ヲ破ッテ以テ、海外萬里ニ押出シテ以テ、サウシテ立派ナ戰ヲ決シタナラバ、日本ハ即チ國有物產ノ一ナル生絲ヲ以テ、何事モ爲スコトモ出來ル、諸君ノ御心配ノ軍艦モ引張ッテ來ルコトモ出來ル、三十さんちめ——とるノ大砲ハ愚カ、製鋼所ノ原料モ何モ全ク是ヨリ引來ルト云フコトデゴザイマスカラ、幸ニ諸君ノ贊成ヲ仰イデ以テ、此事ノ成立ッコトヲ希望致シマスガ、終リニ一言申シマス、曩キニ申シタル通ニ、此短期ナル議會デ到底此通過スルコトハモウ日モ足ラヌコトデゴザイマスカラ、私ハ望ム、ドウゾ是等ノモノハ、宜シク國家ノ大問題トシテ、サウシテ十分ナル御研究ヲ仰イデ、次ノ會期ニ成ラバ、勝敗ヲ決シタイト思ヒマス、此一言ヲ申シテ……

(發言ヲ求ムル者多シ)

○折田兼至君(百五十八番) 緊急勸議ヲ提出致シマス

○議長(會齋荒助君) 七十六番

○井上角五郎君(七十六番) 本員ハ此蠶業獎勵法案ニ贊成ト云フ名前ヲ載セテ居リマスガ、既ニ會期モ短ク、且ツ豫テ聞イタ所ニ依リ、又自カラ調査シタ所ニ依ッテ、此贊成ノ名前ハ取消ササルヲ得ナイカラ、贊成ノ取消ヲ致シ

タイト云フコトヲ、爰ニ申述ヘテ置キマス

○折田兼至君(百五十八番) 本員ハ少シ時機ガ惡イガ、緊急動議ヲ出シタイ

○議長(會禰荒助君) 何ノ緊急動議デス

○折田兼至君(百五十八番) 蠶業法ヲ今日ノ議事日程中ヨリ止メル、中止ス

ルト云フ動議ヲ出シタイノデ……

○議長(會禰荒助君) ツレハ出來ナイ、行ケナイ

○折田兼至君(百五十八番) 何故ニ提出スルコトガ出來マセヌ、ナゼ今述ベ

ルコトガ出來マセヌカ、緊急動議ト云フノニ述ベサセズニ置イテ、ツレガ行

ケナイト云フノハ、甚ダ心得ヌコトデ……

○議長(會禰荒助君) アナタ一人デ言ッテモ行ケナイ、既ニ議事ニ上ッテ仕

舞ッテアルカラ、行キマセヌ——二百九十八番

(丸山名政君演壇ニ登ル)

○折田兼至君(百五十八番) 議事ニ上ッテモ委員ニ付託スルコトモ出來、其

他議事ヲ延バスコトモ出來

○議長(會禰荒助君) ツレハ議事ノ半デスカラ、サウ仰シヤッテモ出來ヌ

○折田兼至君(百五十八番) 半ニナッテ行ケナイト云フ規則ガアルナラバ、

承リタイ

○山口千代作君(五十六番) 質問ヲ御許シ下サイ

○議長(會禰荒助君) 既ニ發言ガ與ヘテアリマス

○丸山名政君(二百九十八番) 私ハ本案ニ反對ノ意見ヲ持ッテ居ル者デアル

(提出者ニマダ質問ガアルト呼ブ者アリ) 私ハ唯議長カラ許サレテ意見ヲ述

ベルノデ……

○山口千代作君(五十六番) 質問ノ前ニ討論ヲ始ムルト云フコトハナイ、私

ノハ質問デス

(丸山名政君演壇ヲ下ル)

○議長(會禰荒助君) 五十六番、質問ナラバ此方ヘ御出デナサイ

○藤田孫平君(百五十五番) 私ノハ簡單デス

○議長(會禰荒助君) 一人ニ許シマシタ

(山口千代作君演壇ニ登ル)

○山口千代作君(五十六番) 私ハ本案ノ提出者ニ向ッテ疑ノ廉ヲ二三箇條舉

ゲテ質問致スノデゴザイマスガ、演壇ニ上ル程ハ長イコトデモゴザイマセヌ、

先ヅ此第一ニ質問シマス要點ハ地方部ニ講究所ヲ置クト云フ、此數ハドノ

位ニナッテ居リマスガ、一万戸未満ノ所ヨリ六万戸以上ノ所、是ニ置ク箇所

ハ日本全國ニ其數ハ幾ラデアルカ、之ニ要スル金ハ幾ラデアルカト云フコト

ヲ質問シナケレバナラナイ、之ニ與ヘル財源ハドノ點カラ取ッテ行クノデア

ルカト云フコトヲ質問シナケレバナラナイ、其次ニハ目下段々殖エテ來ルニ

相違ナイ、殖エテ來タ時ハ金ハドウ云フ風ニシテ、ドノ金デ支辨スルカト云

フコトヲ、大體ニ就イテ質問スルノデアアル、ツレカラ今度ハズツ仕舞ノ方ニ

參リマシテ、私ハ此蠶種ノ部分デ質問スルノデアアル、第十六條デアリマス、

此地方部ノ蠶業講究所ニ於テハ中央部ヨリ配付ニナッタ其原卵ヲ以テ、原種

ヲ製造スル、ツレデ之ヲ蠶種製造人ニ賣與スルト云フコトデゴザイマスガ、

ツレハ買フ人ノ勝手ニ任シテ宜シイノデアアルカ、此蠶種製造人ハ此種子ヲ買ッ

テ原種ト原卵トシナケレバ蠶種ヲ製造スルコトガ出來ヌノデアアルカ、買フモ

買ハヌモ自分ノ自由デアアルカト云フノ斯ウニ云フ質問デアアル、ツレカラ其

ニ此「三」ノ所ニ至ッテ「養蠶者」ノ請求ニ依リ原種及蠶種ヲ検査スル事トアル、

是ハ其請求シナイモノ、蠶種ハ、検査セヌデモ賣買ヲ許シテ宜シイノデアアル

カ、唯請求ニ持ッテ來タモノヲスルノデアアルカト云フ問デアアル、其他ニモ

隨分ゴザイマスルガ、此問題ニ就イテハ議論モアリ、質問モアラウト思ヒマス

カラ、私ハ是ヲ質問シタイ

○鹽田與造君(二百四十二番) 是カラ御答シマセウ

○議長(會禰荒助君) 二百四十二番演壇ヘ……

(鹽田與造君演壇ニ登ル)

○鹽田與造君(二百四十二番) 五十六番ノ、御求メハ此地方ノ講究所ノコト、

ツレカラ費用ノ支出ノコト、ツレカラ蠶種ノ賣買ノコト、ツレカラ請求

者アル時云々ト斯ウ云フ部門ヲ分ケテ宜シウゴザイマセウナ……、ツレハ此

地方部云々ノ事ハ此末ノ方ニゴザイマス、矢張此養蠶家ノ數ニ依ッテ割出シ

マシタモノデ

○山口千代作君(五十六番) 宜シイ、ツレナラ全國幾ラアルト云フコトヲ御

説明ヲ……

○鹽田與造君(二百四十二番) ツレハアルノデ、御覽下サレバ分リマス、ツ

レカラ其次ハ費用支出デアリマスガ、費用ノ支出ハ詰リ此位ナコトハ必ズ差

支ガナイト云フ見込ヲ附ケテヤリマス

○山口千代作君(五十六番) 差支ナイト云フバカリデハ安心ガ附カヌ、其財

源ハ何處カラ出スト云フ御答ガナイト……

○鹽田與造君(二百四十二番) モウ一度ツレナラバ金庫ニ百五十萬圓宛モ年々

拂出シテモ、——百五十萬圓ハ假ノ數デアリマスガ、例ヘバ何十萬圓デモ金

庫ニドノ位アッテ、何年デモ先キニ差支ナイ……

○鹽田與造君(二百四十二番) 成程其御疑ガ年々歳々先ヘ送ルト云フ所カラ

アリマセウガ、六箇年中デアリマス、六箇年中ニ殖エタノモ、是ヲ見込デア

ル積リデアリマス

○山口千代作君(五十六番) 百戸以上デ組合ヲ組織スルト云フコトデアレ

バ、百戸以上集ッテ組合ヲ組織スルコトヲ願出レバ、此定メタ組合ノ外ニ許

サナケレバナラヌガ……

○鹽田與造君(二百四十二番) ツレハ實際サウ云フコトガ出來レバ許サナケ

レバナリマセヌ

○山口千代作君(五十六番) サウスレバ金庫ノ金ガ要リマセウ、ツレハドノ

位出シテドノ位ニナルト云フコトヲ御説明ニナラヌト……

○鹽田與造君(二百四十二番) 是ハ理由書ニアリマシテ、參考ノ見込デアリ

マスガ、是デ多イカ少ナイカト云フコトハ、諸君ノ御見込デアリマス

(此時發言ヲ求ムルモノアリ)

○議長(會禰荒助君) マダ問答ガ盡キマセヌ

○鹽田與造君(二百四十二番) ツレカラ蠶種ヲ買ハナイデモ無理ニ賣ルカト

云フコトデアリマスガ、ツレハ御問ノ通、コチカラ無理ニハ賣リマセヌ

○山口千代作君(五十六番) モウ一應御問シマスガ、サウスレバ蠶種検査ノ方ハ自由ニ任セテ、ドンナ粗製濫造ニ流レテモ宜イカ
○鹽田與造君(二百四十二番) 先ヅ學校仕組デゴザイマス、ソレニ獎勵金ヲ與フルト云フ途ガアリマスカラ

○山口千代作君(五十六番) ソレナラバ之ヲ買フト買ハヌトハ自由ニ任セテ、或ハドンナ濫造ニ流レテモ關係ハナイ……
○鹽田與造君(二百四十二番) ソレヲ心配スルタメニ粗製濫造ノナイ様ニ、此獎勵法ヲ出スノデアリマス

○小笠原貞信君(二百十四番) 今ノ數ノ所ガ問題ニナツテ居リマスカラ、其件ニ就イテ御尋致シマス、一體地方ニ講究所ヲ置クノハ養蠶ノ盛ンデナイ地方ニ敷フルト云フ目的ノヤウニ考ヘラレマス、講究所ヲ設ケテ養蠶ノ未ダ熟サヌ、盛ニ行ハレテ居ナイ所ノ人ニ蠶業ヲ知ラセタイト云フ目的カラ、講究所ヲ立テルト云フ様デアリマスガ、然ルニ全國養蠶者ノ人口カラ割當テルト、却テ福島ダトカ長野ダトカ群馬ダトカ云フ所ニ五箇所ヅ、モアツテ、鹿児島トカ長崎トカ云フ様ナ所ニハ却テ一箇所立テラレヌ様デアリマスガ、シテ見ルト養蠶ノ盛ンノ所ノ人ニ敷エテ、盛ンデナイ所ノ人ニハ敷エヌト云フ様ナ結果ニナリハセシカト思ヒマス

○鹽田與造君(二百四十二番) 御問ノ推測カラ言ヒマスレバ、長野福島ノ如キハ中々コンナモノデハナク、モット増サナケレバナラナイノデアリマスガ、大概此位デ宜カラウト云フノデ、此考察ヲ下シタノデアリマスガ、參考迄ニ取調ベマシタモノデアリマスカラ、尙ホ此數ノ増減等ハ諸君ノ御意見デ何レニモナリマス

○金井貢君(百二十一番) 是ハ一體養蠶家ノ一大革命トモ云フベキ法案デ本員等ハ群馬縣デ養蠶地デアリマスカラ、非常ニ此法案ニハ關係ガ深イノデゴザイマスカラ、段々逐條ニ就イテ質問ヲシタイ位デアリマスガ、大體ニ色々疑ノ生ジマシタコトヲ伺ヒマスガ、ソレハ此法案ヲ布カレマシタ以上ハ、蠶種製造人ハ此法案ニ從ハナケレバ蠶種ヲ製造スルコトガ出來ルヤ否ヤ、ソレカラ養蠶家ト云フモノハ此組合ヲ百戸以上ト定メタルガ、百戸以内デアツテ、蠶業組合ニ這入ラヌケレバ養蠶スルコトガ出來ヌカト云フノデアリマスカ、先ヅ第一ニ此事ヲ聽キタイ

○鹽田與造君(二百四十二番) ソレ程檢束致シマシタモノデハアリマセヌ、ソレハ隨意ニ任セテアリマス、百戸以内ト云フ所デアリマシテモ、此法案ニハ斯ウ定メテアリマスガ、ソレハ地方官ガ必要ト認メレバ、組合ヲ置クコトモ出來ルト云フノデ、別ニサウ制裁ヲ加ヘタノデアリマセヌ

○正木安左衛門君(二十一番) 御尋致シマス、此理由書ノ精神ニ就イテ質問ヲ致シマス、此理由書ノ精神ヲ味ヒマス、海外輸出ノ便ヲ謀リ、而シテ國家ノ富強ヲ盛ニスルト云フガ、大體ノ主意ノ様デゴザイマス、果シテサウデアレバ、提出者ノ意見ハ獨リ此蠶業ノミナラズ、他ノ茶業其他ノ事ニモ同シ腦髓ヲ以テ居ルコト、思ヒマス、併ナガラ餘程輸出ニ於キマシテモ大小緩急ガアルノデアリマスカラ、其蠶業ノ如キハ大ナルカヲ占メテ居リマスカラ、先ヅ以テ之ヲ先キニシテ、而シテ茶業其他ニ及ボスト云フコトノ性質カラ、此案ガ起ツタノデアリマスガ、且ツハサウ云フ腦髓ハナクモ、單ニ蠶業ノ

ミヲ獎勵スルト云フノデアリマスガ、之ヲ御尋致シマス
○鹽田與造君(二百四十二番) 二十一番ノ實業ニ熱心ナル御問ニハ肝銘致シマス、實ニ不肖モ何業トナク獎勵ハ致シタイ考デアリマスガ、差向キニ著眼致シマシタノデゴザイマシテ、總テ實業ハ十分ニ進ミツ、行ク様ニシタイト思ヒマス

○村松龜一郎君(百十五番) 私ハ何ンダカ知リマセヌガ、贊成者ノ一人ニ載ッテ居リマスガ、曾テ提出者諸君カラ御相談ヲ受ケタコトモ何ニモナイ、併シソレハ暫ク措イテ、果シテ宜ケレバ御相談ヲ受ケテ居ラヌデモ御贊成申シマスガ、茲ニ名前ガ載ッテ御質問スルト云フコトハ、先達テ波多野君ノ御戒モアツタコトデ、甚ダ可笑イ譯デアリマスガ、兎ニ角私ノ知ラヌノニ名義ガ載ッテ居ル、ソレデ贊成者ニナツテ居ルニモ拘ラズ、質問ヲスル所以デアリマス、此第二十八條ニ「生絲直輸出ヲ獎勵スル爲メ國庫ハ百五十萬圓ヲ限リ實際ノ需要ニ應ジ無利子ニテ橫濱正金銀行ニ交付ス」トアリマスガ、生絲ノ直輸出ヲシマスルニ百五十萬圓ノ金額ヲ備ヘテ置ケバ行ハル、ト云フ、十分ノ御調ガ就イテ居リマスガ、一寸伺ヒマス

○鹽田與造君(二百四十二番) 御答致シマス、ソレハ百五十萬圓ト定メマシタモノハ、先ヅ既往ノ是迄ヤリ來ツタ所ノ直輸ノ有様ニ就イテ算用致シタモノデ、先ヅ一箇年七八十萬圓二百萬圓位ノ是迄爲換或ハ御用爲換ト云フヤウナモノガアリマシタリ、又直輸出ヲ單獨ニ致シマシタルモノ等ノ比例ヲ取ツテ見マシタラ、イロノ比例ヲ取リマシテ百五十萬圓位デアリマシタナラバ、先ヅ行クデアラウ、併ナガラモツツ多クシタイト云フ考モアリマス、ナレドモ中々今日ノ場合サウ多額ナコトハ行カヌト提出者モ心配致シマシテ、是迄ニ致シタ譯デアリマスガ、尙ホ少ナイトモ已ムヲ得ナイ次第ト思フテ居リマス

○工藤行幹君(百五十六番) 此三十條ト三十一條ノ所ニ就イテ質問ヲスルノデアル、是ハ此百五十萬圓ノ金ヲ貸付ケルノハ、橫濱ノ正金銀行ニ身元ヲ出シテ、其身元金ヨリ十倍ノ金ヲ貸スト云フコトデアル、左レバ抵當ノ十倍ノ金ヲ此輸出者ニ貸スノデアルガ、之ガ若シ失敗シタトキハ、外ニ抵當ガナイカラ、必ズ其金ハ損分ニナル、其金ノ損分ニナツタトキハ、誰ガ其辨償ノ責ヲ負フカ、正金銀行ガ之ヲ貸シタルノデアルカラ、正金銀行ガ之ヲ立換ヘテ政府ニ返スト云フノデアルカ、ソレカラモウ一ツアル、其損失ノタメニ百五十萬圓ノ金ガ減ツタナラバ、國庫カラ減ツタ丈ヲ百五十萬圓ニ充ツル丈、後カラ漸々繰出シテ行カ、ドウカソレヲ承リタイ

○鹽田與造君(二百四十二番) 後ノ方カラ御答致シマス、減ツタカラ増補スルト云フコトハナイ、是ハ準備金デスカラ減ラナイ、併ナガラ百六十六番ノ御疑ノ如クニ成程損失ノナイト云フ限ハアリマス、ケレドモ固ヨリ荷爲換ヲ出シマスノデアリマスカラ、荷爲換ヲ外國ノ正金銀行ノ支店ニ振込ミマスルノデスカラ、決シテ向フデ賣買ヲスレバ、ソレデ直ニ換ヘルト云フコトニナルノデ、餘程猛惡ナ者ガアツテ持逃ヲスルと言ツタ所ガ、爲換ト云フモノハ途中デハ通用ガ出來マセヌカラ、先ヅ氣遣ハナカラウト思ヒマス
○東尾平太郎君(百九十九番) 一寸質問致シマス、現今生絲ヲ直輸スル會社若クハ商人ハ何程アリマス、之ヲ承リタイ

○鹽田與造君(二百四十二番) 其事ハ後デ上田君、神輦君ヨリ……

○東尾平太郎君(百九十九番) 尙ホ質問致シマスガ、此蠶業獎勵法案ハ名ハ立派ナ名義デゴザイマスガ、之ヲ能ク玩味シテ見ルト、國庫ノ百五十萬圓ヲ以テ一小部分ノ者ヲ特別ニ保護スルニ過ギナイ、鹽田君ナリ……第一期ノ議會以來政府ノ保護政策ニ就イテ……

○議長(曾禰荒助君) 百九十九番ニ御注意シマスガ、議論ニ涉ラナイデ、質問ナラ質問ヲナサイ

○東尾平太郎君(百九十九番) 斯ノ如キ案ヲ提出スルノハ鹽田君ノ精神ニ愧ヂハ致シマセヌカ

○鹽田與造君(二百四十二番) 是ハ怪シカラヌ、是ハ詰リ鹽田與造ト云フ者ガ直輸出ヲシタイト云ツテ願ツテ來ルカモ知レナイ、相當ノ資格ノアルモノナラバ許スデアラウ、又東尾平太郎ト云フ人モ絲商デアツテ願ツタナラバ、是モ許スデアラウ、何人ニ對シテヤルト云フヤウナコトデハナイ、斯様ニ御承知ヲ願ヒマス

○藤田孫平君(百五十五番) 私モ質問致シマス、一種ノ質問デスガ、此六頁ノ裏ニ私ノ名ガ載ツテ居リマス、是ハ私が承諾ヲシタナラバ私が取消スガ、私が承諾ヲセザルノミナラズ、私ハ反對デゴザイマス、斯ノ如キコトデ、地方デモ困ツタ事ガ澤山アル、餘程能ク考ヘナケレバ贊成ガ出來ナイノデアアル、然ルニ斯ノ如キモノガ載ツテ居ルノヲ見ルト、不思議デナラナイ、定メテ誤植ト思フ、誤植デアアルナラバ私が取消スベキモノデナイ、載セタ人が取消スベキモノデアアル、果シテ誤植デアアルカ、ドウ云フ譯デ、私ノ名ガ載ツテ居ルカト云フコトヲ御尋致シマス

○議長(曾禰荒助君) 百五十五番ニ注意シマスガ、唯今ノハ質問デモ何ンデモナイ、誤植ト云フコトナラバ……

○鹽田與造君(二百四十二番) 私ハ分リマセヌカラ、提出者ニ相談シテ見マセウ

○伊藤德太郎君(百七十九番) 少シ提出者ニ質問シテ置キタイト思ヒマスガ、發案ノ大體ノ趣意ニ就イテ少々御聽キ申シタイ、政府ガ民間ノ事業ニ保護干涉ノ政治ヲ施シテ中ツタ例シガナイ、總テ外レテ居ル、數百萬圓ノ金ヲ水中ニ葬ツタト云ツテモ宜イ位ノモノデアアル、總テ功績ガゴザイマセヌ、故ニ私が考ヘマスニ、斯ウ云フ政府ニハ何ノ事業モサセルコトハ容易ニ出來ナイ、況シテ新事業ヲサセルコト云フ事ハ以テノ外デアアル、兎デモ其目的一達スルコトハ出來ナイト信ジテ居ル、然ルニ發案者ハ此案ヲ御提出ニナリマシテ、新規二百五十萬圓ト云フ金ヲ國庫ヨリ支出シヤウト云フノデゴザイマス、サリナガラ其金ガ此議案ニモ書イデアリマス通、現政府ノ監督ノ下ニ置キマシテ、十分運轉サル、所ノ金デゴザイマスカラ、此政府ノ十分是レミコトヲサセルニ信ズベキノ政府デアルト云フ御決心ガナケレバ、斯ウ云フコトハ出來ナイノデアアル、若シ現政府ガ十分信用ガ出來ル、百五十萬圓ノ金ガ是

迄ノヤウニ水ノ泡ニナラナイト云フ御決心ガアツテ、御提出ニナツタモノトシマスレバマダシモ、サウデナケレバ論理ガ分ラナイ、サウスルト鹽田君其人ハ斯ウ云フ御考デアアルカト云フコトヲ聽キタイ、我國務大臣ハ十分信用スベモノデアアル、又我が政府部内ノカラクリヲ是ヨリモ大キクシタイト云フ御考デアアルカ……

○鹽田與造君(二百四十二番) 國家問題デアツテ、最モ急務ノモノデゴザイマスカラ、止ムニ止マラズ之ヲ……

○工藤行幹君(百六十六番) サツキノ御答ハ要領ヲ得マセヌ、タツタ一口聽ケバ宜イ、唯今承ルニ金ヲ貸スノハ荷爲換ダト云フ、荷爲換ナラバナゼ身元金ヲ取ルノデゴザイマスカ、荷爲換ナラバ身元金ヲ取ル必要ガナイト思ヒマスガ

○鹽田與造君(二百四十二番) 證據金デス、證據金ヲ取テ置クノデス、尙ホ大丈夫ノタメニ

○曾我部道夫君(八十二番) 一寸質問ヲ致シタイデゴザイマス、唯今ノ鹽田君デゴザイマスカ、一寸御尋申シタイト思ヒマス、私ハ鹽田君ニ御尋申シマスガ、即チ八十二番モ此贊成者ノ一人デゴザイマスガ、此贊成ヲ致シタイハ私ノ豫テノ持論ニ合フト云フ所デ、贊成ヲシタノデゴザイマス、之ニ就イテ一番……ト云フノハ、直輸出爲換デゴザイマス 是ハ前年來政府ニ御用爲替トシテ直輸出ノモノニ……サセテアツテ、然ルニ會計法ノ都合等カラ又明治二十三年カラ其事ガ變テ止マツタト云フコトデアアル、其事ヲ繼續シテヤラナケレバ支ヘル、斯ウ云フコトデアアルカラ、之ヲヤリタイト云フノデアアル、此事ハ私ハ前年來能ク承知シテ居ル、實ニ憫然ナルコトデ、折角外國ニ直輸出ヲ開イタモノヲ此事ノタメニ止マツタト云フロトデハナラヌ、依ツテ之ヲ止マラヌ様ニ、之ヲ繼續サセルガ宜シイト云フコトデアアル(此時提出者ガ居ナイト呼ブ者アリ)然シ贊成者ノ一人デアリマスカラ、之ヲ提出者ニ尋ネタデス、處ガ一二ノ提出者ニハ從來ノ沿革ガ御承知ガナイト云フノデ、此席ニ出テ來テ止ムナク、此提出者ノ贊成者ノ一人ガ御質問ヲ願フト云フコトニナツタノデス、——ダガ私が承知シテ居ルニハ政府ノ爲換ハ五十萬圓ト云フコトデアアル、然ルニ今回ハ百五十萬圓ト云フコトニナツテ居ル、私が贊成シテ居ルタ、從來數年間仕來テ居ル順序金額ハ違ツテ居ルト考ヘル、ソレデアルト私ノ贊成シタ精神トハ違フ、從來仕來テ居ル事業ヲ中途ニシテ斷絶スルノハ如何ニモ残念デアアル、殊ニ外國ニ輸出ヲスル道ヲ漸ク開イタノヲ拒絶スルト云フノハ好マヌ、依ツテ此拒絶シナイ様ニ數年間ノヤリ來リヲ繼續スルト云フ趣意ニ過ギナイノデアアルカ、果シテサウ云フ趣意デアアルカ、又金額ハ五十萬圓ト承知シテ居ルノデ、百五十萬圓トナツテ居リマスガ、此從來ノ沿革上ニ繼續スルト云フノデナクテ、一層擴張スル方法モ大ニ異ツタト云フノデアアルカ、其要點ヲ承ツテ決心ヲ致シマス

○神輦知常君(二百番) 答辯シマス、私モ此案ニハ贊成者デゴザイマシテ、

提出者アハゴザリマセヌガ、併ナガラ此事柄ハ私ハ能ク承知シテ居リマスカラ、一應今鹽田君ガ居リマセヌカラ、私ガ答辯シマス、全體是マデ生絲事業者ガ直輸出ヲシタイト云フ希望ノアル者ハ、餘程多イノデゴザリマス、併ナガラ直輸出ヲスルニハ悲イカナ大必要ナル生絲デアリマシテ、之ヲ輸出スルニ爲換借リナケレバ輸出ヲスルコトガ出來ナイト云フ様ナコトガ残念ナガラ今日ノ實況デアアル、金ノアル人デ輸出ヲスル者モアリマセウガ、金ノアル人ハ多クハ一向直輸出ヤ何カニ骨ヲ折ラヌ、此生絲ナドニ付イテ最モ力ヲ盡シテ居ル者ハ、直輸出ヲシテ十分此生絲ノ聲譽ヲ海外ニ博シテ、自分ノ生絲ミナラズ、日本ノ生絲ノ聲譽ヲ擧ゲタイト云フ者ハ、誠ニ残念ナガラ尙ホ爲換借リナケレバナラヌ、ソコデ……

○中村彌六君(二百二十九番) 賛成者同志ノ質問ハ御免ヲ蒙リタウゴザリマス、サウ云フ規則ハアリマセヌ、賛成者ガ質問スルト、又他ノ賛成者ガ答ヘル、賛成者ノ研究會デアアリマセヌ

○神輿知常君(三百番) 是迄五十萬圓ト出テ居リマスノヲ、政府ガ都合ガアツテ出來タ時ニハ百五十萬圓ニ登ッタノデス、ケレドモ段々減ッテ來テ、近來五十萬圓位、ソレモ一昨年アタリカラ漸ク……コトデ出來タト云フコトヲ聞イテ居リマス、ソレデ又生絲ノ直輸出ニスル者ハ、即チ生絲生産者ハ百五十萬圓デ、或ハ満足シテハ居リマスモイテ思ヒマス、ケレドモ先ヅサウ澤山ノコトモ出來ヌ、百五十萬圓位デドウカヤリサヘスレバ、先ヅ此日本ノ生絲ノ聲譽ヲ擧スルニ足ルデアラウト云フコトヲ書イタモノデアラウト、小生ハ承ッテ居ルノデ、ソレヲ賛成シタノデアリマス

○議長(會場荒助君) 一寸諸君ニ御注意シマス、唯今ノ如キ賛成者ガ問ヒ、又賛成者ガ答ヘルト云フコトハ、甚ダ變則ザアルガ、一人モ提出者ガ答ヘヌ、答ヘル者ガ居ラヌ時分ニハ、其事ヲ明瞭ナラシムルガタメニ、本席ハ之ヲ許シタノデアアル、是カラ先ハ御互ニ御慎ミナスツタ方ガ一番宜カラウト思ヒマス

(丸山名政君演壇ニ登ル)

○丸山名政君(二百九十八番) 私ハ本案ニ反對ノ一人デアリマスルガ、長シク鹽田君カラ農談會ヤ商工會ノ御演說ノ如キ演說ヲ承リマシテ、此會期切迫ノ時ニ當ッテ、私ハ大ニ智識ヲ得タノヲ提出者諸君ニ向ッテ先ヅ第一謝サナケレバナリマセヌ、ソレデ鹽田君ノ御演說ノ中ニ、或ハ報告書ヲ朗讀セラレタリ、何カシマシタガ、能ク分リマセヌカラ、私ハ簡單ニ唯大體ノ筋ニ就イテ本案ヲ否決シナケレバナラヌト云フ理由ヲ述ベテ置カウト思フ、ソレデ先ヅ本案ノ目的ハ三ツアル、第一ハ蠶業講究所ト云フモノヲ設ケル事、第二ハ生絲検査所ヲ設ケル事、第三直輸出ヲ爲ス事、此三ツガ大體ノ要領デアアルガ、就中此中デ最モ眼目トナッテ居ルモノハ百五十萬圓ノ直輸出デアアル、ソレ故ニ私ハ先ヅ第一ニ此百五十萬圓ノ金ヲ正金銀行ニ交付シテ、直輸出ヲ獎勵スルト云フ、此第三ヲ逆ニ取ッテ之ヲ第一ニ論破シヤウト思フ、私ハ固ヨリ此發案者ト同様ニ蠶業ヲ獎勵スルト云フノ目的ハ、固ヨリ發案者ト同様デアアル、

併ナガラ蠶業ヲ獎勵スルト云フ目的ヲ同フスルガ故ニ、此案ヲ賛成シヤウト云フニ至ッテハ、我ハ實ニ反對ヲシナケレバナラヌ、ナセデアアルカ、第一先ヅ此直輸出ト云フモノヲスルニ當ッテ、此本案ノ趣意ニ依ッテ見ルト云フト、百五十萬圓ノ國庫金ト云フモノヲ無利息デ以テ横濱ノ正金銀行ニ交付スル、正金銀行ハ此金ヲ里昂ト紐育ノ支店ニ持ッテ往ッテ置イテ、サウシテ直輸出スル者ガ荷爲換ヲ組ンデ往ッタ時ニ、此荷受ヲスル金ガナイ、其荷受ヲスル金ニ立テ替テヤルノデアアル、正金銀行ガ之ヲ立替テヤルト云フノデアアル、處ガ一體商賣ヲスルニ附イテドウデアアルカ、全體日本ハ日本内地デスラ一國ノ資本ト云フモノハ不足ヲ受ケテ居ルニモ拘ラズ、一國ノ資本ヲ外國ニ持ッテ往ッテ外國ノ銀行ニ仕舞ッテ置イテ、商賣ヲスルト云フヤウナ迂濶ナ商賣ガ世ノ中ニアルカナイカ、是ヲ以テ提出者ガ實際商業ノ事ヲ知ラヌテ一ふる上ノ議論デアアルト云フコトハ明デアルト思フ、(誤解々々)何處ノ國ノ人何處ノ國ノ商人ガ物品ト知識ト資本ヲ外國ニ態々持ッテ往ッテ商賣ヲスルト云フヤウナ間拔ナ商人ガアッタラ、ドウデゴザリマセウ、提出者ノ如キモノヲシテ日本ノ商業ヲ營マシメタナラバ、蓋シ日本ノ商業ハ紊亂スルデアラウト考ヘル、衰頹スルデアラウト考ヘル、第一此目的ニ於テ大變誤リガアル

ソレカラ第二ニハ此日本ノ生絲ト云フモノハ二十四年度——昨年ノ統計ニ依テ見テモ、殆ト三千万圓ノ價額ヲ外國ニ輸出シテ居ル、處ガ僅カ百五十萬圓ト云フ金ヲ正金銀行ニ交付シテ、而シテ之ヲ以テ直輸出ヲ保護スル、之ヲ以テ直輸出ヲ獎勵スルト云フ趣意デアリマスガ、コンナコトデ何ノ役ニ立ツカ、若シ眞ニ直輸出ヲ保護スル獎勵スルト云フナラバ、少クトモ三千万圓ノ半分千五百萬圓ナリトモ保護スル獎勵スルト云フ御議論ナラバ、首尾ガ貫徹シテ不理屈ナガラモ理屈ニナッテ居ルノデアアル、併ナガラサウデナイ、三千万圓ノ輸出ノ此重大ナル品物ニ對シテ、僅カ百五十萬圓ノ金ヲ正金銀行ニ貸シテヤッテ、是デ荷受ヲサセル、サウスレバ商權カ挽回サレル、商業ガ盛ニナル、サウスレバ生絲ガ改良サレルト云フヤウナ御議論ハ三尺ノ小兒デモ、此ノ如キ不理屈ニ服從スルコトハ私ハ出來ヌト考ヘル、且ツ其結果トシテ三千万圓出ル、殆ト日本ノ生絲ト云フモノハ殆ト九萬担位出ル、其九萬担ノ中ヲ今私ガ言フ百五十萬圓デアリマスレバ、ドノ位ノ生絲ヲ直輸出ヲスルコトガ出來ルカ分ラヌガ、極ク僅ナ部分デアアル、サウスルト斯ウ云フコトガ起ッテ來ル、日本ノ生絲商人ト云フモノハ中ノ僅ノ一小部分ノ生絲商人ヲ利スル百五十萬圓ノ恩澤ハ、一小部分ノ商人ノ恩澤デ、他ノ部分ノ者ハ受クルコトカ出來ヌ、利デアアルカ害デアアルカ分ラヌガ、兎ニ角此恩澤ハ受ルコトカ出來ヌト云フ結果ガ起ル、總テ政府ガ保護スルト云フコトハ、私ハ固ヨリ嫌ヒデアアルガ、若シ保護ガ宜イ事トシタ所ガ、此保護ヲスルト云フコトナラバ、商人其保護ヲ受ベキ所ノ商業者ト云フモノガ、均一ニ其保護ヲ受ルト云フコトデナケレバナラヌ、然ルニ均一デナイ、少クトモ三千万圓ノ輸出物品ニ對

シテ百五十萬圓デアルカラ、既ニ其二十分ノ一カ——甚ダ僅デアルカラ、均一ノ保護ヲ受ルコトハ出來ヌ、一種ノ商人ヲ利スルノデアル、之ガ私ガ反對デアルト云フ第二ノ理由デアル

ソレカラ第三ニ附イテ言ヘバ、斯ウ云フ荷爲換荷受ノタメニ、金ヲ外國ニ備ヘテ置テ金ヲ外國ニ持ッテ往ッテ直輸出ノ商人ヲ保護スルコト云フノハ甚ダ危險デアルト信ズル、私ハ豫言者デナイカラ未來ノ事ヲ判斷スルコトハ出來ヌケレドモ、此直輸出ト云フ此法案ノ未來ニ附イテハ、私ハ豫言スルコトヲ辭セヌ、豫言者タルコトヲ憚カラヌ、何ヲ豫言スルカト云ヘバ、此百五十萬圓ノ金ハ五年間ニハ必ズ水泡ニ屬スルデアラウト云フコトヲ豫言スルノデアアル、(拍手起ル)何故水泡ニ屬スルカト云ヘバ、此法案ニ附イテ見レバ直輸出ヲ仕樣トスル商人ハ借リヤウト云フ金ノ十分ノ一、一割ヲ橫濱ノ正金銀行ニ保證シテ預ケレバ借リコトガ出來ルコトニナッテ居ル、サウスレバ百五十萬圓ノ金ヲ借リヤウトスルニハ、十五萬圓ノ公債證書ナリ、或ハ其他價值アル物品ヲ橫濱ノ正金銀行ニ預ケサヘスレバ、百五十萬圓ヲ借リコトガ出來ル、例ヘバ茲ニ同仲會社ト云フ直輸出會社ガアッテ、此會社ガ直輸出ノ營業ヲレヤウトスルコトキニハ、十五萬圓ヲ橫濱ノ正金銀行ニ出セバ巴里ナリ里昂ナリ紐育ナリノ支店ニ往ッテ、百五十萬圓ノ金ヲ無抵當デ借リコトガ出來ル、詰リ無抵當デ同仲會社ニ百五十萬圓ノ金ヲ政府ガ無利息貸シテヤル結果ニナル(誤解々々荷爲換——品物ガアルト呼ブ者アリ)品物ハアル、荷爲換ヲ受ルノデアル、併ナガラ是ガ私ガ大ニ説明シナケレバナラヌト云フハ、此事ハ既ニ前ニ所謂御用爲換ト云フモノデ履、ヤッテ履、失敗シテ居ル事實ノアルコトヲ御承知デナイノダラウト思ヒマス、此タメニ明治三十四年カラ直輸出ヲレテ倒レタ會社ガ幾ラアル、國庫ニ損ヲシタ額カ幾ラデアルト云フコトヲ調べテ見ルト、生絲ニ附イテ貿易商會ト云フモノガ殆ト二十萬圓バカリノ資本ヲ以テ居ル會社デアリマスガ、是ガ直輸出ヲシテ所謂御用爲換デヤッタノデアリマスガ、三十萬圓程ノ國庫ニ損ヲ掛ケテ居ル、同仲會社モ一時損ヲ掛ケテ稍ク此節ハ此損ヲ埋合セルコトガ出來テ、今ハ借リガナイサウデアリマス、又扶桑商會ガ出來タ、是モ殆ト二十萬圓ノ損ヲ掛ケテ居ルサウデアリマス、ソレカラ生絲直輸出デナイモノヲ保護ヲシタ、事實ニ附イテ言ヘバ起立工商會社ハ殆ト三十萬圓ノ國庫ニ損ヲ掛ケテ居ル、又日本商會ハ雜貨ヲ輸出スルモノデアリマスガ、是ガ矢張三四十萬圓ノ損ヲ掛ケテ居ル、石川縣ニ九中組ト云フノガアッテ、是ハ陶器ヲ外國ヘ輸出スルノデアアル、是ガ矢張國庫ニ損ヲ掛ケテ居ル、何故カト云ヘバ、詰リスルト荷爲換ヲ組ムデアラウ、若クハ荷受ヲスル金ヲ貸スカラ、丸デ無擔保ノ貸借デハナイ、併ナガラ之ヲ外國ニ持ッテ往ッテ荷爲換ヲ受ル金トシテ貸與ヘル、ソレヲ倒シテ仕舞ッテ返サヌト云フコトハ、隨分取扱上不注意ノタメニ起ッテ來ル、其タメニ遂ニ貸倒レニナッテ、前ニ私ガ列舉シタヤウナ損ヲ國庫ニ掛ケテ居ル、私ハ御用爲換ノ行ハレヌコトヲ希望スル、然ルニ此弊害ヲ再ビ復活シテ百五十

萬圓ノ金ヲ太平洋ノ水デアアルカ、大西洋ノ藻屑デアアルカ知ラヌガ、抛ケ棄テルト云フヤウナ餘裕ノアル國庫デナイト私ハ信ズルノデアアル、ソレカラシテ生絲ガ我邦ノ一大物産デアアルカラ、是非之ヲ保護ヲシテ直輸出ヲシナケレバナラヌト云フヤウナ御議論デアリマスガ、若シサウナラバ何故ニ茶ヲ保護シナイ、何故ニ水産ヲ保護シナイカ、私ハ生絲ハ一大物産ダ、成程生絲ハ三萬圓ノ輸出高ヲ占メテ居ルカラ、日本ノ一大物産デアアルト云フコトハ確信シテ居ルガ、此日本ノ一大物産デアアルガ故ニ、保護シナケレバナラヌト云フナラバ、何故ニ其他ノ幼稚ノ水産ヤ茶ナリハ直輸出ヲ保護スル必要ガナイカ、同ジク日本帝國ノ内デ營ンデ居ル商業デアアル、同ジク日本帝國ノ内デ營ンデ居ル工業デアアル農業デアアル、然ルニ獨リ此生絲ニ限ッテ百五十萬圓ノ金ヲ與ヘテ保護シナケレバナラヌト云ヒ、其外ノ物産ハドウデモ宜シイト云フ話デアッテハ、矢張均一ニ保護スルコト云フ精神ニ背ヒテハ居リマセヌカ、私ハソレデアアルカラ生絲ノミニ對シテ此事ヲ保護シナケレバナラヌト云フ必要ハ、ドウシテモ見出スコトハ出來ナイ、保護爲サルト云フコトヲ御認定デアリ、保護爲サルト云フコトハ御認定デアラナラバ、矢張他ノ物品ニモ平等ニ保護スルコト云フ法案ヲ提出セラレテ然ルベキコトデアラウト思ヒマス

ソレカラ先ヅ直輸出ノコトハ大概此位ニシテ宜カラウト思ヒマスガ、次ニ此蠶業講究所デアアル、成程唯今鹽田君ガドナタカノ御質問ニ御答ニナッタ、是ハ必ズシモ原紙ト云フモノハ、地方ノ蠶業講究所デ以テ、強制的ニ蠶種ヲ營業者ニ賣渡スノデハナイ、蠶種營業者ハ勝手ニ原種ヲ製造スルコトガ出來ルノデアッテ、地方ノ講究所ヘ行ッテ此原紙ヲ買出スコトハ自由デアアル、勝手デアルト云フ御答デアッタ、併シソレナラバ先ヅコンナモノハ徒法デアアル、全體此法案ノ精神カラ言ヘバ強制的ニシナケレバ往ケナイノデアアル、鹽田君ハ實ニ日本ノ養蠶ト云フモノハ不信用デアアル、日本ノ蠶種ト云フモノハ實ニ粗惡デアアル、粗製濫造デアアル、之ヲ改良シナケレバナラヌト云フコトヲ御熱心ニ御演說ニ爲ッテ、此改良スルノ念ハ勃々トシテ禁ズル能ハズト御斷言ニナッタケレドモ、其勃々トシテ禁ズル能ハズト云フ精神ハ、哀レサウ云フ様ナ趣意デアッテハ、決シテ達スルコトハ出來ヌノデアアル、ソレデアアルカラ前ニ仰セラレタル所ノ趣意ヲ達スルノニハ、矢張強制的ニシナケレバナラヌノデアアル、然ルニ唯強制的ニセズニ、自由デアアルト云フコトデアッテハ、殆ト反古ヲ以テ議セヨト云フコトデアアルカラ、我々ハソシナコトニ賛成スルコトハ出來ナイ、勿論私ハ蠶種ト云フモノハ世ノ中ニ幼稚ナ地方ニ往キマスレバ、粗製濫造ノアルコトハ認メテ居ル、又唯今粗製濫造ガアルタメニ蠶ヲ飼フ者ガ害ヲ受ケテ居ルコトモ、ソレハ認メテ居ル、ソレ故ニ民間ニ於テ相當ノ取締ヲスルトカ、或ハ政府ニ於テ相當ノ方針ヲ立テ、モ粗製濫造ヲ防グト云フ途ヲ講ズルコトハ、農商務省或ハ農商務省ノ一部分ニナッテ居ル西ヶ原ノ蠶業試驗所ナルモノデ宜シイ、又西ヶ原ノ蠶業試驗所デスルコトガ出來ナイト云フナラバ、此規模ヲ擴張シテモ又宜シイ、併ナガラ此勅令ヲ以テ官制ヲ定メ

テ、中央ニ蠶業講究所一箇所ヲ設ケ、全國地方ニ九十五箇所ノ養蠶學校ヲ建テ、而シテ此九十五箇所ヘ一箇所ニ千五百圓宛庫ノ補助ヲシテ拵ヘルト云フ、學校ノ様ナモノヲ拵ヘルト云フコトハ、我々ハ贊成スルコトハ出來ヌノデアル、鹽田君ガ先キ仰セラレタ通、先ツ學校……養蠶學校ノ様ナモノヲ拵ヘルト云フ御答デアリマスガ、ウシナラバコンナモノハ實ニ無益デアル(此時討論終結ト呼ブ者アリ)

ソレカラ次ニ検査所デアル、成程検査所ト云フモノハ或方法ヲ以テ、正當ナル方法ヲ以テ検査所ヲ設ケマシタナラバ利益ガアルデアラウ、併ナガラ此案デアレバ我々ハ贊成スルコトハ出來ナイト云フモノハ、成程是ハ説明書ニ依リマスレバ佛蘭西ヤ伊太利ノ例ニ法テヤッタト云フコトデアルガ、佛蘭西ヤ伊太利ノ例ニ法テヤルコトナラバ、モウ少シ御講究ヲ願ヒタイノデアル、私ノ聽ク所ニ依レバ里昂邊ノ生絲検査所ト云フモノハ、斯ウ云フ仕組デハナイ、詰リ商法會議所トカ商業會ト云フ様ナモノガアツテ、其中ノ一ツノ仕事トナツテ、所謂公立デアリ、決シテ官立デハナイ、盡一ノ制度ヲ以テ是非之ヲヤルト云フ仕事デハナイ、ソレ故ニ今今日生絲検査ノ必要ガアルナラバ、幸ニ日本ニモ商業會議所ト云フモノガアルカラ、此商業會議所ノ内ニ追加ヲシテ、取引ヲスルニ検査ヲ受ケタイト云フモノガアルナラバ、検査ヲシテ、其検査ニ對シテハ不服ヲ言フコトハ出來ヌト云フ條項ヲ加ヘレバ善イ、然ルニ官立デシテ國庫ノ金ヲ今日遣テヤラナケレバナラヌト云フ様ナ必要ト云フモノヲ見マスコトハ出來ナイノミナラズ、斯ウ云フ制度ガアツテハ益、害ガアラウト思ヒマス

ト云フモノハ、此法案ノ中ニモ見エマスルガ實ニ粗漏極マル護謄質ノ検査ヲスル器械ヲ買入レル費用ガ豫算ノ中ニ組込シタル、處ガ實際ノ有様ヲ見テ見ルト云フト、護謄質ト云フモノハ濕氣ニ遭ヘバ舊ニ復シテ仕舞フモノデアアル、乾イテ居テ濕テ居ラヌ内ハ宜イガ、濕氣ニ遭ヘバ舊ニ復シテ仕舞フモノデアアル、ツレヲ横濱デ以テ検査ヲシタ上デ、輸出ヲシテ里昂ヤ紐育デ賣ル所ガ検査シタ效能ハ何ニモナイ、ツレ故ニ里昂ノ邊デハ、矢張賣買スルノハ其土地ノ機屋ヲ保護スル、營業者ヲ保護スルト云フ精神カラヤルノデアアルカラ、検査ヲスル機會デアアルカラ、此護謄質ノ検査ニ掛ケテヤッタモノハ、直ニ機屋ガ安心シテ買フコトガ出來ル、三千里外ノ巴里ヘ賣リ、三千里外ノ紐育ヘ賣ル生絲ヲ横濱デ護謄質ノ試験スルト云フコトハ實ニ畠水練、ていぶる上ノ議論ヲスルモ又甚シイト言ハヌケレバナラヌ、其外色ノ議論ガアツテ、我々ノ同志者ノ矢張中村彌六君杯カラモ色ノ調物ヲ手許ニ受取ツテアルノデアリマスルガ、ツレ等ヲ長ク述ベルト云フコトハ、却テ御分リニナツテ居ル諸君ニ對シテ、失禮デアアルカラシテ述ベマセヌ、要スルニ此等ノ案ヲ委員ニ付シテ此短會期ニ於テデス、委員ガ綿密ニ調査爲サルト云フコトデアツタ所ガ、到底大部分ト云フモノガモウ腐テ居ル大部分ト云フモノハ、粗漏極マル法案デアアルカラシテ、之ヲ生カシテドウスルト云フコトハ出來ナイノデアアルカラ、此第一讀會ニ於テ速ニ否決スルト云フコトガ

最モ必要デアラウト思ヒマス

(討論終結ノ動議ヲ提出シマスト呼ブ者アリ)

(贊成々々ト呼ブ者多シ)

○議長(會禰荒助君) 諸君ニ申シマス、討論終結ノ聲ヲ耳ニシマシタ、併ナガラマダ反對ト贊成ト……タツタ反對ハ一人シカナイノニ、討論終結ト云フコトハ少シ……ドウデス、モウ少シヤテハ(此時發言スル者多シ)マダ片方丈ホカゴザイマセヌ、討論終結ハ耳ニハシマシタ、耳ニハ致シマシタガ、必ズ決ヲ探レト云フコトデアレバ探リマス、探リマスガ如何デアアル(切迫々々ト呼ブ者アリ)

(神鞭知常君演壇ニ登ル)

(討論終結討論終結ト呼ブ者多シ)

(安東九華君委員ヲ置クコトニ早クドウカ致シタイ、此動議ニハ贊成者ガ澤山ゴザリマス)

(此時發言スル者多シ)

(贊成々々ト呼ブ者アリ)

(神鞭知常君演壇ヲ下ル)

○議長(會禰荒助君) 討論終結ノ決ヲ探リマス、討論終結ニ御同意ノ諸君ハ起立

起立者

(多數ト呼ブ者アリ少數ト呼ブ者アリ)

○議長(會禰荒助君) 暫ク立ッテ居ラッシャイ

(水野書記官長起立者ノ數ヲ計算ス)

○議長(會禰荒助君) 多數デス

○安東九華君(二百三十番) 議長

○安東九華君(二百三十番) 先ッキ委員ノ議ヲ出シテ置キマシタ

○東尾平太郎君(百九十九番) 討論終結ノ後ニハ往キマセヌ

(此時發言スル者多シ)

○議長(會禰荒助君) 宜シイ、是モ耳ニシマシタ、贊成ト云フコトモ耳ニシマシタ、決シテナイコトハアリマセヌ、アリマシタ、ナイトハ言ハセマセヌ、故ニ此決ヲ採リマス、委員ヲ置クベシト申ス諸君ハ……(此時發言スル者アリ)宣告シマシタ——モウ一遍宣告シマス、委員ヲ置クベシト申ス諸君ハ

君ハ起立

起立者 少數

○議長(會禰荒助君) 是ハ少數デス

(拍手起ル)

○議長(會禰荒助君) 然ラハ更ニ二讀會ヲ開クベキヤト云フ決ヲ採リマス、二讀會ヲ開クベシト申ス諸君ハ起立

起立者 少數

○議長(會禰荒助君) 是亦少數デス

(拍手起ル)

(立川雲平君片言ヲ聞イテ裁判ヲ下シタハ滿場諸君デアアル、不公平ナルカナト呼ブ)

○議長(會禰荒助君) 第五官有林野ニ關スル建議案ニ移リマス

第五 官有林野ニ關スル建議案(黒川修三君提出)

(町田書記官朗讀)

官有林野ニ關スル建議案

全國各地ニ散在セル狹少ナル官有林野ハ到底國有トシテ之ヲ永久ニ維持スルニ適セサルモノ尠ナカラサルヲ以テ之ヲ移シテ全國各市町村ニ交付シ其基本財産ト爲サシメハ一ハ以テ地方自治ノ基礎ヲ固フシ一ハ以テ官有林野ノ經濟ヲ整フルヲ得可シ故ニ現在官有林野ノ中第一禁伐林風致林及御陵墓ニ疑アルモノ第二供用林及ヒ原野ノ中段別凡ソ二百町歩以上ノモノハ之ヲ國有トシテ永遠ニ維持シ其他ノ林野及段別二百町歩以上ノモノト雖モ林産少ク若クハ林産運搬ノ便ナキモノハ總テ之ヲ市町村ニ交付スルノ方針ヲ以テ速ニ全國ノ官有林野ヲ調査シ適實ノ方案ヲ具ヘ以テ帝國議會ニ提出セラレンコトヲ望ム

右政府ニ建議ス

(黒川修三君演壇ニ登ル)

○黒川修三君(二百四十四番) エー、私ハ官有林野ニ關スル建議案ヲ提出シタ者デゴザリマス、初ニ當リマシテ諸君ニ一言御斷リガゴザリマス、本問題ハ如何ニモ不急ノモノ、如クニ見エマス、短期ナル此會期ニ持チ出スベキモノデナキガ如ク思ハレマスルガ、併ナガラ決シテ不急ナルモノデハゴザリマセヌ、一日モ之ヲ忽セニスベキモノデハゴザリマセント私ハ考ヘマス、御承知ノ通山林原野ノ取調ニ就イテハ目下政府ハ十五箇年ノ繼續年限ヲ持チマシテ、官有山林原野ノ取調ヲ爲スト云フコトハ、著々相運シテ居リマス次第デゴザリマス、而シテ今政府ガ如何ナル方針ニ依ッテ之ヲ取調ベツ、アルカト取調ベテ見マスル、全ク我々ノ希望スル所、我々ノ可トスル所ノ方針ノ外ニ出テ、如何ニモ將來スル如キ方針ヲ取調ベテハ、官有山林原野ノ制度ノ整頓ヲ見ルコトヲ期シラレズ、官林其モノ、經濟ハ決シテ整頓スルコトハ出

來マセスト存ジマス、唯今當路者ハ如何ナル方針ニ依ッテ居リマスルカト申シマスルト、三ツノ要點ニ據ッテ居リマス、其第一ハ段別五十町歩以上ノ官林原野ニシテ此モノガ一團ノ地ヲ爲シテ居ル、若クハ澤山ナル官林デアッテ、此箇所ノ異ナルモノ一町村内ニ集ッテ居ルトカ、若クハ二里以内ニ集ッテ居ルモノ、如キハ、縱令五十町歩未滿ノモノト雖モ、矢張保存スベキ官林ノ部分デアルト方針ヲ立テ、居リマス、是ガ一ツ

ワレカラ第二ニハ五十町歩未滿ノ官林ニシテ他ニ尙ホ此官林ト相集メテ一ノ林區ヲ設置シ得ルモノハ、如何ナル小サキモノト雖モ、矢張官有ニ存置致シテ置クト云フガ、是ガ第二デゴザリマス、

ワレカラ第三ニハ五十町歩未滿ノ地ト雖モ官林ニシテ林産ノ増殖若クハ貯材ヲスルニ適當ナ土地ノ如キハ、是レ亦矢張官林トシテ存スルト云フコトデ、是デ三ツノ方針デアリマス、處ガ私ハ從來ノ有様ニ就イテ能クミ、此林制ノ上ニ考ヲ施シテ見マスルニ、如何ニモ此五十町歩以上ヲ悉ク官林トシテ存ズルト云フコトハ、林制其物ノ上ニ官林經濟其物ニ就イテ決シテ得策デハナイト云フコトヲ私ハ斷言スルニ憚リマセヌ、私ハ是ヨリ此制限ノ小サキモノハ段々申上マスガ、私ガ方針トシテ目下政府ガ取調ベツ、アル方針ヲ一定サセタイト云フ所ノ考ハ如何デゴザリマセウカト申シテ見マスレバ、第一ニ二百町歩以上ノモノヲ官林トシテ、將來保存ヲスル、是ハ第二デゴザリマシタ、第一ハ禁伐林若クハ御陵墓ニ疑ヒアル所ノ土地、此禁伐林及ヒ風致林御陵墓ニ疑アル所ノ土地ハ是ハ目下ノ所デハ保存林ト云フ名稱ガ附イテ居ル様ニ考ヘマス、此保存林ト御陵墓ニ疑アル所ノ土地ハ、是ハ如何ニ段別ハ小サイトモ、是非トモ總テ國土保安ノタメニ、此箇所々々ハ長ク官有タラシメザルヲ得ナイモノデゴザリマス、是ハ第一デス

ワレカラ第二ニハ二百町歩以上デナケラネバ決シテ官有トシテ——官林トシテ將來ニ存置致サヌ

ワレカラ第三ニハ二百町歩以上ト雖モ其官林ニシテ川ニ沿ヒ、若クハ海ニ沿フ所ノ便利ノナイ所謂運搬ノ便利ヲ缺イタル土地此等ノ便利ヲ缺イタル山間僻陋ニ散在シテ居マス所ノ山林ノ如キ、斯ノ如キ、土地ハ縱令ヒ反別二百町歩アリトモ、之ヲ長ク官林トシテ存置シナイト云フ所ノ考、此物カ即チ第三デゴザリマス、私ハ此第二ニ三ツノ方針ヲ茲ニ立テマシテ、是以下ノモノハ悉ク民間ニ移シ——之ヲ悉ク町村ノ方ニ移ス、斯ウ云フコトニ大ニ利益アルコトヲ感シテ居ル次第デゴザリマス、明治二十一年頃ニ我農商務省ハ時ノ大臣井上伯此大臣在職ノ時ニ、我邦ノ官林ハ其大ナルモノハ悉ク帝室財産タラシメ、之ニ適セザルモノ、如キハ、悉ク民有ニ移シテ仕舞フ、斯ウ云フ方針ヲ取ツタト云フコトハ、明治二十一年ノ頃ニ、私ハ聞キマシタコトデゴザリマス、今日ニ至ルマデ稍、其方針ヲ取調ベツ、アルカノ如クニ私ハ考ヘテ居マシタデゴザリマスガ、其仔細ニ立入ッテ取調ベテ見マスレバ、此等ノ方針トハ完ク其道ヲ異ニ致シテ居リマスデ、現今ノ當路者ノ取ッテ居ラル、所ノ方

針ト云フモノハ、申サバ大抵ノモノハ皆官林ニシテ仕舞フ、實ニ數段歩若クハ一二町歩位ノ仕方ガナイモノマデモ、之ヲ官林ニ移サウト云フ所ニ——兎ニ角ニ官林ニシテ置クト云フ所ノ方向ニ向ッテ、専ラ傾ヲ持ッテ居ルヤウナ方針デアル、成程西洋各國ノ官林制度ノ話ヲ聞イテ見マシテモ、就中獨逸佛國ノ如キ最モ林制ハ整頓シテ居ルト聞イテ居マス、盛ニ此官林ハ長ク國有トシ、嚴重ナル所ノ制度ヲ立テ、保存——保護セネバナラヌト云フ所ノコトニ成ッテ居ルト、私ハ夙ニ聞イテ居マス、併ナガラ又其仔細ニ立入テ之ヲ調ヘテ見マスルト、彼ノ林制ノ確立シテ居ル獨逸ノ如キハ如何デゴザリマスカ、我邦ノ如キ二十町ヤ、五十町ヤ、百町ヤ、小サイ處ノ詰ラナイ所ニ十分ノ人ヲ置キ、十分手ヲ著ケテ收支相償ハナイヤウナ官林ハ、今日彼ノ國ニ官林トシテナイト私ハ聞イテ居マス、彼ノ國ハ一概ニ官有ヲ重シ、官有ハ國ノタメニ缺クヘカラザル國土——國防ノタメニ必要ノモノデアルカラ、嚴重ニ守ッテ居リマスケレドモ、ソレハ守ルベキモノヲ守ッテ居ルノデ、今日我邦ニアル如キ不經濟ノ官林ヲ今日ハ守ッテ居ラヌヤウニ見エマス、何故ニ我國ノ官林ガ五十町ヤ百町ノ官林ガ國有トシテ不利益デアルカト申シマスカト申セバ、我國ノ此官林ノ收益ノ上カラ考ヘテ見マスノニ、長イ表ハ申シマス、近頃ノ調デ見マシタ所デ、十七年、イヤ十二年頃ハ僅ニ八万八千圓ノ收入デアッタ、年々ハ申シマス、真中ノ十七年ガ是ハズツ登ッテ三十二万圓ニナッテ居ル、最近ノ二十二年ノ收入ハ四十六万圓デアル、最近デハナイ、目下ハ殆ド六十萬圓ノ、イヤ九十萬圓ノ收入ガゴザリマス、成程十二年カラ較ベマシタナラバ、澤山ナ收入ガ年々ニ増加シタモノ、如ク見受ケラレマス、併ナガラ其裏デ支出ハ如何ト云フニ、矢張此順ニ増シテ來テ居ル、縣ノ管轄ニアリシ時ハ年々ノガ審ニ分リマセヌケレドモ、今此大林區ヲ設置致シマシタ以來ハ、年々二十萬圓ヲ以テ加ヘテ居ルト云フ位ニ支出ノ方ノ側モ増シテ居リマス、二十年ハ僅ニ三十萬圓二十二年ハ、イヤ二十一年ハ四十萬圓、二十二年モ亦四十萬圓、ソレカラ目下ハドウカト云フニ、殆ド六十萬以上ノ支出ヲ爲シテ居リマスデ、重ニ此日本ノ現在ノ收入ト云フモノハ決シテ私ハ確實ナル收入デハナイト思フ、官林ニ手ヲ著ケル、其手ヲ著ケルニ附イテ、費用ガ入ル、其經費ガ増スニ從ッテ増ス傾ガアルト云フ様ナ次第デアルカラ、經費ノ入合セニ官林ヲ伐倒スト云フ様ナ結果デアラウト私ハ考ヘル、十二年ト今日ト十二年ハ僅ニ二十萬ニ足ラヌ收入、今日ハ九十萬以上ノ收入ガアルモノ、比例ヲ以テ、官林ノ收入ガ今日ニ増シテ居ルト云フコトハ、決シテ信ズベキモノデナイト云フコトヲ私ハ斷言スル、假ニ此九十萬圓ハ確實ナルモノト致シマシタ所デ、詰リ此九十萬圓ハ我國ノ官林ノ總體ニ割付ケマシタナラバ、如何ナル收入デアアルカト算盤ヲ取テ見マスニ、七百萬町ニ附イテ九十萬圓ヲ除シタナラバ、一町歩ハ僅ニ十三錢、此十三錢ト云フ者ハ成程寡ナイモノ、如ク思ハレマス、一方ノ民林ノ税金等ニ比シマシタナラバ、左程寡イ收入デハナイ、相當ノ收入デアアル、處ガ六十萬圓ノ支出、是

ハ太イ、殆ド民間ノ民林カラ徴スル程金ハ丸デ大林區ノ經費ニ使ッテ居ルヤウナ比例ニ當リマス、此六十萬圓ノ支出ハドウシテモ適當ノ收入デモナシ、適當ノ支出デモナイ、詰リ此一町歩ニ十三錢ト云フ所ノ收入ハ、今日最早私ハ過分ノ收入デアアルト相考ヘマス、之ヲ實地ニ就イテ考ヘテ見マスルト、各地ノ官林ハ伐リ過ゴシタト云フ感シハ獨リ私ノミナラズ、諸君モアルタラウト思ヒマス、サウシテ其多イト考ヘル所ノ十三錢ハ一町ハ十三錢デアルカラ、十町ハ一圓三十錢、百町ガ十三圓、二百町ハ三十圓ニ足ラナイ收入、外ハナイ、間々過分ト申ス所ノ收入デスラ、二百町歩三十圓ニ足リナイ位デアル、處ガ此三十圓ヲ以テマシテ一山ニ必ズ一ノ番人ヲ附ケ、一ノ保護區ト云フコトハ二百町歩以上ナラモ角モ、是ヨリ未滿ノモノデハ到底收入ト支出ト相償ハナイト云フコトハ明々瞭々タルコトデアラウト考ヘマス、果シテ此二十町歩以下ノモノニ必ズ一ノ番人ヲ附ケナケレバナラヌ、ソレデハ收入ガ——收支ガ償ハナイト云フモノナラバ、此官林ヲ國有トシテ長ク保ツベキモノデナシ、保ッテ利益ガナシ、官林ノ經濟ハ引合フモノデナイト云フコトハ明カノコトデアラウト考ヘマス、ソレカラ此官林ノ上ニ現レテ居ル所ノ弊害實ニ名狀スベカラザル澤山ノモノデアリマス、第一ニ盜伐當路者ニ聞キマスルト、盜伐ハ僅ノモノデアッテ、ソレヨリ山火事——火事ノ方ガ損害ガ多イト辯明シマス、ケレドモ私ハ決シテサウハ信シナイ、山火事ハ燒ケタ丈ハ直ニ幾万本幾千本アツタト云フコトハ帳簿ニ記載シテアルカラ、之ヲ積算シテ何萬圓ノ損失ト云フコトガ分ル、併ナガラ盜伐ニ至ッテハ分ラナイノデアル、偶ニ捕マヘテソレヲ調ヘテ、其捕マヘタトキニ其日々伐ッタ盜伐木ハ成程ハ僅ノモノニ相違ハゴザイマセヌ、一荷ニスルカ二荷ニスルカ、一日カ二日デ擔イデ、或ハ背負ッテ歸ル丈外ナイ、ソレヲ見附ケテ盜伐ノ代價ニ見積ルカラ僅デアル、處ガ盜伐ヲスル度ニ捕マヘルナラ宜シウゴザイマスガ、盜伐ハ十遍ニ一回ヤラ二十遍ニ一回ヤラ分ラナイ、殊ニ又廣キ山々ヲ日々木數ヲ調ベテ盜伐セラレナイカト調ベテ歩カレルモノデナイカラ、現ニ伐ッテアルモノモ遙ニ後迄ハ伐ラレタ成跡ヲ見ルコトモ六ヶ敷イ、官ノ統計上ニハ盜伐モ少ク現レテ居ルニ相違アリマセヌガ、帳簿ニ現レテ居ル通、盜伐ハ少イモノデハナイ、是ハ大變デアアル、一時盜伐ノ盛ナルトキハ誠ニ數十人ガ殊數繫ギニナッテ裁判所ニ送ラレル有様デ、殊數繫ギデ澤山ノ人ガ出ルトキハ、賭博犯ニアラザレバ盜伐犯ト云フト云フコトヲ申サレル位デアッタ、斯様ナ有様デゴザイマシテ、段々段々取締モ附イタモノ、ヤウデモ、今日尙且地方ニ於テハ盜伐ノ弊ハマダ免カレヌ、一層巧ニナッテ居ル、澤山人ガ山ニ入込デ來テ伐込シテ、折惡ク番人ガ來タ、チリ／＼逃ゲテ仕舞フ、好シ捕マヘタ所ガ唯一人カ二人其場ニハ相率イテ居リマスカラ、——相率イテ法ヲ犯スノデアルカラ、一人カ二人捕マヘタモノ式ガ盜伐ヲシテ他ノ同犯人ノ姓名ヲ言ハナイ、サウシテ裁判所ニ遣ラレテ罰ヲ受ケテ歸ル、歸レバ近所ノモノガ寄り集ッテ酒肴ヲ以テ祝スト云フ次第デアル、殆ト一郷一村ノ人ガ相率イテ官林ノ盜伐ヲヤルト云フヤウナ次第デゴ

ザイマスカラ、トモ此盜伐ノ災害盜伐ノ金高ハ——林産ヲ傷メルト云フモ
ノハ、實ニ非常ナモノデゴザイマス、論ヨリ證據我政府ガ帳面ニ何縣ノ何山ハ
一反歩ニ松木幾ラアル、若クハ杉ノ木幾本ヲ持ッテ居ルト云フコトハ帳面ニ
記載シテアリマスガ、今日各地ノ山林ヲ實地取調ベナスツタナラ、決シテ農商
務省ニ備ヘ附ケテアル帳簿ニ引合ッテ見レバ、存在シテ居ル山ハ一村モナ
斷言致シマス、御調ベナスツタラ能ク分ル、ソレカラ監守ノ不行居今ノヤウナ
小サナ官林ガ彼處ニモ、此處ニモ點ニ點シテ居ッテハナカ——容易ニ居カナ
開ガ上ニ監守番人ノ置キ方ハ如何デアアルカト云ヘバ、三里以外ニ在ル所ノ山
林ヲ一人ニ引受ケサセテ居ルト云フヤウナ次第デアアル、ソレ——ノ規定ガア
テ——月々何回ハ必ズ見廻リヲ致スト云フ處ノ規定ガゴザイマスガ、ウシ
譯ニ行カ行カナイカ、私ハ保證ガ出來ナイ、好シ參ッタ所ガ數山殘ラズ見
ト云フコトハ到底薄給ノ番人ナドノ爲シ及バヌコトデアアル、取締ヲ粗ニスレ
バ盜伐ガ是非トモアル、サレバ取締ヲ嚴密ナラシメンガ、今ノ如ク小山ガ各地
ニ點ニ點シテ居ルモノニ向ッテ悉ク番人ヲ附ケレバ收支相償ハスト云フ次第
ナル、今ノ如ク六十萬ノ經費ヲ要スレバ年々收入ノ比例ノ取レナイ位ヲ登シ
テ、以テ收入ヲ高メテ行カナケレバナラヌ有様デアリマスカラ、速モ此小官
林ニ悉ク番人ヲ附ケルト云フコトハ爲シ能ハヌコトデアアル、又爲スベキモ
ノデナイ、サレバ今ノ如ク少數ノ番人ヲ以テ守ランカ、決シテ守レヌ、私ハ二
百町歩ノ官林ナレバ必ズ一人若クハ二人位ノ番人ハ附ケナケレバ駄目デア
ト云フコトニ考ヘテ居ルノデゴザイマス、(此時大贊成デアリマスカラ簡單ニ
ト呼ブ者アリ)

(此時副議長會禰荒助君議長席ヲ退キ議長星亨君議長席ニ復ス)

最早濟ミマスデゴザイマス各地同一デハゴザイマスマイガ、此舊藩ノ時
ノ稅ヲ調ベテ見マスルニ、多ク其大部分ハ下草料ハ一文モ取ラナイデ、
皆人民ノ隨意勝手ニ伐取ラセタ習慣ガ多イ、ソレカラ其山ノ番ト云フモ
ノハ、大抵町村ニ委任致シテ町村費用ヲ以テ番人給ヲ給シテ居ッタ、ソレカラ
町村ニ非常ナル所ノ災害ヲ——水難トカ、或ハ其他ノ非常ナル災害ヲ蒙ッタ場
合ニハ、其地ノ官林アル町村ノ願ニ對シテ、此官林ノ樹木ヲ一時低價ニ排
下ゲルカ、若クハ吳レルトカ云フ、サウ云フ場合ニ於テ町村ヲ助ケル所ノ制
度モ我國ノ官林デハ大部分デハ行ハレテ居ッタ、處ガ今日ハウシナコトハ決
シテナイ、伐ル時ガ來レバ、公入札デ何處ノ誰某デモ隨意勝手ニ其競賣ヲ以
之ヲ拂下ルト云フコトニ致シテ居ル、又一本伐リマシテモ其他林產土石ヲ取
リマシテモ、悉ク皆相當ノ代料ヲ納メナケレバナラヌト云フコトニナッテ居
ル、又非常ナコトガゴザイマシテモ、昨年此愛岐ノ震災ニ就キマシテ、始テ我
政府官林ヲ伐ル都合ガ出來タヤウニ聞キマシタガ、其前後町村ノ災害ヲ受ケ
タ、ソレヲ救フガタメニ低價ニ拂下ゲタト云フヤウナ恩惠ヲ致シマシタコ
トガゴザイマセウカ、一寸モナイ、昔ハ斯ノ如キ制デアッタ故ニ、其人民ハ實
ニ官林ヲ思フコトハ、實ニ我財產ト一ツ物ノ如ク大切ニ取扱ッテ居ル、一意專
心此保護——互ニ相率テ守ッテ居ッタ、殊ニ其番人ノ如キハ町村ノ給料ヲ

——低價デハゴザイマシタケレドモ、町村デ辨シテ居リマシタ、一山ニ三人
モ四人モ番人ヲ附ケテ、アナタニモ此方ニモ置イタカラ、甚タ取締ガ宜カ
タ、又此番人ハ油斷ヲシテ居ッテモ、官林ヲ盜伐シヤウト云フ念慮ハ決シテ
ナイト云フテモ過言デナイ位ノ次第デゴザイマシタカラ致シテ、實ニ官林ノ
安全ナル事ハ今日カラ考ヘテ見マスルト、申スニ言葉カナイ位ノ次第デア
處ガ今日ハ之ニ反對致シテ、ソレハ其答デス(簡單タヤト呼ブ者アリ)ソレデ
ヤ——ソレハ止メマシテ、モウ一口申サナケレバナラヌコトハ、我國ノ町村制
度デゴザイマス、成程立派ナ制度ガ出來マシタ、立派ニ實施ガ出來マシタ、
併ナガラ此町村制度ハ立派デアアル、立派ニ實施ハ出來マシタケレドモガ、其
町村ノ自治體ノ實ト云フモノハ、ハヤ今日ハ備ッタク問ヒマスレバ、殆ト
我國ノ大部分ノ町村ハ其町村ノ自治ト云フモノハ、備ッテ居ナイト、私ハ認
テ居ル、皆此上面ノ取扱丈ハ此町村制度ニ依ッテ——此町村制度ノ制裁ニ依
テ、一寸成立ッテ居ルモノ、如ク見エマスル、ケレドモガ私ハ決シテ其實
ガ備ッテ居ラナイト斷言ヲ致ス、近頃此町村ノ有様ヲ見渡シマスルノニ、起
スベキ所ノ事業、又平常段々進ンデ行カネバナラヌ、缺クベカラサル教育ノ
如キモ前日ヨリ進ンデ居ル方デアアルカ、退イテ居ル方デアアルカト尋ネマスレ
バ、私ハ寧ろ進マナイト斷言致スニ苦マナイ者デゴザイマス、斯ノ如キ有様
デ以テ前途此町村ノ非常ニ進ムベキ事業ガアツテモ、之ニ著手スルコトハ出來
マセヌ、又此裏ノ非常ノ災害ヲ受ケテモ動カズ致シテ、其町村自治ノ制ヲ
變ヘズ進ンデ行クコトハ出來ナイ次第デアアル、是ハ何デアアルカト云フタナ
バ、町村基本財產ガナイ、町村ノ基本財產ヲ充實シテ居ル所ノ町村ハ、誠ニ
僅々微々タル者デアルト私ハ考ヘマス、斯ノ如キ基本財產ヲ備ヘナイ所ノ町
村デアアルナラバ、之ヲ一家ニ喩ヘタナラバ、財產米金ノナイ一家ト同一デア
ル、一旦凶年饑饉ニ際會センカ、此時ハ兄弟妻子離散シテ道路ニ彷徨フノ外
ハゴザイマセヌ、又其家ノ子弟ニ教育ヲ爲サシメントスルモ、ソレモ決シテ
出來ナイ位ナコトデアリマス、町村ニシテ基本財產ナキハ、尙ホ此家ノ財產
ノナキト結果ハ同一デゴザイマス、町村ハ町村獨立ノ財產ニ依ッテ獨立ノ事
業ヲ以テ居ルモノデゴザイマスレバ、是ハ財產ナクシテ内ヲ鞏固ニスルト云
フコトハ出來ラレナイ、斯ノ如ク軟弱ナル町村自治體デアツテ、ソレガ集
テ此日本全國ガ立派ノ獨立ノ體ヲ段々ニ爲シタ者トハ斷言ハ出來ナイト私
ハ斷言スルノデアアル、町村制ノ理由書ニモ「町村ノ獨立町村ノ自治ハ國ノ原
素」ト云フコトヲ明ニ申シテ居リマセウ、今我町村ハ前申シタ如キ有様デゴザ
イマスカラ、此町村ニ向ッテ基本財產ヲ作り爲スト云フコトハ、私ノ喋々ヲ俟
タズ諸君ノ御了知ノコト、思ヒマス、私ハ一方ニハ此官林ニハ小官林ヲ官有
タラシメテハ不利益ナルコトヲ見出し、又一方ニハ基本財產ガナクテハ到底
町村自治ノ體ト云フモノハ成サナイト看破ッテ居リマスカラ致シテ、此不利
益ナル官林ヲ町村ニ下シ、町村ノ方デハ之ヲ立派ナル民林ニシテ、將來其町
村ノ基本財產トスルコトニ致シタナラバ、一舉兩全ノ策デアラウト私ハ信
テ疑ハナイ者デアリマス、マダ澤山ニ申述べタイコトガゴザイマスガ、利害

ハ大抵諸君ノ御承知アルコト、思ヒマスカラ、是デ止メマス

○橋本久太郎君(七十五番) 唯今説明ヲ聞キマシタノデ、大抵提出者ノ意見ハ分リマシタガ、提出者ニ二三箇條御尋シタイコトハ、第一ニ此二百町以下ノモノト云フコトガ議案ニ書イテゴザイマスル、禁伐林風致林及御陵墓ニ疑アルモノ、是ヲ除イタ其外、ソレト二百町以上ノモノヲ除イタ、後ノ總町數ハドレ程ニナツテ居ルカ、其御調ヲ概略デ宜シウゴザイマスカラ……ソレト第二ニ御尋シマスルノハ、金額、此金額ハ試ニ之ヲ割當テマシタナラバ、ドレ程ノ金高ニナルカト斯ウ云フ豫算ヲ承リタイト思ヒマス、各町數ト金額ト兩方ヲ承ラヌト、基本財産ヲ造リタイ、各町村ニ交付ト云フナラバ、ドレ丈ノ町村ニ基本財産ヲ與ヘタイト云フノデアアルカ分ラヌカラ質問シマス、且ツ又モウ一ツ併セテ御尋シマスガ、果シテ之ヲ町村ニ交付スルストレバ、此町村ニ悉ク皆此小林ガゴザイマスルト宜シイケレドモ、私ノ見ル所デハ全國ノ町村デ有ル所トナイ所ト甚シイ違ヒガアル、サウシマスルト其實ハ此原野ヲ以テ即チ交付スルコト云ヒナガラ、ソレガナカッタ所ノモノハ到底金ヲ以テ、拂下タタ金ヲ以テ交付シナイト平均ヲ得ナイト思ヒマス、サウシナイト、矢張金額ト現物ト兩方ヲ以テ交付スルコト云フコトニシナイト……兩方ヲ以テ成立ツモノト思ヒマスガ、其邊ニ附イテハドウ云フ交附ノ仕方ノ目的デアリマスカ、此立案ニ依ツテ見レバ政府ヘ任セルト云フノデアリマスガ、大體ドウ云フ配付ノ仕方ニナリマスカ、交付ニナリマスカ、御尋シマス

○黒川修三君(二百四十四番) 御答シマス、此二百町歩以下ヲ民有ニ移スト致セバ、幾ラノ段別デアアルカト云フ御問デアリマスガ、是ハ私モ是非調ベナケレバナラヌト考ヘテ、段々調ベテ見マシタガ、容易ニ調ガ附キマセヌ、全國七百萬町歩ノ官林デ、此箇所ハ十二万以上ニ出ヅルデ、此十二万ヲ以テ十二万ノ内ガ幾段別ガ何箇所、幾段別ガ何箇所ト云フコトヲ調ベマセヌケレバ、連モ二百町歩以下ニシテ何程アルト云フコトガ容易ニ分リマセヌ、箇所ダケハ分ツテ居リマス、十二万四千四百十二箇所デアアル、是ガ分リマセヌカラ、第二ノ分モ隨ツテ分リマセヌ、ソレカラ第三ノ尋ネ、町村ニ依ツテハ官林ノアル所ガアリ、ナイ所ガアリ、又有、テモ多少ガアルト云フガ、ソノ通デアリマス、此事ニ就イテハ私ハ一定不偏ナ考ハ持ツテ居リマスガ、私ノ考ヘ通議會ノ容ル、所トナリマシテモ、是ハ取極ハメヌ方ガ取調ベニ便利ト考ヘテ居リマス、私ガ一定不偏ト云フノハ官カラ放ス場合ニハ何ノモノニスルガ宜イカト云フコトヲ調ベレバ、ドウシテモ町村トシテ持ツニハ、町村其物ガ共有トシテ持ツト云フモノハ、此山林ヲ養成スルニ於テハ利益ガ少イ、ソレヨリカ此官林ハ町村ニ下ケル部分ダケハ、一切入札ヲ以テ富豪ノ者ニ賣リ下ルト云フガ、一番宜シイ、前年士族ニ官林ノ拂下ヲ爲シテ、今日誰レノ手ニ在ルカト云フト、大體一人ノ手ニ在ツテ其村ノ富豪ナル者ノ一手ニ在ル、今日富豪ナル者ノ手ニ在テ富豪ナ人ガ持ツテ居ル官林ハ、他ノ官林ト較ベレバ十年バカリ昔ハ同シ林デアッタガ、今日ハ色ガ違ツテ居ル、民林ニシタ

方ガ青々タル林色ヲ粧フテ居ルト云フ次第デアリマスカラ、民林ニスルガ一番山ヲ養成スルニハ宜イ、此金ヲ割ルニモ全國各町村ニ割リ當ル方ガ宜シイト考ヘマスガ、併シサウ云フコトデ實際サウ取極メルト云フコトハ、是カラ取調ベテ意見ヲ立ル積リデアリマスカラ

○橋本久太郎君(七十四番) サウシマス、ト相當ノ基本財産ヲ組成セシムル」ト云フ相當ト云フノハ、豫算ノ分ラヌ相當デ實ハ此事ヲ始テ見タ所ガ、ホンノ僅カノモノニナルヤ概算ガ分ラヌト云フコトニ承知シテ宜シイカ

○黒川修三君(二百四十四番) 基本ハ是カラ造ラウト云フノデ、マツソレ迄ノ取調ヲシテ居リマセヌ、取調ヲシテ吳レイト政府ニ言フノデアリマス

○東尾平太郎君(百九十九番) 今七十四番カラモ質問ガアツタ、二百町歩ト制限シタノハ何等ノ標準カラ出タノカ、二百町歩ニシマセヌト町村ノ基本財産ニスルニ足ラヌ不便ガアルト云フ點カ、或ハ國有官林トシテ之ヲ保存スルニ不便ダカラ、二百町歩ニシタノカ、此一點ヲ伺ヒタイ、次ニ全國各町村ニ交付スルニハ、無代價デアリマセウガ、七十四番ノ述ベタ通山林ハ例ヘバ或ル府縣ニハ澤山アリ、或ル府縣ニハナイ府縣モアル、斯ノ如クナルニ之ヲ各市町村ニ公平ニ交付スルコト云フコトハ、餘程至難ノ問題デアラウト考ヘマスガ、之ヲ全體無代價デアリマセヌハ實際之ヲ施行スルニ如何致シマスカ、理由書ニアリマスガ分ラヌカラ伺ヒタイ、ソレカラモウ一ツ御尋致シマスノハ、今ノ社寺風致官林デアリマス、是等ハ基本財産ニハ出來ヌモノデ、之ヲサウ云フコトニスルト社寺ヲ害スルコト云フコトガアリマスガ、是等モ町村ノ基本財産ニスル御考デアリマスカ、承リタイ

○黒川修三君(二百四十四番) 御答致シマス第一ニ二百町歩ヲ以テ制限ヲ置イタノハ如何カト云フ、如何ナル標準デアアルカト云フコトデアリマスガ、成程標準ノ標準ガ入用ナコトデアリマス、此標準ノ標準ヲ求ムルニハ、取調ヘテ見ルト漠然ニ出テ、漠然ニ歸シマス様デアリマスガ、サリナガラ、マンザラ據ナクシテキメタノデハナイ、目下我邦ノ山林ノ收入ハ九十万圓デアアル、此九十万圓ハ隨分手詰メナ收入ト私ハ認メテ居ル、其九十万圓ヲ段別ニ割ツテ見マス、一町歩ガ十三錢強デアアル、一町歩十三錢デ、百町歩十三圓、二百町歩ガ二十六圓デアリマス、私ノ考ニハ將來官林トシテ保存スルニハ、一山ニ一人以上ノ番人ヲ付ケナケレバ駄目デアアル、一人以上ノ監守人ヲ付ケル以上ハ小サイ官林デハ行カヌ、一方ノ收入カラ考ヘテ見レバ、所詮一人ノ番人ヲ付ケテ置イテハ收支相償ハヌト云フ、斯ウ云フ所ニ依リマシタコトデアリマス、ソレカラ其次ノ質問ハ何ンデシタカ

○東尾平太郎君(百九十九番) 其次ハ全國各市町村ニ交付スル、交付スルニハ無代價デアリマス精神デゴザイマセウガ、併ナガラ或府縣ニハ官林ノナイ所モアリ少イ所モアリマスカラ、之ヲ全國公平ニ交付スルコト云フコトハ至難ノ問題デゴザイマス、理由書ニモ書イデアリマスガ、一向分リマセヌカラ、其交付ノ方法ヲ承リタイ

○黒川修三君(二百四十四番) 御疑ノ如ク町村ニ依ッテ官林ノ有ル所トナイ所ト、多イノト少イノトアル、ツレカラ同ジ段別ノミヲ以テ言ハレナイ、所ニ依ッテ山ノ價ノ上ニ高イト安イガアル、此差違アルモノト致シテ、之ヲ均一ナ法ニ依ッテ交付スルコト云フコトハ、隨分方法ハ困難デゴザイマセウガ、之ヲ實施スル上ニ於テ……求メラレナイモノデナイ、先ニ何番カノ御尋ニ對シテ私が一番宜イト思フテ居ル考ヘヲ申シマシタ、即チ之ヲマル切リ豪農ニ賣ッテ仕舞フ、金ヲ持ッタ人ニ賣ルト利害ガアルカラ、サウ云フ者ニ賣ッテ賣ッタモノデアルカラ、現金ガ纏マルカラ、此金額ヲ配付スルコト云フ法ガ一番宜イ、ツレハ一定ニキメテ居リマセヌ、ツレカラ此段別ノ多イ少イ、若クハ價ノ上ニ多少ノアルコト云フコト付ケルノハ、今ノ法デナケレバイケマスマイ、ケレドモ併シ所在ノ山ハ所在ノ町村ニヤルト云フノガ一ノ方法デアル、第二ニハ例ヘバ七百町ノ官林ノ中ニ百万町引クト五百万町アル、サウスレバ此五百万町ハ一方ノ地價トカ段別トカヲ標準トシテ割ッテ見ルト、此村ハ何町何段配付ヲ受ケテ宜イト云フ標準ガ出テ來ル、其出テ參リマシタモノニ對シテ、例ヘバ其村デ百町取ルベキモノデアルガ、茲ニ二百町アルナラバ、百町式ヤッテ百町ハ公入札ニ付シテ此金ヲ以テナキ所ニヤルコトモ出來ル、是等ハ種々ナル方法ガゴザイマセウデ、詰リ此法ヲ取調ベルノハ私ガ建議案ニモ書置キマシタ如ク——理由書ニモ書イテアル通、取調ノ上デナケレバ申サレナイ、今日其取調ヲ經ナイ中ニ極メルト云フコトハ、甚タ不都合デアラウト考ヘマス、詰リ小官林ヲ民林ニ移スト云フ所ノ大主義ヲ以テ、其餘ハニ適合スル所ノ取調ヲ政府ニナサセテ、其方法ヲ立テラレンコトヲ望ムノデアリマス

○東尾平太郎君(百九十九番) 社寺風致林ハ……
○黒川修三君(二百四十四番) 社寺風致官林ハ風致林ノ中ニアルコトニ致シテアリマス
○鈴木麟三君(二十番) 私モ質問致シマスガ、建議者ノ御精神ハ町村ニヤルト云フコトニ承ッタヤウデゴザイマスガ、此建議者一個ノ御精神トシテ個人ノ金持ニヤッタ方ガ宜イ、金持ニ持タセルガ宜イ、其例ハ曾テ士族ニ拂下グタ山林ハ今日デ見ルト、全ク官林ヨリハ民林ニナッテ居ル方ガ大層多イト云フ御話デシタガ、サウ云フ譯デスカ
○黒川修三君(二百四十四番) 御答致シマス、村ノ金持ニ賣ッテヤルト云フノデハナイ、賣ルノハ賣ルノデゴザイマスケレドモ、結果ツレニ止マルノデハナイ、山ヲ持ッノハ一村ニ持タセルヨリハ一個人ニ持タシタ方ガ宜イ、其賣下ケタ所ノ金ハ各町村ノ基本財産ニ國庫カラ下ケル、——斯ウ云フノデアリマス
○鈴木麟三君(二十番) サウシマスルト、詰リ此町村ヘ金ヲ配付スルノハ、其基本財産トシテ不動産、即チ此町村ノ基本財産トシテ山ヲ持タセル御精神デハナイノデスカ

○黒川修三君(二百四十四番) 其通、必ズシモ持タセル精神デハナイ
○鈴木麟三君(二十番) マダ承リタイ、シマスルト二百町歩ト云フ指サレマシテゴザイマスガ、此山ノ段別ト申スノハ定テ此建議者モ御承知デゴザイマセウガ、甚タ丈量ガ行届イテ居ラヌ、或ハ券面ニハ即チ此調ニハ百町ト出テ居テモ、實際百町ニ足ラヌノモアリ又五十町ト出テ居テモ、實際五百町アル所モアラウト思ヒマス、是ハ山林ノコトニ委イ方ハ御承知ノコトデゴザイマスガ、是等ノ調ハ實際ノ丈量ニ依ッテ區別ヲ立テラレルノデゴザイマス、或ハ唯調ベノ帳面ノ上ニ二百町トシテアリ、五十町トシテアレバ、帳面デ御調ベニナルノデゴザイマセウカ、其調ハ實際ノ面積ヲ調ベテ、區別ヲ立テラル、御考デアリマスガ

○黒川修三君(二百四十四番) 即答致シマス、十五箇年ノ繼續ヲ以テ取調ラスルノハ、即チ境カラ段別カラ一切ノ測量ヲスルノデ、其測量ニ著手スル場合ニ當ッテ民間ノ物ニシテ仕舞フト云フ、即チ長ク官林トシテ保存シナイト云フモノハ、其初ニ當ッテ區分ヲ立テ、置キマス、是ハ現ニ當路者ガサウ致シテ居ル、此初ニ當ッテ左様ナ方針ヲ持ヘテ置イテ、サウシテ取調ラスルト云フコトデゴザイマスカラ、必ズ實測ノ場合ニ於テハ立派ニ段別ガ調バルモノデアラウト思ヒマス
○鈴木麟三君(二十番) 尙ホ伺ヒマスガ、建議者ハ此段別ヲ調ベルニハドレ程ノ費用デ調バルモノト御思ヒナサリマセウカ、私ノ考デハ非常ニ金ガ掛ルデアラウト思ヒマス、最モ山林ノコトニ御委イ方ハ御承知ノコト、思ヒマス

○黒川修三君(二百四十四番) 山ハ即チ山デゴザイマスカラ、此方針ヲ立テル今日ニ於テ、ツレ等ノ調ハ致シタ所ガ、實ニ駄目デアル、出來テハ居リマセヌ、併ナガラ此段別ハ成程立派ナモノデゴザイマスマイケレドモ、明治六年ニ調ベタヤウナ都合ナ段別デハナイ、其後ニ於テ官林モ民林モ再調査ヲ致シテゴザイマスカラシテ、稍々實ニ近イモノニナッテ居ル、茲ニ今ノ儘ノ段別ヲ以テ取調ベルト申シテモ、大層不同ハアルマイト考ヘマス、況ヤ著々調ベル、其調ベル費用ハ既ニ諸君モ御承知ノ筈デアリマス
○鈴木麟三君(二十番) 山ノ再調査ヲシタコトハ本員ナドハ知ラナイ、恐クハ建議者ノ誤リダラウト考ヘマス、サウ云フコトハシタコトハナイ、唯田畑耕地ナドニ就イテ度々ヤッタケレドモ、山ニ就イテヤッタコトハナイ
○黒川修三君(二百四十四番) 最早ツレ等ハ御答致シマセヌ
○田中源太郎君(二百九十二番) 是ハ換地法——土地ヲ換ヘル經濟ガ立タナイカラ、一ツニ纏メルト云フ方針ヲ執ッテ居ルヤウニ思ヒマス、是ハ結果ヲ奏スルカ奏シナイカ知リマセヌガ……一舉兩全ト書イテアリマス、ケレドモ建議者ノ趣意ハドチラニ在ルト云フコトヲ承リタイ
○黒川修三君(二百四十四番) 山ノ方ニ先ヅ目ヲ付ケマシタ、山ノ方ガ主デアル

(中村彌六君演壇ニ登ル)

○中村彌六君(二百二十九番) 本員ハ反對ノ通告ヲ致シマシテゴザリマス、是ハ絶對的ノ反對デハゴザリマセヌ、實ニ御考ハ宜シイガ、實際ニ行フコトガ出來ヌシ、故ニ是等ノコトハ此短期ノ議會ニ於テ出サズニ、モツト少シク調査ヲシテ出シタイト云フノガ私ノ精神デアリマス、故ニ反對ノ意ヲ述ベルノデアリマス

(此時モウ宜シイツレデ宜シイト呼ブ者多シ)

○中村彌六君(二百二十九番) ソレナラ止メマス

○東尾平太郎君(百九十九番) 討論終結

(贊成々々ト呼ブ者多シ)

○議長(星亨君) 討論終結ノ動議ガ出マシタカラ、決ヲ採リマセウカ

(宜シイ宜シイト呼ブ者アリ)

○議長(星亨君) ソレナラバ討論ハ終結致シタト見做シテ宜カラウト思ヒマス、直ニ決ヲ採リマセウ、即チ此原案官有林野ニ對スル建議案、此原案ニ贊成ノ御方ハ起立ナスツテ下サイ

起立者 少數

○議長(星亨君) 少數ト認メマス、依ッテ廢棄サレマシタ——マダ十分程早イデゴザリマスガ、次ニ掛ツタナラバ餘程時モ取レルト考ヘマスカラ、今日ハ是ニテ止メタラ如何デス

(異議ナシ異議ナシト呼ブ者アリ)

○議長(星亨君) ソレナラバ是ニテ止メマスコトニ致シテ、明日ノ議事日程ヲ朗讀致シマス

(水野書記官長朗讀)

第一 衆議院規則追加ノ件(稻垣示君外一名提出緊急事件)

第二 輸出綿絲關稅免除法律案(加藤政之助君外六名提出) 第一讀會

第三 輸入棉花關稅免除法律案(加藤政之助君外六名提出) 第一讀會

第四 國庫剩餘ノ處分ニ關スル建議案(特別委員長報告)

第五 臨時法典修正局設置建議案(鳩山和夫君外六名提出緊急事件) 第三讀會

第六 登記法改正法律案

第七 省令取消建議案(太田實君外七名提出)

第八 製鋼原料調査並製鋼試驗ニ關スル建議案(岡崎運兵衛君外二名提出) 第一讀會ノ續キ(特別委員)

第九 海關稅法案 第一讀會ノ續キ(長報告)

第十 海底電線布設ニ關スル建議案(吉岡俊文君外一名提出) 第一讀會

第十一 郡制改正法案 第一讀會ノ續キ(特別委員)

第十二 法律第八十四號改正案(福田久松君外一名提出) 第一讀會

第十三 條約改正上奏案(鈴木昌司君外六名提出)

○議長(星亨君) 散會致シマス

午後五時五十四分散會

衆議院速記録第二十五號正誤

頁	段	行	誤	正	頁	段	行	誤	正
五八一	下	三六	決シ	決シテ	五八四	下	五	演說者	前說者
五八四	上	九	原本	原本	五九〇	下	二三	一言度	一度言

